Samsung GALAXY S II WiMAX ISW11SC

取扱説明書　詳細版

ごあいさつ

このたびは、GALAXY SⅡ WiMAX ISW11SC(以下、「ISW11SC」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、ISW11SCに付属する『取扱説明書』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明について

■『取扱説明書』

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、ISW11SC内で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauホームページより『取扱説明書詳細版』(本書)をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書』アプリケーション

ISW11SCでは、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションをご利用できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。
ホーム画面で[アプリ]→[取扱説明書 ISW11SC]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードし、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

ISW11SCをご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動させると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通信品質を維持し続けます。従って、通信中にこの極限を超えてしまうと、突然通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、CDMA方式は通信上の高い秘匿機能を備えております。)

- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
  詳しくは、「auのネットワークサービス・海外利用」(▶P.179)をご参照ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』または『取扱説明書詳細版』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ こんな場所では、使用禁止!

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がそろっていることをご確認ください。

本体(電池フタ含む)

電池パック

- マイク付ステレオヘッドセット(試供品)
- microSDメモリカード(2GB)(試供品)
- 保証書
- 取扱説明書
- ご使用上の注意
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- ACアダプタ
- Desktop Dock
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

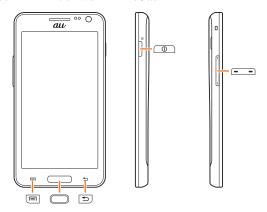
目次

付録......203

安全上のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を以下のように簡略化しています。

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.38)。

表記例	意味
ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]	ホーム画面で[≡]をタップし、表示されるメニューから「設定」をタップして「無線とネットワーク」をタップします。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

memo

◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。

- 『取扱説明書詳細版』(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本製品で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
輸入元:SAMSUNG TELECOMMUNICATIONS JAPAN Co.
製造元:Samsung Electronics Co.,Ltd.

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。
◎乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

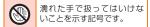
この「安全上のご注意」には、ISW11SCを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ISW11SC本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

ISW11SCに使用する電池パック、充電用機器、microUSBケーブル、変換アダプタ、ヘッドセットは必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、コタツの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にISW11SCの電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでNFCの決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（NFCロックを設定されている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となります。

金属製のストラップやアクセサリーをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

指定の充電用機器（別売）をコンセントやシガーライタソケットに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直接日光などを長時間当てないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりISW11SC本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

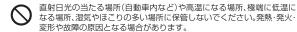
ISW11SCが落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。水漏れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱·発火·変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災·故障·傷害の原因となります。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

外部から電源が供給されている状態のISW11SC本体、指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

ISW11SCを長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池フタを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障·内部データの消失の原因となります。

本体から電池フタや電池パックを外したまま、放置·保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、指定の充電用機器(別売)をコンセントまたはシガーライタソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

マイク付ステレオヘッドセット(試供品)などをISW11SCに挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

マイク付ステレオヘッドセット(試供品)などをISW11SCに挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損·故障の原因となります。

■ISW11SC本体について

警告 必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車·原動機付自転車·自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車·原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内でISW11SCを使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

高精度な電子機器の近くでは、ISW11SCの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー·補聴器·その他医用電気機器·火災報知機·自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くでISW11SCを使用する場合は、電波によりそれらの装置･機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、ISW11SCを心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、ISW11SCの電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはISW11SCを持ち込まないでください。
   - 病棟内では、ISW11SCの電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、ISW11SCの電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

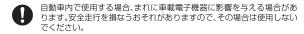
通話･メール･インターネット･撮影･ゲームなどするときや、音楽を聴くときなどは周囲の安全をご確認ください。転倒･交通事故の原因となります。

ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質･体調によっては、かゆみ･かぶれ･湿疹などが生じる場合があります。
ISW11SCで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
フロントケース	PC樹脂	不連続蒸着
リアケース、電源／画面ロックキー、音量／ズームキー	PC樹脂（PC+GF 20%）	UV塗装処理
電池フタ	PC樹脂（PC+GF 10%）	ヘアライン、塗装
ディスプレイ	強化ガラス	AFコート
ホームキー	アルミニウム	塗装
外側カメラ周辺部	ステンレス鋼	黒アルマイト
受話口	ステンレス鋼	塗装
カメラ窓	アクリルシート	－
ライト	PC樹脂	－
ヘッドセット接続端子	ステンレス鋼	－

キャッシュカード･フロッピーディスク･クレジットカード･テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

microSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災･感電･故障の原因となります。

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）やハンドストラップなどを持ってISW11SCを振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定にご注意ください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、ISW11SC本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

■電池パックについて

(ISW11SCの電池パックは、リチウムイオン電池です。)
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。
なお、リチウムイオン電池の取り扱いについては、本書または電池パック(SCI11UAA)(別売)の取扱説明書をご参照ください。

⚠危険
誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。
必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス(+)マイナス(-)をショートさせないでください。

電池パックをISW11SCに接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピンなど)などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■充電用機器について

⚠警告
誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。
必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
- 共通ACアダプタ01(別売):AC100V(日本国内家庭用)
  単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ(別売):AC100V~240V
- 共通DCアダプタ(別売):DC12V・24V(マイナスアース車専用)

指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだ指定の充電用機器（別売）やゆるんだコンセントまたはシガーライタソケットは使用しないでください。

共通DCアダプタ01／03（別売）のヒューズが切れたときは、指定（定格250V、1A）のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01／03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）

指定の充電用機器（別売）の電源コードを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだ電源コードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

指定の充電用機器（別売）の電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災・やけど・感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。

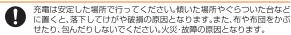
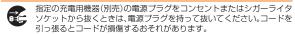
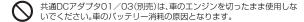
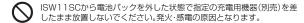
⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

風呂場など湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器（別売）を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ01／03（別売）は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

ISW11SCから電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■au ICカードについて

⚠警告 **必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau ICカードを入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意 **必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

au ICカードの取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを濡らさないでください。故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。

■マイク付ステレオヘッドセット（試供品）について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自転車や自動車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生に使用しないでください。安全性を損ない事故の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり長時間連続して使用したりすると難聴の原因となります。適度な音量であっても長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

コードをISW11SCに巻き付けて使用しないでください。感度が落ちて音声が途切れたり、雑音が入る場合があります。コードを引っ張って抜かないようにしてください。また、コードを持って本体を吊り上げないでください。端子が破損するおそれがあります。

接続端子にゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

接続端子のコネクタはISW11SCのヘッドセット接続端子に対して平行に抜き差ししてください。

音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
マイク付ステレオヘッドセット（試供品）で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
イヤホン外装	PC樹脂	UV塗装処理
イヤホン外装（金属部）	PC樹脂	AL蒸着＋UV塗装処理
イヤホン（ネック部）	PC樹脂+NON- PVC	UV塗装処理
スイッチ付マイク外装	PC＋ABS樹脂	UV塗装処理
イヤーピース	シリコンゴム	−
ケーブル	NON-PVC	−
3.5mmプラグ（ボディ）	POM	−
3.5mmプラグ（金属部）	真鍮	銅メッキ＋ニッケルメッキ＋金メッキ

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ ISW11SC本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- ISW11SCに無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35％～85％の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によってはISW11SCが温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』または『取扱説明書詳細版』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■ ISW11SC本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作
- ISW11SC本体（電池パックを取り外した携帯電話本体の背面）に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。

- 改造されたISW11SCは絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
ISW11SCは、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」がISW11SC本体の銘板シールに表示されております。
ISW11SC本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- ISW11SCは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- ISW11SCに登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ISW11SCに保存されたコンテンツデータ(有料・無料は問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ISW11SCはディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- ISW11SCで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影などした写真/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器をISW11SCに近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、ISW11SC内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続するときは、microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に対して外部機器のコネクタが平行になるように抜き差ししてください。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となったau電話の回収にご協力ください。auショップなどでau電話の回収を行っております。
- ISW11SCのmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 電池フタは確実に取り付けてください。NFC機能が正しく動作しない場合があります。また、電池フタを変形させたり、電池フタ内側の黒いシートが貼ってある部分を強く押したり、黒いシートをはがしたりすると、NFC通信に障害が発生するおそれがあります。
- 電池フタを取り外したISW11SC背面のコンタクト部分(▶P.27)は、強い力で押さないでください。NFC通信に障害が発生するおそれがあります。

- 電池フタを取り外したISW11SC背面の各アンテナ部分に貼られている黒いシートははがさないでください。各種アンテナが破損したり、通話／通信の品質に影響を及ぼすおそれがあります。
- 照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 送話口（2箇所）を指などでふさがないようご注意ください。自分の声が相手に伝わらない場合があります。上部の送話口をふさぐと、動画の音声が録音できなくなる可能性があります。

■ タッチパネルについて

- タッチパネル操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチパネル操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合は、ISW11SC本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常ゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードを充電用機器本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- ほかのICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- au ICカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。

- ISW11SCの故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽/動画機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、マイク付ステレオヘッドセット(試供品)などからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権/肖像権について

- お客様がISW11SCで撮影・録音したデータの複製・改変・編集などをする場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断でデータを使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像などを転送することはできません。

■ microSDメモリカードについて

- 指定品以外のmicroSDメモリカードを使用した場合、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- microSDメモリカードをISW11SCに挿入していないときは、microSDメモリカードに関する操作はできません。
- ISW11SCのmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDメモリカードを利用することができません。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。microSDメモリカードが飛び出して目などに当たってけがをしたり、microSDメモリカードを紛失する可能性があります。
- microSDメモリカードの端子面に手や金属で触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリカードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- microSDメモリカードによっては初期化しないと使えないものがあります。ISW11SCで初期化してからご使用ください。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- データの読み込み中、書き込み中には振動や衝撃を与えたり、microSDメモリカードを引き抜いたり、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。データの消失や故障の原因となります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- microSDメモリカードにラベルなどを貼り付けないでください。
- microSDメモリカードに保存したデータは、別のmicroSDメモリカードやパソコンなどにもコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- microSDメモリカードを破棄する場合、保存内容が流出するおそれがありますので、保存内容を削除するだけでなく、物理的に破壊したうえで処分することをおすすめします。microSDメモリカードの保存内容についてはお客様の責任において管理してください。

- ISW11SCの電池残量が少ない場合は、microSDメモリカードに保存中に電源が切れ、正常に保存などができなくなる場合があります。データが破損・消失することがありますので、電池残量が十分なときにご利用になることをおすすめします。

■ ISW11SCの記録内容の控え作成のお願い

- ご自分でISW11SCに登録された内容や、外部からISW11SCに取り込んだ内容で、重要なものは控え[※1]をお取りください。
ISW11SCのメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。

※1 控え作成の手段：
連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

ISW11SCをご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロック解除用パターン／PIN／パスワード

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● NFCロックNo.

使用例	NFCロックの設定／解除をする場合
初期値	1234

PINコードについて

■PIN1コード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPIN1コードの入力を必要にすることができます。また、PIN1コードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPIN1コードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPIN1コードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。

■PINロック解除コード

PIN1コードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPIN1コードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ･PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PIN1コード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

ISW11SCのBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能（2.4GHz帯）は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能：2.4FH1**
  ISW11SCは2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
- **無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS/OF4**
  ISW11SCは2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

■■■：2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®機能についてのお願い

- ISW11SCのBluetooth®機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によってはほかの機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

● Bluetooth®機能ご使用上の注意

ISW11SCのBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. ISW11SCを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、ISW11SCと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかにISW11SCの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

無線LAN(Wi-Fi®)機能についてのお願い

- ISW11SCの無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。無線LAN(Wi-Fi®)機能対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

● 無線LAN(Wi-Fi®)機能ご使用上の注意

ISW11SCの無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用周波数は2.4GHz帯、5GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. ISW11SCを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、ISW11SCと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかにISW11SCの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

5GHzの周波数帯においては、W52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

memo

◎ISW11SCはすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)機能の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)機能によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)機能のいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

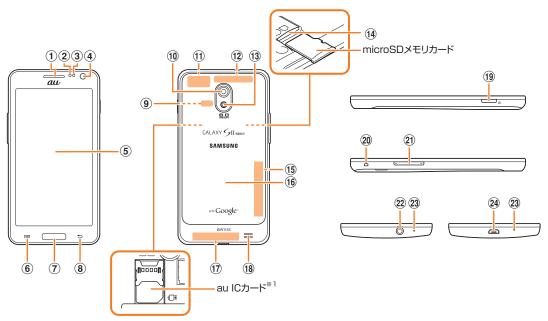
- ISW11SCは常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額サービスへのご加入をおすすめします。
- ISW11SCでのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります(「auからの重要なお知らせメール」「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります)。
  また、プランEシンプル／プランEにご加入された場合であっても、Eメール(～@ezweb.ne.jp)の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。(「Eメール(～@ezweb.ne.jp)」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。)

※ 無線LAN(Wi-Fi®)接続の場合はパケット通信料はかかりません。
※ WiMAX機能をご利用いただく場合、別途月額利用料がかかります。

Google Play／au one Market／アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- ISW11SCに搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

※1 au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードについて」（▶P.29）をご参照ください。

① **受話口**
通話中の相手の声などが聞こえます。

② **近接センサー**※1
通話中に顔などの接近を検知して、タッチパネルの誤動作を防止します。

③ **照度センサー**※1
周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを自動調整します。

④ **内側カメラ**
自分を撮影するときなどに使用します。

⑤ **ディスプレイ(タッチパネル)**

⑥ **メニューキー**
操作状況に応じたメニューを表示します。

⑦ **ホームキー**
ホーム画面に戻ります。1秒以上押すと、最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。

⑧ **バックキー**
アプリケーションを終了したり、1つ前の画面に戻したりします。

⑨ **コンタクト部分**
近距離無線通信(NFC)タグの読み込みやデータの書き込みを行います(▶P.142)。

⑩ **外側カメラ**
静止画や動画を撮影します。

⑪ **WiMAXアンテナ部分**※2

⑫ **GPSアンテナ部分**※2

⑬ **ライト**
静止画や動画の撮影時に点灯します。

⑭ **microSDメモリカードスロット**

⑮ **Bluetooth®/Wi-Fi®アンテナ部分**※2

⑯ **電池フタ**

⑰ **内蔵アンテナ部分**※2

⑱ **スピーカー**
着信音や、ハンズフリー通話中に相手の声などが聞こえます。

⑲ **電源/画面ロックキー**
1秒以上押して電源を入れます。
電源が入っているときに押すと画面ロックを設定できます。1秒以上押すとマナーモードや機内モード、データ通信のON/OFF、電源OFFができます。

⑳ **ストラップ穴**
ハンドストラップを取り付けます(▶P.30)。

㉑ **音量/ズームキー**
着信音量やメディア再生音量などを調節します。
静止画や動画を撮影中は、ズームイン/ズームアウトします。

㉒ **ヘッドセット接続端子**
マイク付ステレオヘッドセット(試供品)などを接続する直径3.5mmの接続端子です。

㉓ **送話口**※3
通話中に自分の声を相手に伝えます。ISW11SC上部の送話口は、ハンズフリー通話や動画撮影のときのみ機能します。

㉔ **microUSB接続端子**

※1 近接センサーや照度センサーは、保護シートなどでふさがないようにしてください。機能が正常に動作しない場合があります。
※2 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおうと、通話/通信の品質に影響を及ぼす場合があります。
※3 ハンズフリー通話中や動画撮影中は、ISW11SC上部の送話口を指などでふさがないようご注意ください。自分の声が相手に伝わらない場合や、動画の音声が録音できない場合があります。

memo

◎ 電池フタを取り外したISW11SC背面の各アンテナ部分に貼られている黒いシートははがさないでください。各種アンテナが破損したり、通話/通信の品質に影響を及ぼすおそれがあります。
◎ 電池フタを取り外したISW11SC背面のコンタクト部分は、強い力で押さないでください。NFC通信に障害が発生するおそれがあります。

電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックは、ISW11SC専用のものを使用して正しく取り付けてください。

memo

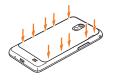
◎電池パックの注意事項については、「電池パックについて」(▶P.13)をご参照ください。
◎電池パックと電池フタの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り付ける

1 **電池フタの1-①の部分に指(爪など)を入れて、1-②の方向に持ち上げて取り外す**

2 **ISW11SCと電池パックの端子部を合わせ(2-①)、電池パックを2-②の方向へ差し込む**

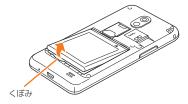
3 **電池フタのツメをISW11SCのミゾに差し込んで3-①の方向に取り付け、3-②の方向にしっかりと押し込む**

ツメ部分を1つずつしっかりと押して、隙間のないように取り付けてください。

memo

◎取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび電池フタの破損の原因となります。
◎電池フタの取り付け時には、電池フタが浮き出たままにならないよう、位置を合わせ、周囲をしっかり押し込んでください。

電池パックを取り外す

1 **電池フタを取り外す(▶P.28)**

2 **ISW11SCのくぼみを利用して電池パックに指をかけ、矢印の方向に持ち上げて取り外す**

3 **電池フタを取り付ける(▶P.28)**

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

◎ au ICカードの取り付け／取り外しは、ISW11SCの電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。
◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分や、ISW11SC本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
◎ au ICカードの取り付け／取り外しを行う際は、コンタクト部分(▶P.27)に触れないようにしてください。NFC通信に障害が発生するおそれがあります。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、⃠が表示されます。

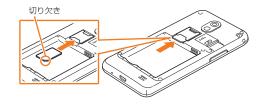
- 電話をかける／受ける※1
- Eメール(～@ezweb.ne.jp)／SMS(Cメール)の送受信
- PINコード設定
- ISW11SCの電話番号の確認
- WiMAX通信

※1 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

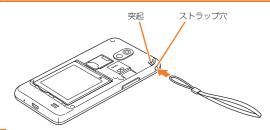
■ PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードロック設定により他人の使用を制限できます(▶P.174「UIMカードロックを設定する」)。

au ICカードを取り付ける

1 電池フタ・電池パックを取り外し(▶P.28)、au ICカードのIC(金属)面を下にし、図の向きでau ICカードスロットの奥までまっすぐ差し込む

au ICカードを取り外す

1 電池フタ・電池パックを取り外し(▶P.28)、au ICカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

ハンドストラップを取り付ける

1 電池フタを取り外す（▶P.28）

2 ストラップ穴にハンドストラップのひもを通して突起に引っ掛ける

3 電池フタを取り付ける（▶P.28）

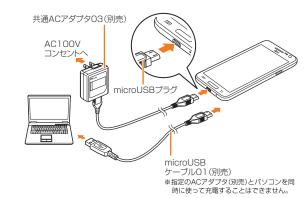
充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。
共通ACアダプタ03は、microUSBケーブル01とACアダプタで構成されておりますので、共通ACアダプタ03をご購入いただければUSBケーブル01もご利用いただけます。

■ ご利用可能時間

連続待受時間	約420時間（3G使用時）
	約340時間（3Gおよび無線LAN（Wi-Fi®）機能使用時）
	約150時間（3GおよびWiMAX機能使用時）
連続通話時間	約670分

※日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」（▶P.211）をご参照ください。

※指定のACアダプタ（別売）とパソコンを同時に使って充電することはできません。

memo

◎共通ACアダプタ01（別売）では日本国内家庭用AC100Vをご使用ください。海外で充電する場合は、渡航先に適合したACアダプタが必要です。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
◎共通ACアダプタ02／03（別売）はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で充電する場合は、必ず共通ACアダプタ02／03（別売）をご使用ください。
◎充電の状態は、ホーム画面で［≡］→［設定］→［端末情報］→［ステータス］と操作して、「バッテリー残量」欄で確認できます。
◎充電中、ISW11SCと電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
◎電池パックは、「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶P.9）をよくお読みになってお取り扱いください。
◎パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなることがあります。
◎アプリケーションや機能などのご利用状況により、電池パックの使用時間が短くなることがあります。

指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

充電には指定のACアダプタ(別売)が必要です。ここでは、共通ACアダプタ03(別売)を使って充電する方法を説明します。

- 指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.204)をご参照ください。

充電時間は約170分です

1 共通ACアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、ISW11SCのmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 共通ACアダプタ03(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む

充電開始音が鳴り、ステータスバーに が表示されます。
充電が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

3 充電が終わったら、共通ACアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグをISW11SCからまっすぐ引き抜き、電源プラグをコンセントから抜く

■パソコンを使って充電する

パソコンを使って充電するには、microUSBケーブル01(別売)が必要です。接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

1 microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、ISW11SCのmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSBケーブル01(別売)のUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

充電開始音が鳴り、ステータスバーに が表示されます。
充電が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

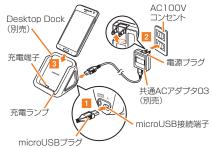
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

3 充電が終わったら、microUSBケーブル01(別売)をISW11SCとパソコンから取り外す

memo

◎充電中に画面のバックライトが消灯した場合は、 ／ を押すと画面ロック解除画面が表示され、画面左下に表示される「充電中(××%)...」で充電状態を確認できます。また、バックライト消灯中に充電が完了すると、画面ロック解除画面が表示されて画面左下に「充電完了」、ステータスバーに が表示されます。

Desktop Dock(別売)と指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

充電にはDesktop Dock(SCI11PVA)(別売)と指定のACアダプタ(別売)が必要です。ここでは、共通ACアダプタ03(別売)を使って充電する方法を説明します。

1 共通ACアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグをDesktop Dock(別売)のmicroUSB接続端子に接続する

共通ACアダプタ03(別売)のコネクタの形状をご確認のうえ、刻印表示を上にして、まっすぐ水平に差し込みます。

2 共通ACアダプタ03(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む

3 電池パックを取り付けたISW11SCをDesktop Dock(別売)に取り付ける

4 Desktop Dock(別売)の充電ランプが点灯していることを確認する

充電開始音が鳴り、ステータスバーにが表示されます。

充電が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

充電が終わったら、ISW11SCをDesktop Dock(別売)からまっすぐ上に引き抜いて取り外してください。ISW11SCを前方に倒しながら取り外すと、破損の原因となります。

memo

◎Desktop Dock(別売)にISW11SCを接続すると、卓上時計などが表示されます(▶P.206)。

◎microUSBケーブル01(別売)でDesktop Dock(別売)をパソコンに接続する場合、Desktop Dock(別売)に取り付けたISW11SCとパソコンの間でデータのやりとりをすることはできません。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⓘ(1秒以上長押し)

画面ロック解除画面が表示されます。画面ロックを解除(▶P.33)してください。

memo

◎電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

◎初めて電源を入れたときは初期設定画面(▶P.33)が表示されます。

◎「画面ロック設定」(▶P.173)で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。

電源を切る

1 ⓘ(1秒以上長押し)

端末オプション画面が表示されます。

2 [電源OFF]→[OK]

画面ロックを設定する

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。
また、ISW11SCでは、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して約5秒後に画面ロックがかかります。

1 画面表示中に

バックライトが消灯し、画面ロックが設定されます。
／ を押すとバックライトが点灯し、画面ロック解除画面が表示されます。

memo

◎「スクリーンタイムアウト」(▶P.172)でバックライトが消灯するまでの時間を変更できます。
◎画面ロックを無効にする設定はありません。
◎ISW11SCをかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、誤操作防止のため、必ず画面ロックを設定し、 や が押されないようにしてください。

画面ロックを解除する

画面ロック解除画面は、電源を入れたときや、 ／ を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 画面ロック解除画面→画面を上下左右にフリックして、画面ロックを解除

memo

◎「画面ロック設定」(▶P.173)で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めてISW11SCの電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行ってください。
初期設定について詳しくは、ISW11SC同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 アンドロイドアイコンをタップ

Googleアカウントの設定画面が表示されます。
- ISW11SCで利用する言語を変更する場合は、「言語変更」をタップして言語を選択し、アンドロイドアイコンをタップします。

2 Googleアカウントを設定(▶P.33)

Google位置情報の利用画面が表示されます。
- Goolgeアカウントを後で設定する場合は、「スキップ」をタップします。

3 Google位置情報の利用を設定→[次へ]

バックアップと復元画面が表示されます。

4 バックアップと復元を設定→[次へ]→[セットアップを完了]

ホーム画面が表示されます。

Googleアカウントの設定をする

ISW11SCにGoogleアカウントを設定すると、Googleトークや Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスを利用できます。
Googleアカウントの設定画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。
Googleアカウントの設定について詳しくは、ISW11SC同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 Googleアカウントの設定画面→[次へ]

2 [作成]／[ログイン]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「ログイン」をタップし、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」をタップします。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎ Googleアカウントを設定しない場合でもISW11SCをお使いになれますが、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
◎ Googleアカウント（複数の場合は最初に設定したGoogleアカウント）を削除するには、「ISW11SCを初期化する」（▶P.175）を行ってください。

au one-IDの設定をする

ISW11SCにau one-IDを設定すると、au one MarketやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「au かんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。
au one-IDの設定について、詳しくはISW11SC同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[au one-ID 設定]

パケット通信の接続確認画面が表示されます。
「今後表示しない」にチェックを入れると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [OK]→[au one-IDの設定・保存]

「au one-IDとは？」をタップすると、au one-IDの説明やヘルプを確認できます。

3 画面の指示に従って操作し、au one-IDを設定

au one-IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau one-IDを設定してください。

Eメールの初期設定を行う

Eメールを利用するには、IS NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
Eメールの初期設定について詳しくは、ISW11SC同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 ホーム画面で[Eメール]

パケット通信の接続確認画面が表示されます。

2 [OK]

「ただいまメール設定を行っています。しばらくお待ちください。」と表示されます。
設定が完了するとアドレス設定完了画面が表示され、Eメールアドレスが表示されます。

ソフトウェア更新を確認する

お買い上げ時のステータスバー（▶P.44）に表示されている通知アイコン（ ）から、ISW11SCのソフトウェア更新（▶P.208）が必要かどうかを確認できます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

2 [ソフトウェア更新]

免責条項画面が表示されます。

- ISW11SCを利用する国を変更する場合は、「国を選択してください。」欄をタップして国を選択してください。
- 設定を行うには、「利用規約」と「プライバシー規約」をタップし、各規約を確認してください。

3 「上記の契約条件全てに同意します。」にチェックを入れる→[確定]

ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。

- ソフトウェア更新を後で確認する場合は「後で実行」をタップします。

4 [OK]/[Wi-Fi設定]/[キャンセル]

- 「OK」をタップすると、無線LAN(Wi-Fi®)経由でソフトウェア更新の確認が行われます。
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能を設定していない、またはONにしていない状態で「OK」をタップすると、ネットワークエラー画面が表示されます。無線LAN(Wi-Fi®)機能を設定(▶P.160)するか、「Wi-Fiのみ」のチェックを外してから、「ソフトウェアをダウンロードして更新する」(▶P.208)を実行してください。「Wi-Fiのみ」は、ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]と操作して表示できます。
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能を設定して、無線LAN(Wi-Fi®)経由でソフトウェア更新を確認する場合は、「Wi-Fi設定」をタップし、無線LAN(Wi-Fi®)機能を設定(▶P.160)して再度手順1~2を行い、「OK」をタップします。

memo

◎ステータスバーの通知アイコンが表示されていない場合は、「ソフトウェアをダウンロードして更新する」(▶P.208)を実行してソフトウェア更新を確認できます。

Samsungアカウントの設定をする

「リモートコントロール」(▶P.173)やSamsung Apps(▶P.137)の一部の機能など、Samsungサービスを利用するには、あらかじめSamsungアカウントの設定を行う必要があります。Samsungアカウントの設定は、お買い上げ時のステータスバー(▶P.44)に表示されている通知アイコン(S)から実行できます。

- リモートコントロールはSamsungDiveから操作できます。SamsungDiveの詳細については、以下のホームページをご参照ください。
  http://www.samsungdive.com

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

2 [Samsungアカウント]→[続行]

3 [アカウント作成]

利用規約画面が表示されます。
Samsungアカウントをすでにお持ちの場合はEメールアドレスとパスワードを入力→[サインイン]と操作してください。

4 利用規約を確認→「上記の規約全てを受け入れます」にチェックを入れる→[同意]

- 利用規約画面で「プライバシーポリシー」をタップすると、サムスンのプライバシー方針を確認できます。

5 必要な項目を入力・設定→[サインアップ]

memo

◎ステータスバーの通知アイコンが表示されていない場合は、「アカウントを追加/削除する」(▶P.175)を実行してSamsungアカウントを設定できます。
◎Samsungアカウントを設定すると、「システムメモリ(本体)を初期化」(▶P.175)を実行できません。Samsungアカウントを削除してから操作してください。
◎設定したSamsungアカウントのパスワードは、「リモートコントロール」を解除するときなどに必要になります。メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

基本操作

基本操作

タッチパネルの使いかた

ISW11SCのディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に載せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - ・濡れた指または汗で湿った指での操作

■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

■スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

- 最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。

■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリック（▶P.38）すると切り替えることができます。[ホームキー]を押すと、いつでもホーム画面を表示することができます。

① **ウィジェット**
タップすると起動や操作ができます。

② **ショートカット**
タップするとアプリケーションや機能などを起動できます。

③ **ホーム画面位置**
現在表示中の位置が数字で表示されます。

④ **アプリケーションアイコン**
タップするとアプリケーションや機能などを起動できます。「アプリ」をタップするとアプリケーション画面（▶P.41）を表示できます。

◎画面下部に表示されている「アプリ」以外のアプリケーションアイコンは、追加／変更ができます（▶P.44「アプリケーション画面をカスタマイズする」）。

ホーム画面のメニューを利用する

1 **ホーム画面で[メニューキー]**

2

追加	ウィジェット	▶P.40「ショートカット／ウィジェットを追加する」
	ショートカット	
	フォルダー	▶P.40「フォルダーを追加する」
	壁紙	ISW11SCの壁紙を変更します。
壁紙	ギャラリー	ギャラリーから画像を選択して、壁紙に設定します。
	ライブ壁紙	ライブ壁紙を選択して、壁紙に設定します。
	壁紙ギャラリー	壁紙用の画像を選択して、壁紙に設定します。
検索		▶P.46「クイック検索ボックスを利用する」
通知		▶P.46「通知パネルについて」
編集		▶P.40「ホーム画面を並べ替える」
設定		▶P.166「設定メニューを表示する」

◎ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチしても、ショートカットやウィジェットなどを追加できます。
◎お買い上げ時に登録されているショートカットは変更できます。本書では、お買い上げ時の状態の操作方法で説明しているため、変更する場合はご注意ください。

ホーム画面をカスタマイズする

■ショートカット／ウィジェットを追加する

ホーム画面にアプリケーションやブックマークなどのショートカットや、ウィジェットを追加できます。
ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用できるアプリケーションです。

1 ホーム画面で[メニュー]→[追加]→[ウィジェット]／[ショートカット]

2 項目／ウィジェットを選択

データの選択や設定の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■フォルダーを追加する

1 ホーム画面で[メニュー]→[追加]→[フォルダー]

2 フォルダーの種類を選択

「新規フォルダー」を選択した場合は、フォルダー名を入力し、「OK」をタップしてください。

memo

◎フォルダー名を変更するには、ホーム画面でフォルダーをタップし、フォルダー上部のタイトルをロングタッチします。

■ショートカット／ウィジェットなどを移動／削除する

ホーム画面に追加したショートカットやウィジェット、フォルダーの表示位置を変更したり、削除したりできます。

1 ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチ

2 アイコンを移動したい位置までドラッグして指を離す

- アイコンを画面下部の「ホームから削除」までドラッグして指を離すと、アイコンを削除できます。
- ショートカットを「新規フォルダー」で作成したフォルダーの上までドラッグして指を離すと、フォルダーにアイコンを移動できます。
- アイコンをロングタッチしてホーム画面の左端／右端までドラッグすると、アイコンを他のホーム画面に移動できます。

■ホーム画面を並べ替える

ホーム画面の位置を入れ替えたり、追加／削除したりできます。

■ホーム画面を並べ替える場合

1 ホーム画面で[メニュー]→[編集]

ホーム画面がサムネイル表示されます。

2 移動したいホーム画面のサムネイルをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- ホーム画面のサムネイルを画面下部の「ホームから削除」までドラッグして指を離すと、ホーム画面を削除できます。
- ホーム画面のサムネイルに[+]が表示されている場合は、タップするとホーム画面を追加できます。ホーム画面は最大7枚まで追加できます。

ホーム画面を切り替える

フォントを拡大表示したホーム画面に切り替えられます。ホーム画面を切り替えると、拡大表示に対応しているアイコンやウィジェットも拡大して表示されます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[ホーム切替]→[切替]

ホーム画面が切り替わります。

- 元のホーム画面に戻す場合は、再度手順1を行います。

アプリケーション画面を利用する

アプリケーション画面には、ISW11SCにインストールされているアプリケーションのアイコンが表示され、アイコンをタップしてアプリケーションを起動できます。

- アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
  また、IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料(利用月のみ月額525円)と別途通信料がかかります。

アプリケーション画面を表示する

1 ホーム画面で[アプリ]

アプリケーション画面が表示されます。

- 左右にスライド/フリック(▶P.38)すると、アプリケーション画面を切り替えられます。
- 「ホーム」/[戻る]をタップするか、[ホームキー]を押すと、アプリケーション画面を閉じます。

■主なアプリケーションの種類

アプリケーション	概要	ページ
電話帳	連絡先を管理します。	P.110
時計	アラームの設定や時計などを表示します。	P.146
カレンダー	予定を管理します。	P.132
カメラ	静止画を撮影、動画を録画します。	P.113
ギャラリー	静止画や動画を閲覧します。	P.117
音楽プレーヤー	音楽を再生します。	P.121
Playストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード/購入します。	P.124
マップ	現在地の確認/他の場所の検索/経路の検索などが行えます。	P.128
動画	動画を再生できます。	P.120
メール	PCメール(複数のアカウントを使用可)を利用できます。	P.97
Gmail	Gmailを利用します。	P.100
Social Hub	PCメールやSNS(Social Network Service)を統合するメッセージングアプリケーションを利用して、PCメールの送信やSNSの情報更新ができます。	P.138
Game Hub	mobageからゲームのダウンロード、プレイができます。	–
Samsung Apps	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。	P.137
設定	ISW11SCの各種設定を行います。	P.166
検索	ISW11SC本体内やウェブ上の検索を行います。	P.46
ダウンロード履歴	ダウンロードしたファイルの一覧を表示します。	–
トーク	Googleトークを利用してチャットができます。	P.127
タスク	タスクを管理します。	P.134
メモ	メモを作成できます。	P.135
辞典	辞書を利用して単語を調べることができます。	P.139
電卓	基本的な計算ができます。	P.147
ボイスレコーダー	音声を録音できます。	P.137
音声検索	音声による検索を行います。	P.47
Kies air	無線LAN(Wi-Fi®)機能でISW11SCに接続し、パソコンなどのブラウザからISW11SCのデータを管理できます。	P.154

アプリケーション	概要	ページ
AllShare	DLNA(Digital Living Network Alliance)対応機器とファイルを共有できます。	P.154
ミニダイアリー	写真付きの日記を作成できます。	P.134
フォトエディター	静止画を編集できます。	P.118
ビデオメーカー	動画を編集できます。	P.118
ニュースと天気	ニュースや天気予報を確認できます。	―
プレイス	Googleマップ上に登録された各種情報を利用できます。	P.131
Latitude	特定の友人と位置情報を共有して利用するコミュニケーションツールです。	P.131
ナビ	Googleマップナビを表示します。	P.130
マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示･管理できます。	P.151
Polaris Office	Office 文書の表示･編集･新規作成ができます。	P.136
タスクマネージャー	起動中のアプリケーションの確認･終了などができます。	P.49
YouTube	YouTubeで動画を再生します。	P.127
Wi-Fiテザリング	ISW11SC をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できます。	P.164
ホーム切替	フォントを拡大表示したホーム画面に切り替えられます。	P.40
Backup	ISW11SC本体に保存されているデータをバックアップ、復元できます。	P.138
Flash Player Settings	Adobe® Flash® Playerでのアプリケーションの実行方法を設定できます。	―
netpeople:a※1	グルメやエリア情報の検索、地図や乗換案内などを検索できます。	―
Nドライブ※1	静止画や動画などのデータを無料のオンラインストレージに保存できます。	―
オリコンミュージックストア※1	ニュースやオリコンランキングを閲覧できます。	―
ビデオマーケット※1	映画･ドラマ･アニメなどの動画を楽しめるアプリです。	―
乗換案内※1	乗換案内や時刻表、運行情報などを確認できます。	―
GREEマーケット※1	au one GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。	―
LISMO Book Store※1	コミック･小説･写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	―
LISMO Player※1	音楽を再生したり、再生中の音楽に関する情報を調べることができます。	P.122
Photo Air※1	ISW11SCで撮影した写真を、自動で自宅のパソコンに保存できます。 ©KDDI/Powered by Eye-Fi	―
ナビウォーク※1	乗物･徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。	P.140
au one	au oneポータルサイトに接続します。	―
au one Market	auがおすすめするAndroidアプリをインストールできます。	P.125
au one-ID 設定	au one-IDを設定します。	P.34

アプリケーション	概要	ページ
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単に無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用できます。また、「かんたん接続」搭載の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントと簡単にWi-Fi®設定できます。	－
auお客さまサポート	auケータイの契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです。 ウイルスバスター™ モバイル for auの設定も行えます。	P.142
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報)を利用することができるアプリです。	P.144
Facebook	Facebookを利用できます。	－
Friends Note	ISW11SCの電話帳とFacebook やmixi など複数のソーシャル・ネットワーキング・サービスの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。	P.123
GLOBAL PASSPORT PLUS	海外でご利用の際、接続中の事業者と海外ダブル定額の適用有無、電話のかけかたなどをチェックできるアプリです。	－
NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。	P.141
NFCタグリーダー	NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。	P.142
Skype	音声通話や、インスタントメッセージ(チャット)ができます。	P.123
SMS(Cメール)	SMS(Cメール)を送受信します。	P.90
ニュースEX※1	最新のニュース・天気・占いなどの情報を確認することができます。	P.140
安心アプリ制限	お子様に利用させたくないアプリや機能を制限できます。	P.144
取扱説明書 ISW11SC ※1	ISW11SCの取扱説明書を表示します。	P.ii
タグ情報	読み込んだNFCタグやマイタグを管理できます。	P.131
メッセンジャー	Google+のメッセンジャーを利用します。	－
Google+	Google+を利用して、他のユーザーと情報の共有やチャットなどができます。	－
電話※2	電話の発信／着信、通話履歴などを表示します。	P.60
Eメール※2	Eメール(～@ezweb.ne.jp)の送受信ができます。	P.66
ブラウザ※2	インターネットに接続します。	P.105

※1 簡単にダウンロード／アップデート(更新)できるショートカットアプリです。利用するにはダウンロード／インストールが必要です。
※2 お買い上げ時は、ホーム画面／アプリケーション画面下部に配置されています。

memo

◎「取扱説明書 ISW11SC」アプリケーションを利用すると、さまざまな機能の操作方法や設定方法を確認できます。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。
◎アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。
◎ショートカットアプリを利用してインストールすると、名前が変更されたり、表示位置が移動される場合があります。

アプリケーション画面のメニューを利用する

1 ホーム画面で[アプリ]→[メニュー]

2

編集	▶P.44「アプリケーション画面をカスタマイズする」 • アプリケーション画面を「グリッド表示」に設定中のみ表示されます。
リスト表示／グリッド表示	アプリケーション画面の表示方法を切り替えます。
アプリ情報を共有	アプリケーション情報をBluetooth®機能やメール添付などで送信します。

アプリケーション画面をカスタマイズする

アプリケーション画面に表示されるアイコンの並べ替えや、フォルダーやページの追加ができます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[メニュー]→[編集]

編集画面が表示され、ページが自動的に1枚追加されます。

- 編集の説明画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ「OK」をタップしてください。「今後表示しない」にチェックを入れると、次回編集を行う際に編集の説明画面は表示されなくなります。

2 移動したいアイコンをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- アプリケーション画面下部に表示されている「電話」「Eメール」「ブラウザ」までドラッグして指を離すと、アプリケーションアイコンを追加／変更できます。
- 「フォルダーを追加」／「ページを追加」をロングタッチしてアプリケーション画面までドラッグすると、フォルダー／ページを追加できます。フォルダー／ページの追加操作を行う前に、アイコンをロングタッチして「フォルダーを追加」／「ページを追加」までドラッグして指を離すと、あらかじめアプリケーションアイコンを追加できます。また、「フォルダーを追加」／「ページを追加」をタップすると、追加したアプリケーションアイコンを確認できます。
- 追加したフォルダーの上までアイコンをドラッグして指を離すと、追加したフォルダーにアイコンを移動できます。
- アイコンをロングタッチしてアプリケーション画面の左端／右端までドラッグすると、アイコンを他のアプリケーション画面に移動できます。

3 [メニュー]→[保存]

memo

◎編集画面で「フォルダーを追加」／「ページを追加」にアプリケーションアイコンを追加した状態で[メニュー]→[フォルダーを空にする]／[ページを空にする]と操作すると、フォルダー／ページに追加したアプリケーションアイコンを元に戻します。

◎アイコンが追加されていないページは、操作の終了後、自動的に削除されます。

◎編集画面のアプリケーションアイコンに⊖が表示されている場合は、「⊖」をタップするとアプリケーションをアンインストールできます。

ISW11SCの状態を知る

画面上部のステータスバーにはISW11SCの状態を示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側には不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側にはISW11SCの状態を表すステータスアイコンが表示されます。

アイコンの見かた

■主な通知アイコン

アイコン	概要
	発信中、通話中または着信中
	不在着信あり
	新着Gmailあり
	新着PCメールあり
	新着Eメール（～@ezweb.ne.jp）あり
	Eメール認証中／送信中／送信完了
	Eメール認証失敗／受信失敗
	Eメール（～@ezweb.ne.jp）の送信失敗あり
	新着SMS（Cメール）あり／お留守番サービスの伝言お知らせ·着信お知らせあり
	新着インスタントメッセージあり
	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了
	Picasa などにデータアップロード完了
	アラーム鳴動中
	カレンダーなどのアラームあり
／	バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中
／	microSDメモリカードの準備中／スキャン完了
	microSDメモリカードのマウント解除中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	Google Playからインストール済みアプリケーションのアップデートあり
	ソフトウェア更新設定
／	アプリケーションのインストール／アップデート完了
	AllShare起動中
	ナビ起動中
	Kies air起動中
	VPN接続中／VPN接続失敗
	Wi-Fi Direct利用中
／	省電力モード設定中／省電力モード有効
	USB テザリング機能ON
	Wi-Fi® テザリング機能ON
	Skype™ | auサインイン済み
	LISMO Playerで音楽再生中
	緊急地震速報あり
	充電完了
	非表示の通知情報あり（数字は件数）

■主なステータスアイコン

アイコン	概要	ページ
／	電波の強さ レベル4／圏外	－
	電波の強さ（国際ローミング中）	－
／	3G データ通信状態 3Gデータ使用可能／3Gデータ通信中	－
／	1Xデータ通信状態 CDMA 1Xデータ使用可能／CDMA 1Xデータ通信中	－
／	GPS 機能現在地測位中（アニメーション表示）／測位完了（アニメーション表示停止）	P.129
／	WiMAX通信状態 WiMAX使用可能／WiMAX通信中	P.163
	無線LAN（Wi-Fi®）接続中／使用中	P.160
	Bluetooth® 機能オン	P.158
	Bluetooth® デバイスと接続中	P.159
	データ同期中	P.174
	機内モード設定中	P.167
	マナーモード設定中	P.171
	バイブ設定中	P.171
	「NFC R/W P2P」と「マイタグを共有」をONに設定中	P.132、168

アイコン	概要	ページ
	NFCロック中	P.168
	ハンズフリー(スピーカー)通話中	P.61
	ミュート(自分の声を無音)にして通話中	P.61
／	電池レベル状態 100%／充電中	－
	アラーム設定中	P.146
	au ICカードが未挿入	－

通知パネルについて

通知アイコンが表示されたときは、通知パネルを開くと通知の概要を確認できます。また、通知パネルのアイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

1 ステータスバーを下にスライド

① 無線LAN(Wi-Fi®)機能のON／OFF を切り替えます。
② WiMAX機能のON／OFFを切り替えます。
③ Wi-Fi®テザリング機能のON／OFFを切り替えます。
④ GPS 機能のON／OFF を切り替えます。
⑤ マナーモードのON／OFFを切り替えます。
⑥ 画面の自動回転のON／OFF を切り替えます。
⑦ 接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。
⑧ 通知情報(お知らせ)の表示を消します。
⑨ 進行中／実行中の情報などが表示されます。
⑩ 不在着信やメールの受信などの通知情報(お知らせ)が表示されます。
⑪ 上にスライドすると通知パネルを閉じます。

memo

◎通知内容によっては消去できない場合があります。

クイック検索ボックスを利用する

ISW11SC本体やWebページの情報を検索できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ

:検索対象を切り替えます。
:Google音声検索に切り替えます。

- 「現在地を使用」確認画面が表示された場合は、「同意する」／「同意しない」をタップします。
- ウェブ検索履歴の表示確認画面が表示された場合は、「はい」／「いいえ」をタップします。

2 入力欄にキーワードを入力

入力したキーワードを含むISW11SC本体やWebページの情報の検索候補が表示されます。

:ブラウザを起動してGoogle検索の検索候補を表示します。
:選択したキーワードを入力欄に入力します。

3 検索候補をタップ／クイック検索ボックスの[→]

ISW11SC本体の検索候補を選択した場合は、情報を表示したり、アプリケーションを起動したりできます。Webページの検索候補を選択した場合は、ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスの[🎤]

Google音声検索画面が表示されます。

- 「現在地を使用」確認画面が表示された場合は、「同意する」／「同意しない」をタップします。Google音声検索画面が閉じた場合は、再度手順1を行ってください。
- 音声検索言語の設定確認画面が表示された場合は「はい」／「いいえ」をタップします。

2 送話口に向かってキーワードを話す

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

検索時のメニューを利用する

1 ホーム画面で[アプリ]→[検索]→[メニュー]→[検索設定]

2

Google検索の設定	キーワード入力時の入力候補や検索履歴の表示、Googleとの共有を設定します。また、検索履歴の管理を行います。 • Googleアカウントの登録が必要です。
検索対象	検索対象を設定します。
ショートカットを消去	最近選択した検索候補を表示しないように消去できます。

◎ Google音声検索画面→[メニュー]→[設定]と操作すると、「音声認識設定」(▶P.177)を変更できます。

基本的な操作を覚える

ここでは、ISW11SCのよく使う操作を説明します。

縦横表示を切り替える

ISW11SCの向きに合わせて、自動的に画面の縦／横画面表示を切り替えることができます。

◎ ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[画面]と操作し、「画面の自動回転」のチェックを外すと、縦画面表示で固定されます(一部機能によっては、横画面になる場合もあります)。

◎ ホーム画面や設定画面など、表示中の画面によっては、ISW11SCの向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップします。

タブを切り替える

タブが表示されている画面では、表示／確認したいタブをタップすると画面を切り替えられます。
タブの左端／右端が青色などで表示されている場合は、非表示のタブがあります。タブ部分を左右にスライドすると、非表示のタブを表示できます。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法は、メニューキー(▤)をタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

例：電話帳画面で ▤ を押す場合

《電話帳画面》

メニュー

例：電話帳画面で連絡先をロングタッチする場合

《電話帳画面》　メニュー

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックス／ラジオボタンが表示されているときは、チェックボックス／ラジオボタンをタップすることで設定のオン／オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
☑／◉	設定がオンの状態です。
☑／◉（グレー表示）	設定がオフの状態です。

データを複数選択する

データを移動／保存／削除などする際に、複数のデータを選択できます。
選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。
チェックボックスにチェックが入った項目をもう一度タップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

最近使用したアプリケーションを表示する

最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

1 **（1秒以上長押し）**

最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。

- 一覧からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。
- 「タスクマネージャー」をタップすると、タスクマネージャー(▶P.49)を起動できます。

起動中のアプリケーションを確認／終了する

1 **ホーム画面で［アプリ］→［タスクマネージャー］**

（1秒以上長押し）→［タスクマネージャー］と操作しても、タスクマネージャーを起動できます。

① **タブ**

「起動中のアプリ」タブ：起動中のアプリケーション一覧が表示されます。

「ダウンロード済み」タブ：インストールしたアプリケーション一覧と、メモリ使用状況を確認します。「アンインストール」をタップすると、アプリケーションをアンインストールします。

「RAM」タブ：RAMの使用状況を確認します。「メモリを消去」をタップすると、RAMの内容を消去します。

「ストレージ」タブ：各種メモリの使用状況を確認します。

「ヘルプ」タブ：電池パックの使用時間を延ばすためのアドバイスや、RAMマネージャーの説明が表示されます。

② **起動中のアプリケーションの件数**

「全て終了」をタップすると、起動中のアプリケーションをすべて終了します。

③ **起動中のアプリケーション一覧**

「終了」をタップすると、アプリケーションを終了します。

memo

◎「起動中のアプリ」タブ画面／「ダウンロード」タブ画面で →［ソート］と操作すると、一覧の表示順を変更できます。

画面の表示内容を画像として保存する

を押しながら を押すと、現在表示されている画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。動作が完了すると画面上にキャプチャの完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- を押し、最近使用したアプリケーションの一覧が表示される前に を押すようにしてください。

memo

◎スクリーンキャプチャした画像は、「マイファイル」(▶P.151)の「ScreenCapture」フォルダーに保存されます。

◎起動中のアプリケーションによっては、スクリーンキャプチャが動作しない場合があります。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などに表示される文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。
文字入力用のキーボードには、以下の3種類があります。

- Samsung日本語キーボード
- Samsung韓国語キーパッド
- Swype™

memo

◎ Samsung韓国語キーパッドでは日本語を入力できません。
◎ 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードを切り替える

1 文字入力欄をロングタッチ

2 [入力方法]

3 利用したい入力方法を選択

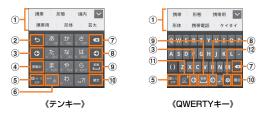
memo

◎ 文字入力欄をタップしたときに表示されるキーボードの種類は、ホーム画面で →[設定]→[言語とキーボード]→[入力方法を選択]→利用したい入力方法を選択と操作しても設定できます。

Samsung日本語キーボードで入力する

Samsung 日本語キーボードは、「テンキー」と「QWERTYキー」の2種類のキーボードを利用できます。

- **テンキー**:一般の携帯電話のようなキー配列のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップして入力します。「フリック入力」(▶P.55)をONに設定中の場合は、ひらがな漢字/全角カタカナ/半角カタカナ入力モードでキーをロングタッチするとキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックしても入力できます。
- **QWERTYキー**:パソコンなどと同じキー配列のキーボードです。日本語はローマ字入力で行います。

《テンキー》　《QWERTYキー》

① 予測変換候補/通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 予測変換をOFFに設定して文字入力中や、予測変換候補の表示中に「変換」をタップすると、通常変換候補が表示されます。
- 「」をタップすると、予測変換候補/通常変換候補の表示エリアを拡大できます。「」をタップすると、元の表示に戻ります。

② 確定前の文字を逆順に切り替えます。
- 文字を入力していないときはが表示されます。タップすると設定メニューが表示され、各種設定の変更や、キーボード/入力モード/入力方法の切り替えができます。

③ カーソルを左に移動します。

④ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補に戻ります。
- 文字が入力されていないときは が表示されます。タップすると記号／顔文字一覧画面が表示され、記号や顔文字の選択や、音声入力への切り替えができます。

⑤ 入力モードを切り替えます（▶P.51）。
⑥ 大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
- 全角／半角英字入力モードの場合は「A／a」と表示されます。

⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
⑧ カーソルを右に移動します。
- 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときにもタップします。ただし、「自動カーソル移動」（▶P.56）を「Off」以外に設定している場合は、自動的にカーソルが移動します。
- ワイルドカード予測をONにしている場合は、タップするとワイルドカード予測（▶P.52）を利用できます。

⑨ 通常変換候補を表示します。
- 変換候補が表示されていない場合や、ひらがな漢字入力モード以外の場合は が表示され、タップするとスペースを入力できます。

⑩ 操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、入力した文字の確定や、改行、次の入力欄への移動などができます。
⑪ 記号／顔文字一覧画面が表示され、記号や顔文字の選択や、音声入力への切り替えができます。
- 記号／顔文字一覧画面で「記号」タブ／「顔文字」タブをタップして、一覧を切り替えます。「戻る」をタップすると、記号／顔文字一覧画面を閉じます。
- 入力欄によっては が表示され、タップすると「.com」などの定型文を入力できます。

⑫ 設定メニューが表示され、各種設定の変更や、キーボード／入力モード／入力方法の切り替えができます。

■キーボードの種類を切り替える

1 キーボード表示中に[ ]

設定メニューが表示されます。

2 [テンキー⇔QWERTYキー]

memo

◎ 切り替えたキーボードの種類の設定は、入力モードごとに保存されます。

■入力モードを切り替える

1 キーボード表示中に「 」をロングタッチ

入力モード切替メニューが表示されます。
- 「 」をタップしても、タップするごとに「ひらがな漢字」→「半角英字」→「半角数字」の順に入力モードを切り替えられます。

2 利用したい入力モードをタップ

入力モードが切り替わり、キーの表示が次のように変わります。

：ひらがな漢字入力モード
 ／ ：全角カタカナ／半角カタカナ入力モード
 ／ ：全角英字／半角英字入力モード
 ／ ：全角数字／半角数字入力モード

■ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。予測変換とワイルドカード予測をONにしている場合に利用できます。

■例：「携帯」を入力する場合

1 キーボード表示中に「け」を入力

2 [⊖]を3 回タップする

入力欄に「け○○○」が表示され、予測変換候補に「携帯」が表示されます。

- 読みの文字数を変更するには、「⊖」／「⊖」をタップします。

3 予測変換候補から[携帯]

Samsung韓国語キーパッドで入力する

Samsung韓国語キーパッドでは、「Qwertyキーパッド」と「3×4キーパッド」の2種類のキーパッドを利用して、韓国語、英語、数字、記号を入力できます。

- 日本語は入力できません。
- 入力欄をタップしたときや、キーパッドを切り替えたときに表示されるキーパッドの種類（Qwertyキーパッド／3×4キーパッド）は、Samsungキーパッド設定の「韓国語」／「アルファベット」／「数字と記号」で設定できます（▶P.56）。

■Qwertyキーパッド

《韓国語入力》

《英語入力》

《数字・記号入力》

① スペースを入力します。
② 音声で文字を入力します。
③ Samsungキーパッド設定画面を表示します（▶P.56）。
- ロングタッチすると、キーボードの切り替えができます（▶P.50）。

④ 韓国語入力の場合は平音／濃音、英語入力の場合は大文字／小文字を切り替えます。
⑤ 「数字と記号」（▶P.56）が「Qwertyキーパッド」の場合は数字・記号入力、「数字と記号」が「3×4キーパッド」の場合は数字入力に切り替えます。
- Qwertyキーパッドの数字・記号入力でタップした場合は、韓国語入力または英語入力に戻ります。

⑥ 韓国語入力／英語入力に切り替えます。
⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
⑧ 改行を入力します。
⑨ 矢印をタップして数字・記号の一覧を切り替えます。

基本操作

memo

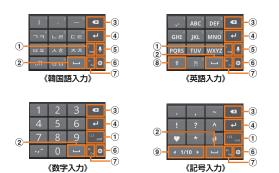
◎ 英字入力で右上に数字が表示されているキーをロングタッチすると、数字を入力できます。

■3×4キーパッド

一般の携帯電話のような入力方法(マルチタップ方式)のキーパッドです。入力したい文字が割り当てられているキーを、文字が入力されるまで数回タップします。

- 数字入力、記号入力の場合は、キーを1回タップすると数字や記号を入力できます。

《韓国語入力》 《英語入力》

《数字入力》 《記号入力》

① 「数字と記号」(▶P.56)が「3×4キーパッド」の場合は数字入力または記号入力、「数字と記号」が「Qwertyキーパッド」の場合は数字・記号入力に切り替えます。
  - 数字入力のときは記号入力に、記号入力のときは数字入力に切り替わります。

② スペースを入力します。

③ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

④ 改行を入力します。

⑤ 音声で文字を入力します。

⑥ Samsungキーパッド設定画面を表示します(▶P.56)。

⑦ 韓国語入力/英語入力に切り替えます。

⑧ タップするごとに先頭文字の大文字入力(キーがグレーで矢印が水色)、大文字固定入力(キーが水色で矢印が白色)、小文字入力(キーがグレーで矢印が白色)に切り替わります。

⑨ 矢印をタップして記号の一覧を切り替えます。

memo

◎ 横画面にすると、各キーパッドは自動的にQwertyキーパッドに切り替わります。

◎ 韓国語入力や英語入力で右上に数字が表示されているキーをロングタッチすると、数字を入力できます。

Swype™で入力する

キーボードから指を離さずに、入力したい文字列の順に目的のキー上をスライドして文字を入力できます。例えば「fun」と入力する場合は、キーを「f」→「u」→「n」の順にスライドします(文頭などでは、先頭文字が自動的に大文字になる場合があります)。

- 入力したいキーをタップしても、文字や記号を入力できます。
- Swype™の使いかたなどの詳細については、「Swypeの使い方」(▶P.57)をご参照ください。

《文字入力(日本語入力)》

《記号・数字入力》

① 単語候補が表示され、候補をタップすると文字を入力できます。
- 候補をタップして文字を入力した後、入力した文字が個人辞書に登録できる場合は、「「xxx」を辞書に追加」(「xxx」は入力した文字)が表示されます。タップすると個人辞書に登録できます(日本語には対応していません)。

② 入力言語を切り替えます(▶P.54)。
③ キーボードを数字･記号入力に切り替えます。
- ロングタッチすると数字のキーボードに切り替えられます。

④ キーボードの表示を切り替えます。
- 英語入力の場合は、タップするごとに先頭文字の大文字入力(キーがグレーで矢印が水色)、大文字固定入力(キーが水色で矢印が白色)、小文字入力(キーがグレーで矢印が白色)に切り替わります。
- 韓国語入力の場合は、タップするごとに平音／濃音を切り替えます。

⑤ ロングタッチすると設定メニューが表示されます(▶P.57)。
⑥ 音声で文字を入力します。
⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
⑧ 改行を入力します。
- [:-)]が表示されている場合は、顔文字を入力します。

⑨ 顔文字の一覧を表示します。
⑩ キーボードの表示を切り替えます。
⑪ キーボードを文字入力に切り替えます。
- ロングタッチするとテキスト編集のキーボードに切り替えられます。

memo

◎各キーを1秒以上ロングタッチすると、キーの上部に表示されている数字や記号などを入力したり、顔文字の一覧を表示したりできます。2秒以上ロングタッチすると、各キーに割り当てられている文字や記号などの一覧が表示されます。

■入力言語を切り替える

1 キーボード表示中に[JA]をロングタッチ

「現在の言語を変更」メニューが表示されます。
- 「JA」をタップしても、タップするごとに入力言語を切り替えられます。

2 利用したい入力モードをタップ

memo

◎利用できる入力言語は、「言語オプション」(▶P.57)で追加／変更できます。

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

■メニューを利用する

1 文字が入力された状態で入力欄をロングタッチ

テキスト編集メニューが表示されます。

2

テキスト選択	入力した文字列の範囲を指定して選択します。
全て選択	入力した文字列をすべて選択します。
カット※1 コピー※1	選択した文字列を切り取り／コピーします。切り取り／コピーした文字列はクリップボードに保存されます。
貼り付け※2	切り取った／コピーした文字列を貼り付けます。
入力方法	キーボードを切り替えます(▶P.50)。

※1「テキスト選択」／「全て選択」の操作後、再度入力欄をロングタッチすると表示されます。
※2「カット」／「コピー」の操作後など、クリップボードにテキストデータが保存されている場合に表示されます。

■アイコンを利用する

1 文字が入力された状態で入力欄をタップ

が表示されます。ドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 [ ]

操作アイコンのメニューが表示されます。

3

テキスト選択	入力した文字列の範囲を指定して選択します。
全て選択	入力した文字列をすべて選択します。
コピー※1 カット※1	選択した文字列をコピー／切り取りします。コピー／切り取りした文字列はクリップボードに保存されます。
貼り付け※2	コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。
クリップボード※2	クリップボードに保存されているテキストデータを選択して文字を入力します。

※1「テキスト選択」／「全て選択」の操作後に表示されます。
※2「コピー」／「カット」の操作後など、クリップボードにテキストデータが保存されている場合に表示されます。

memo

◎アプリケーションによっては、 をタップしても操作アイコンのメニューが表示されない場合があります。

文字入力の設定をする

Samsung日本語キーボードの設定を行う

Samsung日本語キーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で → [設定] → [言語とキーボード] → [Samsung日本語キーボード]

2

キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブレーション	キーをタップしたとき、ISW11SCを振動させるかどうかを設定します。
キーポップアップ	キーをタップしたとき、入力する文字をポップアップ表示させるかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
キーボードタイプ	利用したいキーボードの種類を、画面の向きや入力モードごとに設定します。
音声入力	音声で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。
フリック入力	キーボードの種類を「テンキー」、入力モードを「ひらがな漢字」／「全角カタカナ」／「半角カタカナ」にして文字を入力する際、フリック方式で文字を入力できるようにするかどうかを設定します。 ONに設定中は、キーをロングタッチすると入力できる文字がキーポップアップ表示され、入力したい文字の方向にフリックすると文字を入力できます。 • 入力モードが「全角英字」「半角英字」「全角数字」「半角数字」の場合は、フリック入力ができません。
フリック感度（低⇔高）※1	フリック方式で文字を入力する際のフリック感度を調整します。
トグル入力※1	フリック方式で文字を入力する際にトグル入力（ケータイ打ち）できるようにするかどうかを設定します。

自動カーソル移動	カーソルを自動で移動する速度を設定します。文字を入力すると、設定した速度でカーソルが移動し、次の文字の入力待ち状態になります。
候補学習	変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
予測変換	予測変換をONにするかどうかを設定します。
入力ミス補正※2	入力を間違えたとき、変換候補に修正候補を表示させるかどうかを設定します。
ワイルドカード予測※2	ワイルドカード予測(▶P.52)を利用するかどうかを設定します。
自動スペース入力	英字入力モードで予測変換候補／通常変換候補を選択したとき、自動的にスペースを入力するかどうかを設定します。
候補表示行数	縦画面で文字入力中に表示される予測変換候補／通常変換候補の行数を設定します。
マッシュルーム	マッシュルーム拡張を使用するかどうかを設定します。
日本語ユーザー辞書	日本語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。
iWnn IME for Samsung	Samsung日本語キーボードのバージョンを確認します。

※1 フリック入力がOFFの場合は設定できません。
※2 予測変換がOFFの場合は設定できません。

Samsung韓国語キーパッドの設定を行う

Samsung韓国語キーパッドを利用して文字を入力する際の入力動作の設定ができます。

1 ホーム画面で［≡］→［設定］→［言語とキーボード］→［Samsung韓国語キーパッド］

2

スイープで入力モードを切替	キーパッド上を左端から右端（または右端から左端）にスライド／フリックして、入力モードを切り替えられるようにするかどうかを設定します。
自動句点挿入	キーパッドをQwertyキーパッドにして文字を入力するとき、スペースキーをダブルタップしてピリオドを入力できるようにするかどうかを設定します。
音声入力	音声入力を有効にするかどうかを設定します。
キーポップアップ	キーをタップしたとき、入力する文字をポップアップ表示させるかどうかを設定します。
設定リセット	Samsung韓国語キーパッドの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
韓国語※1	縦画面にして韓国語を入力する際のキーパッドを、「Qwertyキーパッド」と「3×4キーパッド」のどちらを利用するかを設定します。
アルファベット※1	縦画面にして英字を入力する際のキーパッドを、「Qwertyキーパッド」と「3×4キーパッド」のどちらを利用するかを設定します。
数字と記号※1	縦画面にして数字･記号を入力する際のキーパッドを、「Qwertyキーパッド」と「3×4キーパッド」のどちらを利用するかを設定します。

※1 横画面にすると、キーパッドは自動的にQwertyキーパッドに切り替わります。

Swype™の設定を行う

Swype™を利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、個人辞書の登録などができます。

1 **ホーム画面で［メニュー］→［設定］→［言語とキーボード］→［Swype］**

2

入力方法を選択		入力方法を切り替えます。
Swypeの使い方		Swype™の使用方法やヒントなどを表示します。
個人辞書		単語などを登録／編集します。 • 日本語は登録できません。
優先設定	音声フィードバック	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	バイブレーション設定	キーをタップしたときにISW11SCを振動させるかどうかを設定します。
	ヒントを表示	パスワード入力欄を初めてタップしたときなど、特定の操作を行ったときにSwype™のヒントを表示するかどうかを設定します。
	軌道を完全に表示	指でスライドした軌道を表示し続けるかどうかを設定します。
	速度または精度	文字を入力する際の反応速度を設定します。
	Swypeの辞書をリセット	個人辞書に登録した単語などをすべてリセットします。
	バージョン	Swype™のバージョンを確認します。
言語オプション		入力言語を設定します。

電話

電話

電話をかける

1 ホーム画面で[電話]→「キーパッド」タブ

キーパッド画面

① **タブ**
「キーパッド」タブ:キーパッド画面が表示されます。
「履歴」タブ(▶P.62「履歴を利用して電話をかける」)
「電話帳」タブ(▶P.110「連絡先を登録する」)
「お気に入り」タブ(▶P.111「連絡先をお気に入りに追加する」)
「グループ」タブ(▶P.112「グループ分けした連絡先を確認する」)

② **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

③ **検索結果欄**
番号を入力するごとに連絡先や履歴などが検索され、入力候補と件数が表示されます。入力候補がない場合は「連絡先に追加」が表示されます。

④ **発信キー**

⑤ **SMS(Cメール)キー**
SMS(Cメール)を作成・送信します(▶P.90)。

⑥ **削除キー**
最後に入力した番号を削除します。ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除できます。

2 相手の電話番号を入力

同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。
- スピードダイヤル(▶P.61)を登録済みの場合は、短縮番号を割り当てたキーをロングタッチすると、スピードダイヤルで発信できます。

3 [ ]

通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら[通話を終了]

memo

◎ISW11SCを顔に近づけるなどして近接センサーを覆ったとき(マイク付ステレオヘッドセット(試供品)などを取り付けている場合を除く)や、操作せずに約30秒経過すると、通話中画面は自動的に消えます。近接センサーから顔などを離す、または を押すと、通話中画面を表示できます。
◎通話音量を調節するには、通話中に を押します。

■au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- 010(au国際電話サービス:お申し込みは不要です)

- 171（災害用伝言ダイヤル）
- 177（天気予報：市外局番が必要です）
- 117（時報）
- 104（電話番号案内）
- 115（電報の発信）
- 110（警察への緊急通報）★
- 119（消防機関への緊急通報）★
- 118（海上保安本部への緊急通報）★
- 157（お客さまセンター）
- 船舶電話

※★は緊急通報番号です。ISW11SCは、緊急通報受理機関への緊急通報の際、基地局の信号により、お客様の現在地が緊急通報先に通知されます。
※次のNTTサービスはご利用になれません。
　コレクトコール、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、116（NTT営業案内）

■キーパッド画面のメニューを利用する

1 **キーパッド画面→[≡]**

2

連絡先に追加	▶P.110「連絡先を登録する」
スピードダイヤル設定	▶P.61「スピードダイヤルを登録する」
2秒間の停止を追加	「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
待機を追加	「;」を入力します。電話番号に続けて「;」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「OK」をタップしたときにプッシュ信号（番号）が送信されます。

■通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
通話を追加	別の相手に電話をかけます（▶P.189）。
キーパッド	キーパッドを表示してプッシュ信号を送信します。
スピーカー	相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。
Bluetooth	Bluetooth®対応機器と接続してハンズフリーで通話します。

memo

◎通話中画面→[≡]→[電話帳]と操作すると、電話帳画面を表示できます。

■スピードダイヤルを登録する

1 **キーパッド画面→[≡]→[スピードダイヤル設定]**

スピードダイヤル設定画面が表示されます。

2 **短縮番号（2〜9）を選択→連絡先を選択**

memo

◎短縮番号1には留守番電話が登録されており、変更／削除できません。
◎登録済みの短縮番号をタップして電話発信やSMS（Cメール）送信ができます。
◎短縮番号を変更／削除するには、短縮番号をロングタッチ→[変更]／[消去]と操作します。
◎スピードダイヤル画面で[≡]をタップすると、短縮番号の並べ替えや削除ができます。

履歴を利用して電話をかける

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で[電話]→「履歴」タブ

履歴画面が表示されます。

:着信／受信	:発信／送信
:不在着信	:着信拒否
:拒否リストからの電話	

2 かけたい相手を選択

履歴詳細画面が表示されます。

3 [ ]

memo

◎電話帳に登録されている相手の画像をタップしてアイコンをタップすると、電話の発信／SMS（Cメール）やPCメールの作成／連絡先の表示などができます。
◎「着信拒否」（▶P.170）で着信を拒否したい電話番号を登録できます。
◎履歴画面で履歴を左にスライドするとSMS（Cメール）送信、右にスライドすると電話発信ができます。

■履歴画面／履歴詳細画面のメニューを利用する

1 履歴画面／履歴詳細画面→[ ]

2

表示設定※1	表示する履歴の種類を切り替えます。
連絡先を表示※2	表示中の履歴の電話番号が電話帳に登録されている場合に、連絡先を表示します。
削除	履歴を削除します。
通話時間※1	通話時間を確認します。
編集して発信※2	電話番号が入力されたキーパッド画面を表示します。
発着信履歴を送信※2	発着信履歴を送信します。

※1 履歴画面で表示されます。
※2 履歴詳細画面で表示されます。

memo

◎履歴画面で履歴をロングタッチしても、メニュー項目を表示できます。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

ISW11SCからは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：ISW11SCからアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面で[電話]→「キーパッド」タブ→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[ ]

国際アクセスコードは国によって異なります。

国際アクセスコード※1	→	国番号（アメリカ）	→	市外局番※2	→	相手の方の電話番号
001010または010		1		212		123XXXX

※1「0」をロングタッチすると、「＋」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

memo

◎「＋」を入力したとき、発信時に自動的に付加される国際アクセスコードは、「国際電話」（▶P.170）で変更できます。
◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
一般電話から **0077-7-111**（通話料無料）
受付時間 9:00〜20:00（年中無休）
◎ 海外へ電話を転送できます（▶P.187「海外の電話へ転送する」）。

■ 緊急通報位置通知について

ISW11SCは、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信画面が表示されます。

2 「」を表示される円の外までドラッグ／スライド

- 着信を拒否する場合は、「」を表示される円の外までドラッグ／スライドします。着信を拒否すると、発信元にガイダンスが流れます。

memo

◎ 「着信拒否の設定をする」（▶P.170）で着信を自動的に拒否するように設定できます。
◎ 着信中に［音量］／［電源］を押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で［メニュー］→［設定］→［端末情報］→［ステータス］

「電話番号」欄に自分の電話番号が表示されます。

メール

メールについて

ISW11SCでは、次のメールが利用できます。

■Eメール

Eメール(~@ezweb.ne.jp)は、Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるauのサービスです。文章のほか、フォトやムービーなどのデータを送ることができます(▶P.66)。

■SMS(Cメール)

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMS(Cメール)の送信および受信をご利用いただけます(▶P.90)。

■PCメール

「メール」アプリケーションを利用して、au one メールのメールアカウントやExchange ActiveSyncアカウント、一般のISP(プロバイダ)が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じようにISW11SCからメールを送受信できます(▶P.89、97)。

■Gmail

Googleが提供するメールサービスです。ISW11SCからGmailの確認・送受信などができます(▶P.100)。

Eメールを利用する

Eメール(~@ezweb.ne.jp)はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、フォトやムービーなどのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、パケット通信接続が必要です。また、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、ISW11SC同梱の『設定ガイド』、または「Eメールの初期設定を行う」(▶P.34)をご参照ください。
- Eメールを利用するには、IS NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎Eメールは海外でもご利用になれます。
◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。
◎Eメールの送受信は無線LAN(Wi-Fi®)機能で利用できますが、初期設定はパケット通信にて行ってください。

Eメールを送信する

1 ホーム画面で[Eメール]→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

2 [ ]

「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を越えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すれば、グループを作成することもできます。au one Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のau one Friends Noteアプリをau oneマーケットからダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。
メール送信履歴引用	**Eメールアドレスにチェックを入れる→[選択]** • [ ]→[削除]→Eメールアドレスにチェックを入れる→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	プロフィールに登録されているEメールアドレスを選択して宛先に入力します。
貼り付け※1	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

4 [件名を入力]→件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

6 [完了]→[送信]→[送信]

memo

◎デコレーションアニメには対応しておりません。
◎件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ー(長音)゛(濁点)゜(半濁点)、。･「」』は入力できません。
◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎auの絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されて届きます。
※絵文字によっては変換されない場合があります。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどに送信した絵文字は、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
◎送信時確認表示は非表示に設定することもできます(▶P.85)。

宛先を追加・削除する

宛先を追加／削除したり、宛先の種類(To／Cc／Bcc)を変更したりできます。

■ 宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄の[ ]

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.67)の手順3へ進みます。
「宛先を追加」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→入力済みのアドレス入力欄の[×]→[削除]

■ 宛先の種類を変更する場合

1 送信メール作成画面→入力済みのアドレス入力欄の[To]

2

To	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Cc	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bcc	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。

memo

◎一番上の宛先は種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

• ISW11SCではユーザーメモリ(本体)をmicroSDメモリカードとしてマウントしているため、「SDカード」と表示されている場合でも、ユーザーメモリ(本体)を表示します。

1 送信メール作成画面→[添付する]

2

SDカード	microSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)のデータを添付します。
ギャラリー(静止画)	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ(静止画)	フォトを撮影して添付します。
カメラ(動画)	ムービーを録画して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

memo

◎1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎データを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。

添付データを削除する

1 送信メール作成画面→削除するデータの[×]

2 [削除]

絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[絵文字]

2 [D絵文字]/[ピクチャ]→[▲]

3

au oneから探す	インターネットに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)の絵文字を利用する場合

2 [microSD]→[ダウンロード]

3

au oneから探す	インターネットに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

更新	microSDメモリカードまたはユーザーメモリ（本体）に保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます（デコレーションメール）。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 ［装飾］

3 装飾の開始位置を選択→［選択開始］→「⇦」／「⇨」で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

≡→［装飾全解除］→［解除］と操作すると、装飾を解除できます。

4

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※1	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードやギャラリーに保存された画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※1「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 ［完了］→［送信］→［送信］

◎本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。

◎本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。

※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

※Flash®は20件のうち最大2件まで挿入できます。ただし、同一のFlash®は挿入できません。

※挿入できる画像／デコレーション絵文字／Flash®は、拡張子が「.jpg」「.gif」「.swf」のファイルです。

◎「Eメールにデータを添付する」（▶P.68）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。

◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。

◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。

◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信･表示される場合があります。

◎Eメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更して、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめau one Marketから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 ［速デコ］

「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 ［確定］

■テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

1 Eメールトップ画面→[テンプレート]

テンプレート一覧画面が表示されます。
→[SDカードから読み込み]と操作すると、microSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→[メール作成]

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→

2

アドレス帳引用	電話帳から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文/冒頭文/署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文/署名はあらかじめ登録してください(▶P.84)。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。
ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。

4 フォルダを選択→受信したEメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.83)をオフに設定している場合は、バックグラウンド受信しません。
◎「メール自動受信」(▶P.83)をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴りが表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.71)の操作を行い、Eメールを受信してください。
◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき全角約5,000文字/半角約10,000文字(約10KB)までです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

■ 受信済みの添付データを再生する場合

1 受信メール内容表示画面→添付データをタップ→[表示]

■ 未受信の添付データを受信して再生する場合

1 未受信の添付データをタップ→添付データをタップ→[表示]

memo

◎受信メール内容表示画面→添付データをタップ→[SDカードへ保存]と操作すると、添付データをmicroSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)に保存できます。

◎ 通常のEメール(テキストメール)では、添付データがメール内容表示画面にインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif(アニメーションを含む)」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、インライン再生されない場合があります。
◎ デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。
◎ 複数件の添付ファイルがある場合は、[ ]→未受信の添付データ／挿入画像をタップ→添付データ／挿入画像をタップ→[表示]と操作すると、添付データ／挿入画像を受信・再生できます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.83)をオフに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 Eメールトップ画面→[新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。
新着メールがなかった場合は、「新着メールはありません。」とメッセージが表示されます。

Eメールを確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。
受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます(送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります)。

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]またはフォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。
[返信]:返信のEメールを作成
[転送]:転送のEメールを作成
[保護]／[保護解除]:Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
◀:前のEメールを表示
▶:次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]またはフォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール内容表示画面が表示されます。
[再送信]:同じEメールをもう一度送信
[コピー編集]:コピーして編集
[保護]／[保護解除]:Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
◀:前のEメールを表示
▶:次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。
送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

3 Eメールをタップ

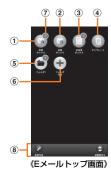
未送信メール内容表示画面が表示されます。
[送信]:宛先が入力されているEメールを送信
[編集]:Eメールを編集
[コピー編集]:保護されたEメールをコピーして編集
[保護]／[保護解除]:Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]:Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
◀:前のEメールを表示
▶:次のEメールを表示

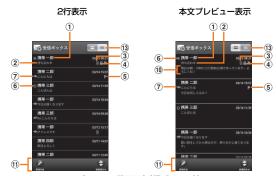
memo

◎宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
◎Eメールトップ画面→[≡]→[au oneメール]→[au one メールTop]と操作すると、au one メールを利用できます(▶P.89「au one メールを利用する」)。
◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎送信ボックス･未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバーに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。

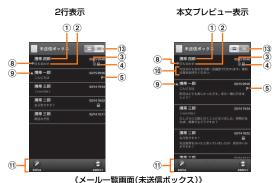
■Eメールトップ画面の見かた

Eメールトップ画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《Eメールトップ画面》

① **受信ボックス**
② **送信ボックス**
③ **未送信ボックス**
④ **テンプレート**
⑤ **フォルダ**
⑥ **フォルダ作成**
⑦ フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
⑧ **アクションバー**

■Eメール一覧画面の見かた

《メール一覧画面(受信ボックス)》

《メール一覧画面(送信ボックス)》

《メール一覧画面(未送信ボックス)》

《メール一覧画面(フォルダ)》

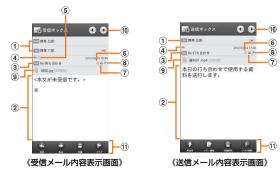
① **宛先/差出人の名前またはEメールアドレス**
Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
電話帳に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

② **件名**
③ **添付データあり**
④ **保護されたEメール**
⑤ **フラグあり**
⑥ **:未読のEメール**
:本文を未受信のEメール
:サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール
⑦ **:返信したEメール**
:転送したEメール
:返信/転送したEメール
⑧ **:返信のEメール**
:転送のEメール
⑨ **送信に失敗したEメール/サーバーに元のメール(受信メール)がなく転送に失敗したEメール**
⑩ **本文**
⑪ **アクションバー**
⑫ **受信/送信切替スライダ**
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。
⑬ **2行表示/本文プレビュー表示切替キー**
横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

メール

■Eメール内容表示画面の見かた

《受信メール内容表示画面》　《送信メール内容表示画面》

① **受信メール**
From :差出人の名前またはEメールアドレス
To / CC :宛先の名前またはEメールアドレス
送信メール
To / CC / BCC : 宛先の名前またはEメールアドレス
※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。「 」をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。
② **本文**
③ Sub **:件名**
④ **送信メール**
:返信のEメール
:転送のEメール/転送したEメール
受信メール
:返信したEメール
:転送したEメール
:返信/転送したEメール
⑤ **:本文を未受信のEメール**
:サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

⑥ 添付データあり
⑦ 保護されたEメール
⑧ フラグあり
⑨ 📎:受信済みの添付データ
📎:未受信の添付データ
※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。「⌄」をタップすると、その他の添付データを表示できます。
⑩ 前のEメール/次のEメールを表示
※本文表示エリアを左右にフリックすることで、前のEメール/次のEメールを表示することもできます。
⑪ アクションバー

Eメール一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面/送信メール一覧画面/未送信メール一覧画面/検索結果一覧画面→[≡]**

2

検索		▶P.82「Eメールを検索する」
移動		Eメールを移動します。 **移動するEメールにチェックを入れる→[移動]→移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください(▶P.80)。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
削除		Eメールを削除します。 **削除するEメールにチェックを入れる→[削除]→[削除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。
保護/解除		Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護/解除するEメールにチェックを入れる→[保護]/[解除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。
フラグ		Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付ける/外すEメールにチェックを入れる→[つける]/[解除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
その他	SDカードへ保存 ※ISW11SCではユーザーメモリ(本体)をmicroSDメモリカードとしてマウントしているため、「SDカードへ保存」と表示されている場合でも、ユーザーメモリ(本体)に保存します。	Eメールをユーザーメモリ(本体)に保存します。 **コピーするEメールにチェックを入れる→[保存]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • ユーザーメモリ(本体)に保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」でISW11SCに読み込むことができます(▶P.86)。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス/フォルダを編集します。 ▶P.80「フォルダを作成/編集する」

その他	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を受信するEメールにチェックを入れる→[受信]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.82「Eメールを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 **受信メール一覧画面/送信メール一覧画面/未送信メール一覧画面/検索結果一覧画面→操作するEメールをロングタッチ**

2

返信		Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人/返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信		同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール(受信メール)を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールは「サーバ転送」できません。
送信		未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集		未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
コピー編集		送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
保護/保護解除		Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ/フラグ解除		Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由		送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
削除		Eメールを削除します。
移動		Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください(▶P.80)。

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール内容表示画面でできること

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面→**[メニュー]

2

転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバーに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバーにある元のEメール(受信メール)を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールは「サーバ転送」できません。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください(▶P.80)。	
削除	Eメールを削除します。	
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または「⇦」／「⇨」でカーソルを移動→[選択開始]→「⇦」／「⇨」で選択範囲を指定→[コピー]** • 本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をロングタッチ→[テキスト選択]／[全て選択]→「 」／「 」をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。	
文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール内容表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。	

メール

その他	SDカードへ保存 ※ISW11SCではユーザーメモリ(本体)をmicroSDメモリカードとしてマウントしているため、「SDカードへ保存」と表示されている場合でも、ユーザーメモリ(本体)に保存します。	Eメールをユーザーメモリ(本体)に保存します。 • ユーザーメモリ(本体)に保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ･復元」でISW11SCに読み込むことができます(▶P.86)。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3

Eメール作成	選択したEメールアドレス宛てにEメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **[新規振分けフォルダ作成]／[「×××」(×××はフォルダ名)に追加]→[保存]** • ロックされたフォルダ(▶P.81)を選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.80「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.87「迷惑メールフィルターを設定する」

■ 件名をコピーする場合

2 件名をタップ→[コピー]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけかたについては、下記のホームページをご参照ください。 **http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html**
SMS(Cメール)作成	選択した電話番号を宛先としたSMS(Cメール)を作成します。 ▶P.90「SMS(Cメール)を送る」

アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを電話帳に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 **本文中のURLをタップ**

3

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)に保存できます。

1 **受信メール内容表示画面/送信メール内容表示画面→本文をロングタッチ**

2 **[画像保存]**

3 **保存する画像にチェックを入れる**

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 **[保存先選択]**

保存先選択画面が表示されます。

5 **[保存]**

選択した画像は、「マイファイル」(▶P.151)の「MyFolder」フォルダー(「MyFolder」は「private」→「au」→「email」内に表示)に保存されます。

memo

◎保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

◎未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください(▶P.70)。

Eメールトップ画面でできること

1 **Eメールトップ画面→**

2

検索	▶P.82「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.80「フォルダを作成/編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除するフォルダにチェックを入れる→[削除]→[削除]** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定	▶P.82「Eメールを設定する」

au one メール	au one メールTop	▶P.89「au one メールを利用する」
	au one メールへ自動保存	Eメール(～@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。 **[次へ]→セキュリティパスワード入力欄をタップ→セキュリティパスワードを入力→[OK]→画面に従って設定** • あらかじめau oneメールの会員登録を行ってください(▶P.89)。

フォルダを作成/編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 Eメールトップ画面→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8/半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 [ ]

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]→[保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 [ ]→[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]→[保存]

■フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信/送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 Eメールトップ画面→ →[フォルダ編集]→フォルダを選択

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を設定する場合

2 [振分け条件追加]→[ ]

3

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存]** • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→[OK]→[保存]** • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→[OK]→[保存]** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

■アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 **「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」にチェックを入れる→[保存]**

memo

◎振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
◎全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
◎同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
◎「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「×」をタップして、条件を編集したり、削除することができます。
◎振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
◎一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン>2番目のメールアドレス／ドメイン>・・・>最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーションを設定できます。

1 **Eメールトップ画面→[≡]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択**

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 **[フォルダ別設定]**

3

項目		説明
着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	SDカードから探す	microSDメモリカードまたはユーザーメモリ（本体）の音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]→[OK]→[保存]**	
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの通知LEDのパターンを設定します。 • ISW11SCでは動作しません。	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	

■フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。あらかじめ「Eメール設定」の「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.82）。

1 **Eメールトップ画面→[≡]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択**

2 [フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

「フォルダロック」にチェックが入ります。フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

フォルダを並び替える

1 Eメールトップ画面→移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 移動する場所までドラッグして指を離す

memo

◎「受信ボックス」「送信ボックス」「未送信ボックス」「テンプレート」は移動できません。

Eメールを検索する

1 Eメールトップ画面→ [メニュー] →[検索]

受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス／フォルダ内のEメールを検索するには、それぞれのEメール一覧画面で [メニュー] →[検索]と操作します。

2 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 [検索]／[改行]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
Eメールトップ画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

■ 検索結果を絞り込む場合

4 [From]／[To]／[件名]／[本文]

検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索した結果が表示されます。

Eメールを設定する

1 Eメールトップ画面／受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→ [メニュー] →[その他]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。
Eメールトップ画面では「その他」をタップする必要はありません。

2

受信･表示設定	▶P.83「受信･表示に関する設定をする」	
送信･作成設定	▶P.84「送信･作成に関する設定をする」	
通知設定	▶P.85「通知に関する設定をする」	
パスワード設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック解除パスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード(4～16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK]** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。

パスワード設定	パスワードリセット	フォルダロック解除パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック設定も解除されます。
アドレス変更・その他の設定	▶P.85「Eメールアドレスを変更する」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ・復元	▶P.86「Eメールをバックアップ/復元する」	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数/使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。	

受信・表示に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[受信・表示設定]**

2

メール自動受信	サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。	
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳：**電話帳に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト：**「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集：**個別アドレスを登録する。 • 「[アイコン]」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※1」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの[[アイコン]]→[削除]と操作します。
	差出人・件名受信	差出人・件名のみを受信します。 • 受信メール一覧画面で本文が未受信のEメールをタップすると、本文を取得できます。

添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示	電話帳に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ	Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

送信・作成に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[送信・作成設定]**

2

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→返信先のEメールアドレス(半角64文字まで)を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→差出人名称(全角12／半角24文字まで)を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文(全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。 ※Flash®は1件のみ挿入できます。 ※冒頭文／署名に同一のFlash®は挿入できません。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名(全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字／Flash®を挿入できます。 ※Flash®は1件のみ挿入できます。 ※冒頭文／署名に同一のFlash®は挿入できません。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。

送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]

2

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	SDカードから探す	microSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)の音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]/パターンを選択→[OK]**	
LED	Eメール受信時の通知LEDのパターンを設定します。 • ISW11SCでは動作しません。	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。	

Eメールアドレスを変更する

1 Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[OK]

2

Eメールアドレスの変更	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. [承諾する]** **3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター オススメの設定はこちら	▶P.87「迷惑メールフィルターを設定する」

自動転送先	ISW11SCで受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. 入力欄をタップ→転送先のEメールアドレスを入力→[送信]→[終了]** • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更･登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをフォルダごとにバックアップすることができます。
ISW11SCではバックアップしたデータは、ISW11SCのユーザーメモリ（本体）（/mnt/sdcard/private/au/email/BU）に保存されます。
microSDメモリカードにバックアップする場合は、一度ユーザーメモリ（本体）にバックアップした後、「マイファイル」アプリケーションを利用して、microSDメモリカードにデータをコピーしてください。
また、保存したバックアップデータをISW11SCへ読み込むことができます。

Eメールをバックアップする

1 Eメール設定画面→[バックアップ･復元]

2 [SDカードへバックアップ]

3 バックアップするフォルダにチェックを入れる→[OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
ユーザーメモリ（本体）にバックアップされます。

バックアップデータを復元する

1 Eメール設定画面→[バックアップ･復元]

2 [SDカードから復元]

3 復元するフォルダをタップ→[OK]

4 復元するバックアップデータにチェックを入れる→[OK]

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 **[追加保存]／[上書き保存]→[OK]**

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎添付ファイルはバックアップされません。
◎バックアップデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます）、バックアップしたEメールを復元します。
◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールを転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

※迷惑メールフィルターは機能拡張が予定されています。拡張機能の詳細と対応時期については、auホームページでお知らせします。

1 **Eメールトップ画面→[メニュー]→[Eメール設定]→[アドレス変更・その他の設定]→[OK]**

■ おすすめの設定にする場合

2 **[オススメの設定はこちら]→[登録]**

なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件で迷惑メールフィルターが設定されます。

■ 詳細を設定する場合

2 **[迷惑メールフィルター]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]**

3

カンタン設定	**1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信** なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。 **2.「携帯」「PHS」メールのみを受信** パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	**一括指定受信** インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。 **なりすまし規制** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。（高）（中）（低）の3つの設定があります。 **指定拒否リスト設定** 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。 **指定受信リスト設定** 個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF（受信拒否）にしてください。 **指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）** 「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。 **HTMLメール規制** HTML形式のEメールを拒否します。 **URLリンク規制** URLが含まれるEメールを拒否します。

詳細設定	**拒否通知メール返信設定** 迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかどうかを設定します。
設定確認／設定解除	迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行	▶P.89「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

◎迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定(なりすまし·転送メール許可)＞なりすまし規制＞指定拒否リスト設定＞指定受信リスト設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞一括指定受信

◎「指定受信リスト設定(なりすまし·転送メール許可)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のEメールアドレスを指定受信リスト(なりすまし·転送メール許可)に登録することにより、そのEメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。

◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。

◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。

◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話·PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを指定受信リスト設定(なりすまし·転送メール許可)に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

au one メールを利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール(～@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。
また、PCメールでau one メールを利用することができます。PCメールで利用する場合は、au one メールの会員登録を行った後、以下の設定を行う必要があります。

- au one メールのデスクトップ画面で[設定]→[メール転送とPOP/IMAP設定]と操作し、「IMAPを有効にする」に設定する
- au one メールのデスクトップ画面で[設定]→[アカウント]→[Googleアカウントの設定]→[メールパスワード設定]と操作し、メールパスワードを設定する

memo

◎au one メールの機能や設定については、ホーム画面で[au one]→[サポート]→[au one メール ヘルプ]と操作し、ヘルプの各項目をご参照ください。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「○○@auone.jp」のアドレスを取得できます。
会員登録するにはau one-IDが必要です。「au one-IDの設定をする」(▶P.34)をご参照ください。

1 Eメールトップ画面→[≡]→[au oneメール]→[au one メールTop]

2 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

3 [今はしない]／[保存]／[設定なし]

会員登録画面が表示されます。
「保存」／「設定なし」をタップした場合、次回から確認画面が表示されなくなります。

4 画面に従って必要項目を入力し、利用規約を読む

5 [規約に同意して登録する]

登録内容の確認画面が表示されます。

6 [上記の内容で登録する]

会員登録が完了します。

memo

◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
◎au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

会員登録後は以下の操作でau one メールを確認できます。

1 Eメールトップ画面→[メニュー]→[au oneメール]→[au one メールTop]

au one メールのデスクトップ画面(受信トレイ)が表示されます。

2 「au one メール 表示形式:」の[標準HTML]

受信トレイがau one メールの表示形式で表示されます。
ホーム画面で[au one]→[メール]と操作しても、au one メールのデスクトップ画面(受信トレイ)を表示できます。
画面を上へスライドして「デスクトップ」をタップすると、デスクトップ画面に戻ります。

■au one メールの機能について

機能	説明
メール検索	入力されたキーワードをもとに、差出人名や件名、メール本文などから対象となるメールを検索できます。
メール送信	新規メールを作成して送信します。返信や転送もできます。
メール受信	受信したメールは、スレッド(最初のメールへの返信)単位で表示されます。重要なメールにスター(星印)を付けて保存したり、ラベルを付けることでメールやスレッドの分類ができます。
au one メールへの自動保存機能	Eメール(～@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存できます(▶P.80)。

SMS(Cメール)を利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

SMS(Cメール)を送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。送信完了時には、相手の方にメールが届いたかどうかが分かります。

1 ホーム画面で[アプリ]→[SMS(Cメール)]→[新規作成]

SMS(Cメール)作成画面が表示されます。

《SMS(Cメール)作成画面》

2 [宛先アイコン]

「宛先を入力」をタップして電話番号を直接入力することもできます。

3

アドレス帳引用	電話帳の電話番号を宛先に入力します。
送信履歴引用 受信履歴引用	送信履歴/受信履歴の一覧から選択して、電話番号を宛先に入力します。 • [メニュー]→[全件削除]→[はい]と操作すると、履歴を全件削除できます。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は、全角70／半角140文字まで入力できます。

5 [送信]

送信が完了すると、相手の方にメールが届いた旨のメッセージか、メールが蓄積された旨のメッセージが表示されます。送信したメールは送信ボックスに保存されます。

memo

◎SMS(Cメール)作成画面で「保存」をタップすると、メールを送信せずに送信ボックスへ保存できます。
◎SMS(Cメール)センターは、次の通りSMS(Cメール)をお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMS(Cメール)は、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMS(Cメール)センターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMS(Cメール)が配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS(Cメール)蓄積後すぐに配信	新しいSMS(Cメール)がSMS(Cメール)センターに蓄積されるたびに、SMS(Cメール)センターでお預かりしていたSMS(Cメール)がすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMS(Cメール)を繰り返し送信するリトライ機能によりSMS(Cメール)を配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がISW11SCで通話を終了したときに、SMS(Cメール)センターにお預かりしていたSMS(Cメール)をすべて配信します。

◎発信者番号通知をせずにSMS(Cメール)を送信することはできません。
◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
◎SMS(Cメール)の送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「送信できませんでした」と表示される場合があります。
◎契約期間の条件により送信件数に制限があります。詳しくはauホームページをご参照ください。

SMS(Cメール)を受け取る

1 SMS(Cメール)を受信すると

SMS(Cメール)の受信が終了すると、ステータスバーに [SMS] が表示され、メール受信音が鳴ります。

《受信完了画面》

2 ステータスバーを下にスライド

3 電話番号または名前をタップ

受信メール一覧画面が表示されます。
未読のSMS(Cメール)が複数あるときは「新着メッセージ(X件)」と表示されます。

4 受信したSMS(Cメール)をタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎SMS(Cメール)の受信は、無料です。
◎受信したSMS(Cメール)では、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMS(Cメール)を確認する

受信したSMS(Cメール)は、受信ボックスに保存されます。送信済みのSMS(Cメール)や送信せずに保存したSMS(Cメール)は、送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[SMS(Cメール)]

SMS(Cメール)メニュー画面が表示されます。

- 受信ボックスに未読メールがある場合は、右側に合計の件数が表示されます。
- 送信ボックスに未送信メールや送信に失敗したメールがある場合は、右側に合計の件数が表示されます。

《SMS(Cメール)メニュー画面》

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]

受信メール一覧画面が表示されます。

3 SMS(Cメール)をタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。
[返信]:返信のSMS(Cメール)を作成
[編集]:本文を引用してSMS(Cメール)を作成
[削除]:SMS(Cメール)を削除
[保護]/[保護解除]:SMS(Cメール)を保護/保護解除

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]

送信メール一覧画面が表示されます。

3 SMS(Cメール)をタップ

送信メール内容表示画面が表示されます。
[再送信]:送信済み/送信に失敗したSMS(Cメール)をもう一度送信
[送信]:未送信のSMS(Cメール)を送信
[編集]:SMS(Cメール)を編集
[削除]:SMS(Cメール)を削除
[保護]/[保護解除]:SMS(Cメール)を保護/保護解除

memo

◎メール受信件数が上限(1,000件)を超えると、既読、未読の順で古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。ISW11SCのユーザーメモリ(本体)の空き容量が不足すると、上限に達していない場合でも自動的に削除されます。
◎メール送信件数が上限(1,000件)を超えると、送信済み、送信失敗、未送信の順で古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。

■ SMS(Cメール)一覧画面の見かた

《受信メール一覧画面》

《送信メール一覧画面》

① 検索ボックス(P.95「SMS(Cメール)を検索する」)
② 受信ボックス
:未読のSMS(Cメール)
:返信したSMS(Cメール)

メール

送信ボックス
- ✓:送達確認済みのSMS(Cメール)
- ✎:未送信のSMS(Cメール)
- ⚠:送信に失敗したSMS(Cメール)

③ **本文**

④ **宛先/差出人の名前または電話番号**
電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

⑤ **受信ボックス**
未読メール件数/受信ボックス内のメール件数
送信ボックス
未送信・送信失敗メール件数/送信ボックス内のメール件数

⑥ **保護されたSMS(Cメール)**

■SMS(Cメール)内容表示画面の見かた

《受信メール内容表示画面》

《送信メール内容表示画面》

① **宛先/差出人の電話番号または名前と電話番号**
電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

② **受信メール**
- ↩:返信したSMS(Cメール)

送信メール
- ✓:送達確認済みのSMS(Cメール)
- ✎:未送信のSMS(Cメール)
- ⚠:送信に失敗したSMS(Cメール)

③ **本文**
※本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール/前のメールを表示することができます。

④ **保護されたSMS(Cメール)**

⑤ **アクションバー**

SMS(Cメール)一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面(▶P.92)/送信メール一覧画面(▶P.92)→▤**

2

設定	▶P.95「SMS(Cメール)を設定する」
削除	SMS(Cメール)を削除します。 **[選択削除]→削除したいメールにチェックを入れる→[選択削除]→[はい]** • [全件削除]→[はい]と操作すると、一覧表示しているSMS(Cメール)をすべて削除します。

SMS(Cメール)を個別に操作する

1 **受信メール一覧画面(▶P.92)/送信メール一覧画面(▶P.92)→操作したいSMS(Cメール)をロングタッチ**

2	
アドレス帳へ登録	▶P.110「連絡先を登録する」
音声電話	選択した電話番号に電話をかけます。
受信フィルター登録	選択した電話番号を「受信フィルター」(▶P.96)の指定番号リストに登録します。
送達結果情報表示	送達結果を表示します。

※画面により選択できる項目は異なります。

SMS(Cメール)内容表示画面でできること

1 受信メール内容表示画面(▶P.93)/送信メール内容表示画面(▶P.93)を表示

2

項目	説明
返信	返信のSMS(Cメール)を作成します。
送信	未送信のSMS(Cメール)を送信します。
再送信	送信済み/送信に失敗したSMS(Cメール)を再送信します。 • 送信済みのSMS(Cメール)を再送信した場合は、別のメールとして送信ボックスに保存されます。
編集	表示しているSMS(Cメール)を編集します。 • 受信メール、送信メールを選択している場合は、本文がコピーされ、新規の送信メールになります。
削除	表示しているSMS(Cメール)を削除します。
保護/保護解除	表示しているSMS(Cメール)を保護/保護解除します。 • 受信メールは、500件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、500件まで保護できます。

※画面により選択できる項目は異なります。

差出人/宛先/電話番号/Eメールアドレス/URLを利用する

1 受信メール内容表示画面(▶P.93)/送信メール内容表示画面(▶P.93)を表示

■ 差出人/宛先/本文中の電話番号を利用する場合

2 差出人/宛先/本文中の電話番号を選択

電話番号が入力されたキーパッド画面が表示され、「 」をタップすると電話をかけられます。

• 電話番号をロングタッチすると電話帳画面が表示され、「 」をタップすると連絡先を登録できます。

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスを選択

3 アプリケーションを選択してEメールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLを選択

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

memo

◎本文中に電話番号やURLを含むSMS(Cメール)を受信するには、SMS(Cメール)安心ブロック機能を解除する必要があります(▶P.96「SMS(Cメール)安心ブロック機能を設定する」)。

メール

SMS(Cメール)を検索する

1 受信メール一覧画面(▶P.92)/送信メール一覧画面(▶P.92)→キーワード入力欄をタップ→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 [検索]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいSMS(Cメール)から順に表示されます。

《検索結果一覧画面》

SMS(Cメール)を設定する

1 SMS(Cメール)メニュー画面(▶P.92)→[SMS(Cメール)設定]

SMS(Cメール)設定メニューが表示されます。

《SMS(Cメール)設定メニュー》

2

通知設定	SMS(Cメール)受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、SMS(Cメール)を受信しても通知アイコンは表示されません。
着信音	SMS(Cメール)受信時の着信音を設定します。 **[OFF]/[プリセットから選択]/[SDカードから選択]→着信音を選択→[OK]**
バイブレーション	SMS(Cメール)受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]/パターンを選択→[OK]**
LED	SMS(Cメール)受信時に着信ランプを点滅するかどうかを設定します。 • ISW11SCでは動作しません。
文字サイズ	SMS(Cメール)内容表示画面/SMS(Cメール)作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
署名	SMS(Cメール)の新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 **署名(全角40/半角80文字まで)を入力→[設定]**
受信フィルター	▶P.96「受信フィルターを設定する」

送達確認	SMS(Cメール)が相手に届いた際、メッセージを表示させるかどうかを設定します。 「確認する」「確認しない」 • 「確認する」を選択した場合は、確認方法を選択します。 [送信画面／送信ボックス]：送信が完了すると、相手の方にメールが届いた旨のメッセージが表示されます。送信ボックスではアイコンで送達結果を確認できます。 [送信ボックス]：送信ボックスのアイコンで送達結果を確認できます。 • 「確認しない」に設定すると、メッセージは表示されず、送信ボックスのアイコンも表示されません。

受信フィルターを設定する

1 **SMS(Cメール)設定メニュー→[受信フィルター]**

2

指定番号	指定した電話番号からのSMS(Cメール)を受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 **入力欄をタップ→登録したい電話番号を入力→[追加]** • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「送信履歴引用」「受信履歴引用」から入力方法を選択して、電話番号を登録できます。 • 登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除したい電話番号にチェックを入れる→[削除]→[はい]と操作します。 • 電話番号は、最大10件まで登録できます。 • 受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信されたことになります。送信料もかかります。
アドレス帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMS(Cメール)を受信拒否するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、電話帳に登録されていない電話番号からのSMS(Cメール)を受信しないようになります。

SMS(Cメール)安心ブロック機能を設定する

SMS(Cメール)安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMS(Cメール)を受信拒否する機能です。

memo

◎ SMS(Cメール)安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎ 機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ ブロック対象のSMS(Cメール)は、通常のSMS(Cメール)(ぷりペイド送信含む)です。
Eメールお知らせ、お留守番サービス(伝言お知らせ、着信お知らせ)、待ちうた情報お知らせサービスは、対象外です。

■ SMS(Cメール)安心ブロック機能の設定方法

SMS(Cメール)安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMS(Cメール)を送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMS(Cメール)を送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMS(Cメール)を送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMS(Cメール)を送信する。

※ 設定時のSMS(Cメール)送信は無料です。
※ 設定完了の案内SMS(Cメール)は、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS（Cメール）安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMS（Cメール）がSMS（Cメール）安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示され送信されません。

PCメールを利用する

「メール」アプリケーションを利用して、普段パソコンなどで利用しているメールアカウントをISW11SCに設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります（▶P.97）。
- 「メール」アプリケーションでau one メールをご利用になるには、事前にau one メールの設定を行う必要があります（▶P.89）。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[メール]

2 PCメールのEメールアドレスとパスワードを入力

3 [次へ]

自動的にメールサーバーの設定が行われます。

- 「手動設定」をタップした場合、または「次へ」をタップしても自動的に設定できない場合は、アカウントタイプの選択画面が表示されます。画面の指示に従い、手動でPCメールアカウントを設定してください。

4 「このアカウントに名前を付ける（オプション）」欄をタップ→アカウント名を入力

5 「ユーザー名（送信メッセージに表示）」欄をタップ→ユーザー名を入力

6 [完了]

設定したアカウントのメールが読み込まれ、メール一覧画面（受信トレイ）が表示されます。

memo

◎2件目以降のPCメールアカウントを設定するには、メール一覧画面で画面上部のアカウント名をタップしてアカウント一覧画面を表示し、≡→[アカウント追加]と操作します。

◎アカウント一覧画面で「全ての受信BOX」をタップすると、設定したPCメールアカウントの受信メールがすべて表示されます。

◎メール一覧画面で≡をタップ、またはメールをロングタッチするとメニュー項目が表示され、メールの受信／削除／返信／転送／検索、別のフォルダーへの移動、一覧画面の表示方法の変更、フォルダー一覧の表示などの操作が行えます。

アカウントの設定を変更する

1 ホーム画面で[アプリ]→[メール]

アカウント一覧画面が表示されます。

- メール一覧画面が表示された場合は、画面上部のアカウント名をタップするとアカウント一覧画面が表示されます。

2 変更したいPCメールアカウントをタップ→≡→[その他]→[アカウント設定]

3

アカウント名	アカウント名を変更します。
ユーザー名	ユーザー名（差出人名）を変更します。
署名を追加	チェックを入れると、PCメールを作成するときに自動的に署名を入力します。

署名	署名を変更します。
新着Eメール自動確認※1	新着メールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
メインアカウント	チェックを入れると、メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
必ず自分にCc／Bccを送信	PCメールを送信するときに、自分のEメールアドレスにもCc／Bccで送信するかどうかを設定します。
Eメール通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
通知音	PCメールを受信した場合の着信音を設定します。
バイブ設定	PCメールを受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
受信設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。
送信設定	
添付ファイル付きで転送	添付ファイル付きのPCメールを転送するときに、添付ファイルを削除しないで転送するかどうかを設定します。
分割表示モード	チェックを入れると、横画面でメール一覧画面を表示したとき、画面左側にメール一覧、画面右側にメッセージを表示するように設定します。

※1「新着Eメール自動確認」を「設定なし」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。

PCメールのアカウントを削除する

1 アカウント一覧画面→削除したいアカウントをロングタッチ

2 [アカウントを削除]→[削除]

メールを送信する

1 アカウント一覧画面→[≡]→[新規作成]

メール作成画面が表示されます。

- メール作成画面で「送信元」欄をタップすると、メールアカウントを切り替えられます。
- メール一覧画面で「✉」をタップしても、メール作成画面を表示できます。

2 「宛先」欄をタップ→宛先を入力

- CcまたはBccを追加するには、[≡]→[Cc/Bccを追加]と操作します。
- アルファベットまたは名前を入力すると、登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補表示をします。
- 複数の宛先にPCメールを送信する場合は、カンマで区切って次のメールアドレスを入力します。
- 「👤」をタップすると、電話帳からメールアドレスを選択して入力できます。
- 宛先を削除するには、キー表示されている宛先を選択→[削除]と操作します。宛先がキー表示されていない場合は、他の欄をタップし、再度「宛先」欄をタップすると表示されます。

3 「件名」欄をタップ→件名を入力

4 本文欄をタップ→本文を入力

5 必要に応じて[添付]／[挿入]→添付／挿入操作を行う

- 添付は「ギャラリー」「写真撮影」「動画」などから選択できます。
- 挿入は「ギャラリー」「電話帳」「位置情報」などから選択できます。

6 [送信]

memo

◎作成中のメッセージを下書きに保存するには[≡]→[下書きとして保存]と操作します。

メールを受信する

1 アカウント一覧画面→受信したいPCメールのアカウントをタップ

2 [≡]→[更新]

3 メールをタップ

メール詳細画面が表示されます。

memo

◎新しいメールの受信をお知らせする[アイコン]がステータスバーに表示されます。
◎受信したPCメールのアドレスをタップすると、電話帳に登録したり、電話帳に登録済みの場合は連絡先の内容を表示したりすることができます。
◎メール詳細画面で[≡]をタップするとメニュー項目が表示され、メールの印刷や文字サイズの変更、表示色の変更、フォルダー一覧の表示などの操作が行えます。
◎メールの印刷は、Samsung製のプリンターでのみ印刷できます(2011年12月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません)。

■添付ファイルを保存する

1 メール詳細画面→添付ファイル欄の[∨]

添付ファイルの一覧が表示されます。
添付ファイル欄は件名の下に表示されます。

2 保存したいファイルの[保存アイコン]

添付ファイルは、「マイファイル」(▶P.151)の「download」フォルダーに保存されます。

- 複数の添付ファイルがある場合は「全て保存」が表示され、タップするとすべての添付ファイルを保存できます。
- 添付ファイルをタップすると、ファイルを確認できます。

memo

◎添付ファイルのあるメールは、メール一覧画面に[クリップアイコン]が表示されます。

■メールを別のフォルダーに移動する

1 メール一覧画面→[≡]→[フォルダーに移動]

2 移動したいメールにチェックを入れる→[フォルダーに移動]

3 移動したいフォルダーをタップ

memo

◎メール詳細画面→[移動アイコン]→移動したいフォルダーをタップと操作しても、メールを別のフォルダーに移動できます。
◎フォルダーを作成するには、メール一覧画面→[≡]→[その他]→[フォルダー]→[≡]→[作成]と操作するか、メール詳細画面→[≡]→[フォルダー]→[≡]→[作成]と操作します。
◎登録したアカウントによっては、フォルダーへの移動や、フォルダーの作成ができない場合があります。

PCメールを返信/転送する

1 メール詳細画面→[返信アイコン]

2 [返信]/[全員に返信]/[転送]

3 本文を入力

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

- 元のメールの本文を削除するには「[⊖]」をタップします。

4 [送信]

memo

◎ メール一覧画面→メールをロングタッチ→[返信]／[全員に返信]／[転送]と操作しても、返信／全員に返信／転送できます。

PCメールを削除する

1 メール一覧画面→→[削除]

2 削除したいメールにチェックを入れる→[削除]

memo

◎ メール詳細画面→[ ]→[OK]と操作しても、メールを削除できます。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。ISW11SCからGmailの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です（▶P.33）。
- 利用方法などの詳細については、Gmail受信トレイ画面→→[その他]→[ヘルプ]と操作してモバイルヘルプをご確認ください。

Gmailを起動する

1 ホーム画面で[アプリ]→[Gmail]

Gmail受信トレイ画面が表示されます。

- 「Gmailの新機能」画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- →[ラベルを表示]と操作すると、受信トレイや送信トレイなどが一覧できるラベル画面が表示されます。

Gmailを更新する

ISW11SCの「Gmail」アプリケーションとGmailアカウントを同期して、受信トレイを更新します。

1 ホーム画面で[アプリ]→[Gmail]

2 →[更新]

受信トレイが更新されます。

- 自動更新したい場合は、Gmail受信トレイ画面→→[アカウント]→→[アカウントの設定]と操作して、「自動同期」にチェックを入れます。

Gmailを送信する

1 ホーム画面で[アプリ]→[Gmail]

2 →[新規作成]

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メッセージを作成]→本文を入力

6 [ ]

「 」をタップすると下書き保存されます。

Gmailを受信する

1 ホーム画面で[アプリ]→[Gmail]

2 受信したメールをタップ

Gmailを返信／転送する

1 ホーム画面で[アプリ]→[Gmail]

2 返信／全員に返信／転送するメールをタップ

■ 返信する場合

3 [ ]→[返信]→[返信]／[全員に返信]

4 [メッセージを作成]→本文を入力

5 [ ]

■ 転送する場合

3 [ ]→[返信]→[転送]

4 [To]→宛先を入力

5 [メッセージを作成]→本文を入力

6 [ ]

memo

◎返信／全員に返信／転送するメールで「 」をタップしても、「返信」／「全員に返信」／「転送」を選択できます。

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面で をタップするとメニュー項目が表示され、メールの検索や設定、アカウントの追加などの操作が行えます。

インターネット

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。

- パケット通信（IS NET、au.NET）（▶P.104「パケット通信を利用する」）
- 無線LAN（Wi-Fi®）機能（▶P.160「無線LAN（Wi-Fi®）機能」）
- WiMAX機能（▶P.163「WiMAX機能」）

memo

◎IS NETに加入していない場合にパケット通信を利用すると、au.NETのご利用となり、ご利用料金（ご利用月のみ月額使用料525円、通信料有料）がかかります。

パケット通信を利用する

ISW11SCは、「IS NET（アイエスネット）」や「au.NET（エーユードットネット）」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。ISW11SCにはあらかじめIS NETやau.NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

memo

◎最大通信速度受信3.1Mbps／送信1.8Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。また、下り最大40Mbps、上り最大10Mbpsの高速無線データ通信規格WiMAX機能を搭載しているため、CDMAエリアに加え、WiMAXエリアでも利用できます。
※ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。

◎ISフラットなどのパケット通信料定額サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。IS NET、au.NET、パケット通信料定額サービスについては、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額サービスの加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）
※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■au.NETのご利用料金について

月額使用料	525円（ご利用月のみ発生）
通信料※1	有料

※1 通信料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

インターネット

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面で[ブラウザ]

ブラウザ画面が表示されます。

◎ブラウザ画面では、ISW11SCを横向きにして閲覧することもできます。ISW11SCを横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で[≡]→[設定]→[画面]と操作して、「画面の自動回転」にチェックを入れます。

◎ブラウザ画面→[≡]→[その他]→[設定]と操作して、「常に横画面表示」にチェックを入れると、横画面表示で固定されます。

■ブラウザ画面での基本操作

次のタッチパネル操作でWebページを閲覧できます。

- タップ：リンクやキーを選択･実行できます。
- スライド／フリック：ページをスクロールできます。
- ピンチアウト／ピンチイン：ページを拡大／縮小できます。
- ダブルタップ：タップした位置をズームイン／ズームアウトできます（Webページによっては操作できない場合があります）。
- [↩]：直前に表示していたWebページに戻ります。

Webページを移動する

1 ブラウザ画面→画面上部のアドレスバーをタップ

検索画面が表示されます。

- アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスクロールしてWebページの最上段を表示してください。

2 URLまたは検索したいキーワードを入力

検索候補の一覧がアドレスバーの下に表示されます。

3 検索候補から目的の項目を選択／アドレスバーの[→]

Google検索の検索結果が表示された場合は、目的の項目を選択します。

◎アドレスバーの「🎤」をタップすると、音声で検索したいキーワードを入力できます。

ブラウザ画面のメニューを利用する

ブラウザ画面で[≡]をタップするとメニュー項目が表示され、ウィンドウの切り替え、Webページの更新／印刷、ブックマークへの登録、ブラウザの設定などの操作が行えます。

◎Webページの印刷は、Samsung製のプリンターでのみ印刷できます（2011年12月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません）。

ウィンドウを利用する

Webページを表示中に新しいウィンドウを開き、最大8つの別のウィンドウを表示することができます。

■新しいウィンドウを開く

1 ブラウザ画面→[メニュー]→[新規ウィンドウ]

新しいウィンドウが開かれ、ホームページに設定したWebページが表示されます。

■ウィンドウを切り替える

1 ブラウザ画面→[メニュー]→[ウィンドウ一覧]

2 表示するウィンドウをタップ

■ウィンドウを閉じる

1 ブラウザ画面→[メニュー]→[ウィンドウ一覧]

2 閉じるウィンドウの[⊖]

■Webページ内のテキストを検索する

1 ブラウザ画面→[メニュー]→[その他]→[ページ内を検索]

画面上部に検索バーが表示されます。

2 検索バーに検索したい文字を入力

検索バーに検索件数が表示されます。Webページ内の検索対象には黄緑色のハイライト、その他の検索対象には黄緑色の枠が表示されます。

3 [◀]／[▶]

前の検索対象／次の検索対象にハイライトが移動します。

- 検索を終了するには[戻る]をタップします。

■Webページ内のテキストをコピーする

1 ブラウザ画面→リンクのないテキストをロングタッチ

[左端]と[右端]、メニューが表示されます。

2 [左端]／[右端]をドラッグしてテキストの範囲を指定

指定されたテキストはハイライト表示されます。

3 [コピー]

クリップボードにコピーされたとメッセージが表示されます。

- 指定した範囲のテキストを検索するには「検索」、テキストまたは画像として共有するには「共有」をタップします。

memo

◎コピーしたテキストは、他のアプリケーションでも利用できます。貼り付け先の入力欄をロングタッチ→[貼り付け]と操作します。

◎テキストを選択できないWebページもあります。

■Webページ内の画像をダウンロードする

1 ブラウザ画面→ダウンロードする画像／画像を含むリンクをロングタッチ

2 [画像を保存]

memo

◎ダウンロードした画像は、ブラウザ画面→[メニュー]→[その他]→[ダウンロード履歴]と操作すると確認できます。また、「ダウンロード履歴」アプリケーションからも確認できます。

■Webページの表示を自動調整する

画面に合わせてWebページの表示やサイズを自動調整します。

- お買い上げ時は、「ページに自動で合わせる」のチェックが入った状態になっています。

1 ブラウザ画面→[メニュー]→[その他]→[設定]→「ページに自動で合わせる」にチェックを入れる

リンクを操作する

1 リンクを操作するWebページを開く

2 リンクをタップ

■リンクのメニューを利用する

テキストのリンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンク先のWebページを開く、ブックマークへの追加、Webページの保存、URLのコピーなどの操作が行えます。
画像のリンクをロングタッチすると、画像の保存やコピー、画像の表示、壁紙の設定などの操作が行えます。

- リンクのない画像をロングタッチしても、画像のリンクと同じ操作ができます。

memo

◎リンクやWebページによっては、ロングタッチしてもメニューが表示されない場合や、選択した操作を実行できない場合があります。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

1 ブラウザ画面→アドレスバーの[ ]→「ブックマーク」タブ

ブックマーク画面が表示されます。

- アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスクロールしてWebページの最上段を表示してください。

2 開くブックマークをタップ

ブックマークに登録する

1 ブラウザ画面→アドレスバーの[ ]→「ブックマーク」タブ

ブックマーク画面が表示されます。

- アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスクロールしてWebページの最上段を表示してください。
- →[リスト表示]／[サムネイル表示]と操作すると、ブックマーク一覧の表示方法を切り替えられます。

2 サムネイル表示の場合は[★追加]／リスト表示の場合は[★現在のページを登録]

3 名前を確認／編集→「フォルダー別」欄をタップ→保存したいフォルダーを選択→[OK]

memo

◎ブックマーク画面→ →[最後のページを登録]と操作しても、ブックマークに登録できます。
◎ブックマーク画面→「よく見るページ」タブ／「履歴」タブ→ブックマークに登録したい履歴の[ ](グレー)と操作しても、ブックマークに登録できます((グレー)は (黄色)に変わります)。

■ブックマーク画面のメニューを利用する

ブックマーク画面で をタップ、またはブックマークをロングタッチするとメニュー項目が表示され、ブックマーク一覧の表示方法の変更、フォルダーの作成、ブックマークの登録／編集／削除、Webページを開く、リンクの共有などの操作が行えます。

履歴を確認する

1 ブラウザ画面→アドレスバーの[ ]→「履歴」タブ

履歴画面が表示されます。

- アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスクロールしてWebページの最上段を表示してください。
- 「よく見るページ」タブをタップすると、閲覧回数の多いWebページの履歴を確認できます。

2 「今日」「昨日」など閲覧した時期をタップ

3 確認するURLをタップ

memo

◎ブラウザ画面→ をロングタッチしても、履歴画面を表示できます。

履歴を削除する

1 ブラウザ画面→アドレスバーの[ ]→「履歴」タブ

履歴画面が表示されます。

- アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスクロールしてWebページの最上段を表示してください。

2 →[履歴を消去]

すべての履歴が削除されます。

履歴を削除すると、「よく見るページ」タブの一覧もすべて消去されます。

ブラウザを設定する

ブラウザの表示やコンテンツに関する設定、プライバシー設定、セキュリティ設定などを行うことができます。変更した設定をリセットすることもできます。

1 ブラウザ画面→ →[その他]→[設定]

ブラウザ設定画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

memo

◎ブラウザ設定画面→[ホームページを設定]→[現在のページを使用]→[OK]と操作すると、表示されているWebページがホームページに設定されます。また、設定されたURLは新しいウィンドウを開くと表示されます。

◎キャッシュなどの一時的にISW11SCに保存されたファイルを消去するには、ブラウザ設定画面で「プライバシー設定」の各項目を設定してください。

◎フィルタリング機能を利用して、青少年に不適切なカテゴリーに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのWebページを遮断できます。ホーム画面で →[設定]→[無線とネットワーク]→[WEBフィルタリング設定]→[はい]→任意のパスワードを入力→[OK]→同じパスワードを入力→[OK]と操作すると、フィルタリング機能を設定できます。

ツール・アプリケーション

電話帳

連絡先を登録する

電話帳の連絡先一覧画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加したり、ソーシャルネットワークサービス(SNS)の更新情報を表示したりすることもできます。

memo

◎電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎「アカウントと同期」(▶P.174)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などとISW11SCの電話帳を同期できます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[電話帳]

《電話帳画面》

① タブ
　「キーパッド」タブ(▶P.60「電話をかける」)
　「履歴」タブ(▶P.62「履歴を利用して電話をかける」)
　「電話帳」タブ:電話帳画面が表示されます。
　「お気に入り」タブ(▶P.111「連絡先をお気に入りに追加する」)
　「グループ」タブ(▶P.112「グループ分けした連絡先を確認する」)

② **連絡先登録キー**

③ **連絡先一覧**
　画像をタップするとアイコンメニューが表示され、アイコンをタップして電話発信やSMS(Cメール)送信などの操作ができます。

④ **連絡先登録件数**

⑤ **検索ボックス**
名前や電話番号などを入力して、連絡先を検索できます。

⑥ **インデックス**
ドラッグして目的のインデックス上で指を離すと、選択したインデックスに属する連絡先を検索できます。

⑦ **アカウントアイコン**
Googleアカウントと同期した、またはGoogleと結合した連絡先に表示されます。
Googleアカウント以外のオンラインサービスと同期した連絡先には、同期したアカウントのアイコンが表示されます。

2 [ ]→[本体]/[Google]

- Googleアカウントを設定していない場合は、保存先の選択画面は表示されず、本体(ISW11SC本体)が保存先の連絡先作成画面が表示されます。

3 名前を入力

名前入力欄の右側に表示されている「 」をタップすると、よみがなや敬称などを入力できます。

4 必要に応じて他の項目を入力

電話番号やメールアドレス、着信音などが入力できます。

- 「 」をタップすると項目を追加、「 」をタップすると項目を削除できます。
- 電話番号入力欄などの左側に表示されているラベル欄をタップすると、ラベルを変更できます。

5 [保存]

連絡先をお気に入りに追加する

■電話帳画面から追加する

1 電話帳画面→追加したい連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

- 電話帳画面で追加したい連絡先をロングタッチ→[お気に入りに追加]と操作しても追加できます。

2 [ ](グレー)

(オレンジ)に変わり、お気に入りに追加されます。

■お気に入り画面から追加する

1 電話帳画面→「お気に入り」タブ

2 →[お気に入りに追加]→追加したい連絡先にチェックを入れる→ [追加]

追加した連絡先がお気に入り画面に表示されます。

■お気に入り画面のメニューを利用する

お気に入り画面で をタップ、または連絡先をロングタッチするとメニュー項目が表示され、お気に入りの追加や削除、表示方法の変更、電話発信やSMS(Cメール)送信などの操作ができます。

プロフィールを登録する

1 電話帳画面 → →[プロフィール]

プロフィール画面が表示されます。

2 →[編集]

3 必要な項目を入力→[保存]

memo

◎ プロフィールを名刺データとして送信するには、プロフィール画面→ →[連絡先を送信(添付)]→送信方法を選択と操作します。

連絡先を確認／編集する

1 電話帳画面→確認／編集したい連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。
:電話をかけることができます。
:SMS(Cメール)を作成できます。
:メールを作成できます。

■ 連絡先を編集する場合

連絡先詳細画面→ →[編集]と操作します。

memo

◎ 電話帳画面／お気に入り画面／グループ画面で連絡先を左にスライドするとSMS(Cメール)送信、右にスライドすると電話発信ができます。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理･利用できます。

1 電話帳画面→「グループ」タブ

グループ画面が表示されます。

- 連絡先が登録されているグループには、「(件数)」が表示されます。

2 確認したいグループをタップ→連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

■ グループを追加／編集する

1 グループ画面→ →[作成]

- 登録済みのグループを編集するには、グループ画面→編集したいグループをタップ→ →[グループ編集]と操作します。

2 グループ名を入力→[着信音]→[基本着信音]／[マイファイルの着信音]／[プリセット着信音]

- 「基本着信音」を選択すると、お買い上げ時の着信音に設定されます。

3 設定したい着信音を選択→[OK]

4 [メンバー追加]→追加したい連絡先にチェックを入れる→[追加]

5 [保存]

memo

◎ グループ画面で をタップ、またはグループをロングタッチするとメニュー項目が表示され、グループの並べ替えや削除、グループ編集、メール送信などの操作ができます。

連絡先から電話をかける

1 電話帳画面→電話をかけたい連絡先をタップ

- 連絡先の画像をタップ→[ ]と操作しても、電話をかけられます。

2 [ ]

電話帳のメニューを利用する

連絡先一覧画面／連絡先詳細画面で 、または連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチするとメニュー項目が表示され、連絡先の編集／削除／統合／印刷、インポート、エクスポートなどの操作が行えます。

memo

◎連絡先（名刺）の印刷は、Samsung製のプリンターでのみ印刷できます（2011年12月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません）。

連絡先をエクスポート／インポートする

連絡先をmicroSDメモリカードへエクスポート／インポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がエクスポート／インポートされない場合があります。

エクスポートする

すべての連絡先をmicroSDメモリカードへエクスポートします。

1 電話帳画面→→[インポート／エクスポート]

- Googleアカウントなどのオンラインサービスと同期して連絡先がある場合は、電話帳画面→→[その他]→[インポート／エクスポート]と操作します。

2 [SDカードにエクスポート]／[UIMカードにエクスポート]

- 「SDカードにエクスポート」を選択した場合は、「OK」をタップするとすべての連絡先がエクスポートされます。
- 「UIMカードにエクスポート」を選択した場合は、エクスポートしたい連絡先にチェックを入れる／「全て選択」にチェックを入れる→[エクスポート]→[OK]と操作します。

memo

◎[連絡先を送信（添付）]→送信する連絡先にチェックを入れる→[送信]→送信方法を選択と操作すると、連絡先をEメールなどで送信できます。

インポートする

microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

1 電話帳画面→→[インポート／エクスポート]

- Googleアカウントなどのオンラインサービスと同期して連絡先がある場合は、電話帳画面→→[その他]→[インポート／エクスポート]と操作します。

2 [SDカードからインポート]／[UIMカードからインポート]

3 インポート先を選択

Googleアカウントなどを設定している場合は、インポート先として表示されます。

- 「SDカードからインポート」を選択した場合は、インポートが開始されます。microSDメモリカードに2件以上のvCardファイルが保存されている場合は、「vCardファイルをインポート」／「複数のvCardファイルをインポート」／「全てのvCardファイルをインポート」のいずれかを選択します。
- 「UIMカードからインポート」を選択した場合は、インポートしたい連絡先にチェックを入れる／「全て選択」にチェックを入れる→[インポート]と操作します。

マルチメディア

カメラを利用する

「カメラ」アプリケーションを利用して、静止画の撮影や、動画の録画ができます。

ISW11SCを傾けることで、横向きと縦向きのどちらでも撮影／録画ができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 動画を録画する場合は、送話口を指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、送話口の音声の品質が悪くなる場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- ISW11SCは強い光が出ますので、ライトを目に近付けて点灯させないでください。ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影時のオートフォーカスロック音やシャッター音、動画録画の開始音や終了音は鳴ります。
- 不安定な場所にISW11SCを置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてISW11SCが落下するおそれがあります。
- ISW11SCを利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様がISW11SCのカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

撮影画面の見かた

ここでは、ISW11SCを横向きにした状態の画面で説明しています。

1 ホーム画面で[アプリ]→[カメラ]

操作アイコンはお買い上げ時の状態です。

《静止画撮影画面》

《動画撮影画面》

① **操作アイコン**
タップして設定の変更などができます。操作アイコンは入れ替えることができます(▶P.115)。
② **設定アイコン**
設定メニューを表示します。
③ **フォーカス**
静止画撮影画面でのみ表示されます。
④ **撮影可能時間、保存先アイコン、充電アイコン**
撮影可能時間は動画撮影画面でのみ、充電アイコンは充電中のときのみ表示されます。
保存先アイコンは、保存先がISW11SCの場合は 、microSDメモリカードの場合は が表示されます。
⑤ **撮影切り替えスライド**
「 」を までドラッグすると静止画撮影、 までドラッグすると動画撮影に切り替えられます。
⑥ **シャッター**
⑦ **プレビュー縮小表示**
直前に撮影した静止画／動画のプレビューが縮小表示され、タップするとプレビュー画面(▶P.116)を表示できます。

memo

◎ カメラを起動して約2分間何も操作をしないと、カメラは自動的に終了します。

■操作アイコンを入れ替える／追加する

1 静止画撮影画面／動画撮影画面→操作アイコンまたは「 」をロングタッチ

操作アイコン一覧が表示されます。

2 操作アイコンをロングタッチ→画面左側の入れ替えたい位置までドラッグ

操作アイコンの位置までドラッグすると、操作アイコンが入れ替わります。四角枠が表示されている位置までドラッグすると、操作アイコンが追加されます。

- ISW11SCを縦向きで操作している場合は、操作アイコンの表示位置までドラッグします。

撮影前の設定をする

カメラの設定メニューから、撮影の各種設定ができます。

- 各撮影画面に配置した操作アイコンをタップしても、設定を変更できます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面→[ ]

設定メニューが表示されます。

2

ショートカットを編集	▶P.115「操作アイコンを入れ替える／追加する」
自分撮り※1※2	内側カメラのON／OFFを設定します。
フラッシュ	ライトのON／OFFを設定します。
撮影モード	撮影モードを選択します。
シーン撮影※1	撮影シーンに合わせた設定を選択します。
露出補正	露出補正を設定します。
フォーカス※1	フォーカスの設定を「自動」「マクロ」「顔検出」から選択します。
タイマー	セルフタイマーのON／OFFを設定します。

撮影効果	撮影効果を「ネガポジ反転」「グレースケール」「セピア」「なし」から選択します。
解像度	静止画／動画の解像度（サイズ）を選択します。
ホワイトバランス	撮影時の光の状況に応じた設定を選択し、画像の色合いを補正します。
ISO※1	ISO感度を選択します。
測光※1	測光方法を「中央部重点測光」「スポット測光」「多分割測光」から選択します。
アウトドアモード	屋外撮影時に画面を見やすいようにするアウトドアモードのON／OFFを設定します。
手振れ補正※1	手振れ補正機能のON／OFFを設定します。
コントラスト※1	コントラスト自動調整機能のON／OFFを設定します。
ビデオ画質※3	画質を「スーパーファイン」「ファイン」「標準」から選択します。
補助グリッド	補助グリッド表示のON／OFFを設定します。
画質設定※1	画質を「スーパーファイン」「ファイン」「標準」から選択します。
GPSタグ※1	位置情報付加機能のON／OFFを設定します。
ストレージ	撮影した静止画の保存先を「本体」「外部SDカード」から選択します。
設定リセット	カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

※1 静止画撮影画面でのみ表示されます。
※2 動画撮影画面では「撮影モード」内に表示されます。
※3 動画撮影画面でのみ表示されます。

3 設定が終了したら[ ]／[ ]

memo

◎メニュー項目によっては、同時に設定できない場合があります。

プレビュー画面を利用する

プレビュー画面を表示して、撮影した静止画／動画を確認できます。また、Eメールで送信したり壁紙に設定したりできます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面→プレビュー縮小表示をタップ

プレビュー画面が表示され、画面下部にはメニュー項目が表示されます。

- 左右にスライドすると静止画／動画を切り替えて確認できます。動画に切り替えて「 」をタップすると、「動画」アプリケーション（▶P.120）が起動し、動画が再生されます。

2 画面下部のメニュー項目を選択

共有：表示中の静止画／動画を送付したり、YouTubeなどにアップロードしたりします。
削除：表示中の静止画／動画を削除します。
その他：表示中の静止画を壁紙に登録、動画を再生、静止画／動画のファイル名を変更します。

memo

◎メニュー項目が表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。
◎メニュー項目はデータの種類により異なります。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で[アプリ]→[カメラ]

静止画撮影画面が表示されます。

- 動画撮影画面が表示された場合は、撮影切り替えスライド（▶P.115）で静止画撮影に切り替えてください。

2 被写体にカメラを向ける

- [ボタン]を押すと、ズーム調節ができます(1.0倍〜最大約4.0倍)。

3 [ボタン]

シャッター音が鳴って撮影され、撮影した静止画が自動的に保存されます。

- 撮影時に「ボタン」をロングタッチすると、オートフォーカス枠にある被写体にピントが固定され、指を離すと撮影されます。

memo

◎撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。

動画を録画する

1 ホーム画面で[アプリ]→[カメラ]

動画撮影画面が表示されます。

- 静止画撮影画面が表示された場合は、撮影切り替えスライド(▶P.115)で動画撮影に切り替えてください。

2 被写体にカメラを向ける→[ボタン]

開始音が鳴り、動画撮影が開始されます。

- [ボタン]を押すと、ズーム調節ができます(1.0倍〜最大約4.0倍)。ただし、解像度を「1920×1080」に設定して撮影中は、ズーム機能を使用できません。

3 撮影を停止するときは[ボタン]

終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

memo

◎動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。

ギャラリー

ISW11SC本体やmicroSDメモリカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
対応しているファイル形式は次の通りです(ファイルによっては再生できない場合があります)。

静止画	JPEG、PNG、GIF、BMP
動画	MP4／3GP、AVI／DivX、MKV、WMV／ASF、FLV、WebM

1 ホーム画面で[アプリ]→[ギャラリー]

フォルダー一覧画面が表示されます。

- 「アイコン」をタップするとカメラを起動できます。

2 フォルダーをタップ

データ一覧画面が表示されます。

- 「アイコン」／「アイコン」をタップすると、データ一覧の表示方法を整列表示／重ね表示に切り替えられます。

静止画を表示する

1 データ一覧画面→表示したい静止画をタップ

静止画が拡大表示されます。静止画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。

- 画面をタップすると操作アイコンやメニュー項目が表示され、次の操作ができます。
  アイコン／アイコン:表示を拡大／縮小します。
  送信:表示中の静止画データをPCメールなどで送信します。
  削除:表示中の静止画データを削除します。

ツール・アプリケーション

動画を再生する

1 データ一覧画面→再生したい動画をタップ

「動画」アプリケーション(▶P.120)が起動し、動画が再生されます。

ギャラリーのメニューを利用する

フォルダー一覧画面/データ一覧画面で[メニュー]をタップするか、フォルダー/データをロングタッチすると、メニュー項目が表示され、フォルダー/データの送信や削除、YouTubeやPicasaへのアップロード、静止画の編集/壁紙登録/印刷、データの詳細情報確認などの操作が行えます。

memo

◎静止画の印刷は、Samsung製のプリンターでのみ印刷できます(2011年12月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません)。

フォトエディター

ISW11SC本体やmicroSDメモリカードに保存されている静止画データを利用して、静止画を作成・編集できます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[フォトエディター]

フォトエディター画面が表示されます。

2 [画像を選択]/[画像撮影]→静止画を選択/撮影

編集画面が表示されます。

- カメラを起動して静止画を撮影する場合は、[画像撮影]→静止画を撮影→[保存]と操作します。

3

アイコン	説明
[移動]	画像をピンチアウトして拡大表示している場合に、画像をドラッグしてスクロールします。
[回転]	画像を回転します。
[トリミング]	画像をトリミングします。
[選択]	画像を編集するエリアを指定します。
[サイズ]	選択サイズを選択します。
[<]	編集操作をキャンセルして1つ前の状態に戻します。
[>]	[<]でキャンセルした操作を元に戻します。
[色調]	「彩度」「コントラスト」「明るさ」「グレースケール」を選択します。
[効果]	「ぼかし」などの効果を選択します。
[ツール]	画像のコピーやワーピング(ゆがみ)、塗りつぶしを行います。

4 [メニュー]→[保存]→ファイル名を入力→[OK]

編集した画像が保存されます。

- [戻る]をタップするとフォトエディター画面に戻ります。

memo

◎静止画ファイルは、「マイファイル」(▶P.151)の「PhotoEditor」フォルダーに保存されます。

フォトエディターのメニューを利用する

編集画面で[メニュー]をタップするとメニュー項目が表示され、画像の新規編集、画像の保存/共有の操作が行えます。

ビデオメーカー

ISW11SC本体やmicroSDメモリカードに保存されている動画や静止画、音楽のデータなどを利用して、動画を作成・編集できます。

- ビデオメーカーは横画面でのみ操作できます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[ビデオメーカー]

プロジェクトリスト画面が表示されます。

2 [新規プロジェクト]

「テーマ選択」画面が表示されます。

3 利用したいテーマを選択→[適用]

「メディアを追加」画面が表示され、画面左側に以下のメディアの種類選択メニュー、画面右側に選択したメディアのファイル一覧、画面下部にマーカーリスト(「ファイルをここにドラッグしてください」)が表示されます。

ビデオ:動画の一覧を表示します。
画像:静止画の一覧を表示します。
音楽:音楽の一覧を表示します。
カメラ:カメラを起動して静止画を撮影/動画を録画します。

4 メディアの種類を選択→利用したいファイルをロングタッチ→マーカーリスト(「ファイルをここにドラッグしてください」)までドラッグ

マーカーリストに静止画/動画が表示されます。

- 最初は「ビデオ」/「画像」をタップして利用したいファイルを選択するか、[カメラ]→[画像]/[動画]と操作して静止画/動画を撮影してください。
- 動画の音声を指定するには、静止画/動画の選択・撮影後、[音楽]→利用したい音楽データをロングタッチ→マーカーリストまでドラッグします。
- マーカーリストに追加した静止画/動画などをロングタッチし、「削除」までドラッグして指を離すと、マーカーリストから静止画/動画などを削除できます。

5 [完了]

「編集」画面が表示され、画面左側に編集メニュー、画面右側に選択した静止画/動画、画面下部にマーカーリストが表示されます。

- マーカーリストに追加した赤色の縦線の位置にある静止画/動画をダブルタップすると、静止画の効果(スクロール/拡大/表示)や表示時間を設定したり、動画の音量を変更できます。

6

トリム	動画の切り出しを行います。 • マーカーリストの ▌/▌ をドラッグして切り出しの範囲を指定します。
スプリット	動画の分割を行います。 • マーカーリストの動画の枠をドラッグして分割したい位置まで赤色の縦線を移動→[✂]と操作します。
切り替え	2つ以上の静止画/動画をマーカーリストに追加したとき、または1つの動画を分割したときに、静止画/動画の間に表示する効果を指定します。
レタッチ	動画の効果を指定します。
T	テキストを入力します。 • [<]/[>]で吹き出しの種類を選択→テキストを入力→[完了]と操作します。 • マーカーリストに追加したテキストをダブルタップすると、テキストを編集できます。また、テキストをタップし、▌/▌をドラッグすると、テキストの表示範囲を変更できます。 • 保存したプロジェクトのテキストを編集するには、「編集」画面でマーカーリストを下にフリックすると、テキストが表示されます。

- 「元に戻す」をタップすると、1つ前に行った操作を元に戻します。

7 ▤→[名前を付けて保存]→プロジェクトの名前を入力→[OK]

プロジェクトリスト画面が表示され、保存されたプロジェクトが表示されます。

ツール・アプリケーション

memo

◎ 複数のプロジェクトが保存されている場合は、プロジェクトリスト画面で ／ をタップしてプロジェクトを切り替えられます。プロジェクトをタップすると「編集」画面が表示され、プロジェクトを編集したり、「 」をタップしてプロジェクトを再生できます。
◎ 保存したプロジェクトを「動画」アプリケーションなどで再生するには、以下の手順で動画ファイルとして保存する必要があります。
プロジェクトリスト画面→プロジェクトをロングタッチ→[エクス…]→動画のサイズを選択→[OK]
動画ファイルは、「マイファイル」(▶P.151)の「Videomaker」フォルダーに保存されます。

ビデオメーカーのメニューを利用する

プロジェクトリスト画面／「メディアを追加」画面／「編集」画面で をタップ、またはプロジェクトリスト画面でプロジェクトをロングタッチするとメニュー項目が表示され、動画の再生や削除、ムービーのエクスポートなどの操作が行えます。

動画

ISW11SC本体やmicroSDメモリカードに保存されている動画を再生できます。
再生できるファイル形式は次の通りです（ファイルによっては再生できない場合があります）。

ファイル形式	MP4／3GP、AVI／DivX、MKV、WMV／ASF、FLV、WebM

1 ホーム画面で[アプリ]→[動画]

動画一覧画面が表示されます。

2 再生したい動画をタップ

再生画面が表示されます。
 を2回タップすると、動画一覧画面に戻ります。

■ 再生中の操作について

再生画面をタップすると操作アイコンが表示され、次の操作ができます。

／／	動画の表示サイズを切り替えます。
	再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	ステレオヘッドホン使用時に、5.1chサラウンドの音声を楽しむことができます。
／	ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。
／	一時停止／再生します。
／	音量を調節します。
	再生画面で を押すとロックが設定され、画面をタップしても操作できません。 • ロックを解除するには再度 を押します。

◎ 再生中に を押しても音量を調節できます。

動画のメニューを利用する

動画一覧画面／再生画面で をタップするとメニュー項目が表示され、動画一覧の表示方法の変更、動画の共有、Bluetooth®デバイスへの音声出力、字幕のオン／オフや詳細設定などの操作が行えます。

ツール・アプリケーション

memo

◎字幕の表示は、字幕ファイル(拡張子:smi、sub、srt)のある動画を再生したときに表示できます。

DivX® VODの登録キーを確認する

DivX® VOD の登録キーとは、DivX® VOD(Video on Demand)ファイルを再生するために必要な登録キーです。
登録方法などの詳細については、http://vod.divx.comをご参照ください。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]→[端末情報]→[法定情報]→[ライセンス設定]→[DivX® VOD]→[登録]

登録コードが表示されます。

音楽プレーヤー

ISW11SC本体やmicroSDメモリカードに保存されている楽曲データを簡単に再生できます。
再生できるファイル形式は次の通りです(ファイルによっては再生できない場合があります)。

ファイル形式	AAC、AMR、AWB、WMA、3GP、MP4／M4A、MP3、FLAC、OGG、WAV、MID／XMF／MXMF、RTTL／RTX、OTA、IMY

楽曲データを再生する

1 ホーム画面で[アプリ]→[音楽プレーヤー]

初めて起動したときは、「全て」タブ画面が表示されます。

2 画面上部のタブを選択→再生したい楽曲データを選択

再生画面が表示されます。

- 「全て」タブ画面にファイルが表示されない場合は、「マイファイル」(▶P.151)で選択すると再生できる場合があります。

■再生中の操作について

再生画面の操作アイコンや情報表示を利用して、次の操作ができます。

5.1ch	ステレオヘッドホン使用時に、5.1chサラウンドの音声を楽しむことができます。
アーティスト名／曲名／アルバム名	タップすると詳細情報画面が表示されます。詳細情報画面で「🔍」をタップすると、関連情報を検索できます。
🔊／🔇	音量を調節します。
🔀／🔀※1	シャッフル機能のON／OFFを設定します。
A／🔁／🔂※1	リピートモードを設定します(リピートなし／全曲リピート／再生中の曲をリピート)。
●	再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
⏸／▶	一時停止／再生します。
⏮／⏭	タップすると再生中の曲の先頭／次の曲にスキップします。ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。
リスト表示	楽曲データの一覧が表示されます。

※1 再生画面をタップすると操作アイコンが表示されます。

memo

◎マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を接続している場合(▶P.205)、スイッチを1秒以上長押しすると「音楽プレーヤー」アプリケーションを起動できます。「音楽プレーヤー」アプリケーションが起動しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。
◎再生中に[⏻]を押して画面ロックを設定しても、再生は継続されます。画面ロック中に[⏻]／[ ]を押すと画面ロック解除画面上に操作パネルが表示され、画面ロックを解除しなくても再生／一時停止／前後スキップを操作できます。

◎再生中に[音量キー]を押しても音量を調節できます。

音楽プレーヤーのメニューを利用する

各タブ画面／再生画面で[メニューキー]をタップ、または「全て」タブ画面で楽曲データをロングタッチするとメニュー項目が表示され、プレイリストの操作や楽曲データの削除、再生に関する設定などの操作が行えます。

プレイリストを利用する

1 ホーム画面で[アプリ]→[音楽プレーヤー]→「プレイリスト」タブ→[メニューキー]→[作成]

2 プレイリスト名を入力→[保存]→[曲を追加]→追加したいデータにチェックを入れる／「全て選択」にチェックを入れる→[追加]

memo

◎再生中の楽曲データをプレイリストに追加するには、再生画面→[メニューキー]→[プレイリストに追加]→追加したいプレイリストを選択と操作します。

プレイリストを編集する

1 ホーム画面で[アプリ]→[音楽プレーヤー]→「プレイリスト」タブ→編集したいプレイリストを選択→[メニューキー]→操作するメニュー項目を選択

クイックリストに曲を追加する

再生中の楽曲データをクイックリストに登録できます。気に入った曲の再生を止めずに登録したい場合などに便利です。

1 再生画面→[メニューキー]→[クイックリストに追加]

登録した楽曲データが、「プレイリスト」タブ内の「クイックリスト」に追加されます。

- クイックリストに追加済みの楽曲データの場合は「クイックリストへ移動」と表示され、タップするとクイックリストが表示されます。

memo

◎クイックリストをプレイリストとして保存するには、ホーム画面で[アプリ]→[音楽プレーヤー]→「プレイリスト」タブ→[クイックリスト]→[メニューキー]→[プレイリストとして保存]→プレイリスト名を入力→[保存]と操作します。

LISMO Player

LISMO Playerを利用してmicroSDメモリカードに保存した音楽を再生したり、音楽コミュニティ「うたとも®」を利用したり、最新の楽曲情報を調べたりできます。

- ISW11SCにあらかじめ用意されている「(S)LISMO Player」は、au one MarketからLISMO Playerをダウンロードするためのショートカットアプリです。LISMO Playerを利用するには、アプリケーションのインストール（アップデート）が必要です。画面の指示に従ってインストール（アップデート）してください。
- LISMO Playerをダウンロードするにはau one-IDを設定する必要があります（▶P.34）。

1 ホーム画面で[アプリ]→[LISMO Player]

LISMO Playerのライブラリ画面が表示されます。
初めて起動したときは、アクセス許可画面が表示されます。内容を確認のうえ「閉じる」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

ツール・アプリケーション

memo

◎LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。

Skype™ | au

音声通話や、インスタントメッセージ(チャット)ができます。
- 「Skype™ | au」を利用するには、パケット通信接続が必要です。

■音声通話について

「Skype™」宛の通話と、海外の電話への通話ができます。
- 「Skype™ | au」から「Skype™」宛の通話
  発信先のSkype名を指定して発信します。「Skype™ | au」同士のみならず、パソコンや他事業者のスマートフォンなど、機器を問わず、Skype™アプリ搭載機器であれば通話が可能です。
- 「Skype™ | au」から海外の電話への通話
  発信先の電話番号をダイヤルして発信します。ご利用には事前にSkype社が提供する「Skype™クレジット」の購入が必要です。「Skype™クレジット」の購入方法は、Skype社公式ホームページ(http://www.skype.com/intl/ja/prices)、またはSkype™アプリのヘルプをご参照ください。

memo

◎「Skype™ | au」を利用して日本国内の電話へ発信した場合は、通常のau携帯電話からの発信になります。

■インスタントメッセージ(チャット)について

パケット通信を利用し、「Skype™」同士でのチャットがいつでもお楽しみいただけます。

au one Friends Note

ISW11SCの連絡先、mixiのマイミクやFacebookの友人など複数のSNS(Social Network Service)の友達リストをまとめて管理することができます。電話、メール、SNSの連絡を簡単に選択できたり、複数のSNSやブログにまとめて投稿したりできます。
- au one Friends Noteを利用するには、au one-IDが必要です。あらかじめau one-IDを設定してください(▶P.34)。
- 利用方法などの詳細については、au one Friends Note画面で[メニュー]→[ヘルプ]→[使い方・FAQ]と操作し、利用ガイドをご参照ください。

1 ホーム画面で［アプリ］→［Friends Note］

初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ「同意する」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

2 SNSアカウント登録の確認画面→［今すぐ］／［後で］

au one Friends Note画面が表示されます。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、ISW11SCにダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションやISW11SCと互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です（▶P.33）。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」（▶P.125）でご確認ください。

Google Playをご利用になる前に

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]と操作して、「データ通信」のチェックを外します。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリケーションを検索し、インストールする

1 ホーム画面で[Playストア]

Google Play画面が表示されます。
初めて起動したときは、利用規約が表示されますので「同意する」をタップしてください。

2 アプリケーションを検索→インストールしたいアプリケーションをタップ

カテゴリーなどから検索してアプリケーションをタップすると、アプリケーションの情報画面が表示されます。

3 説明やレビューなどの情報を確認→画面の指示に従って購入／ダウンロード

ダウンロード・インストールが開始されます。

- 有料アプリケーションを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。支払い方法の設定と、Google Checkoutで使用するクレジットカード情報を登録してください。

memo

◎有料アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとのアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションはISW11SCからアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■Google Playヘルプ

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、[メニュー]をタップし、「ヘルプ」をタップします。ブラウザよりGoogle Playに進みます。

au one Marketを利用する

au one Marketからアプリケーションをダウンロード·インストールできます。目的のアプリをカテゴリーやキーワードから検索したり、ランキングから探すことができます。

- 一部の機能を利用するには、au one-IDを設定する必要があります（▶P.34）。

1 ホーム画面で[au one Market]

au one Market画面が表示されます。

初めて起動したときは、利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ「同意」をタップし、「ご利用にあたっての注意点」をご確認のうえ「OK」をタップしてください。

- バージョンアップ確認画面が表示された場合は、「はい」をタップしてバージョンアップを行ってください。

2 メニューアイコンをタップ→インストールしたいアプリケーションをタップ

アプリケーションの情報画面が表示されます。

3 説明やレビューなどの情報を確認→画面の指示に従って購入／ダウンロード

ダウンロード·インストールが開始されます。

- 有料アプリケーションを購入する場合は、auかんたん決済のセキュリティパスワードを入力→[OK]と操作します。
- Google Playの画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。
- au one Market画面→[マイアプリ]と操作すると、インストールしたアプリケーションを確認できます。

memo

◎auかんたん決済とはauのサービスで、アプリケーションの購入代金を月々のケータイ料金と合算してお支払いいただくサービスです。

◎auかんたん決済のセキュリティパスワードは、お買い上げ時は暗証番号（4桁）です（▶P.20）。

◎au one Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法はau one Marketの配信元によって異なります。

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いのISW11SCと個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で →[設定]→[アプリケーション]→「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる

2 注意文を確認→[OK]

インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 ホーム画面で →[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーション管理]

2 「ダウンロード済み」タブ／「全て」タブ／「外部SDカード」タブ→削除するアプリケーションをタップ

3 [アンインストール]

4 [OK]

memo

◎Google Playからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。
◎アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、ホーム画面で →[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーション管理]→データを消去するアプリケーションをタップ→[データを消去]→[OK]と操作します。
◎アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、ホーム画面で →[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーション管理]→キャッシュを消去するアプリケーションをタップ→[キャッシュを消去]と操作します。

ダウンロードしたアプリケーションを表示する

1 ホーム画面で →[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーション管理]→「ダウンロード済み」タブ

ダウンロードしたアプリケーションの一覧が表示されます。
- 「全て」タブをタップするとすべてのアプリケーションの一覧が、「外部SDカード」タブをタップするとmicroSDメモリカードに保存されているアプリケーションの一覧が表示されます。

2 確認したいアプリケーションをタップ

- 「外部SDカードに移動」をタップすると、アプリケーションをmicroSDメモリカードに移動できます。

memo

◎microSDメモリカードに移動できるアプリケーションの場合のみ、「外部SDカードに移動」を操作できます。

アプリケーション開発時の設定をする

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

■USBデバッグモードの設定をする

1 ホーム画面で →[設定]→[アプリケーション]→[開発]

2 「USBデバッグ」にチェックを入れる→[OK]

USB接続時に、デバッグモードになります。

memo

◎開発機能についてご不明な点がある場合は、下記のホームページをご参照ください。
http://developer.android.com/

YouTube

YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。

- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはYouTube用アカウントを設定する必要があります。

YouTubeを利用する

1 ホーム画面で[アプリ]→[YouTube]

YouTube画面が表示されます。

2 再生する動画を選択

memo

◎動画コンテンツのダウンロード･アップロードの際に、パケット通信料がかかる場合があります。
◎動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめYouTubeアカウントを取得してください。
◎YouTubeの詳細については、YouTube画面→ →[設定]→[ヘルプ]と操作して確認してください。

Googleサービス

Googleトークを利用する

Googleトークは、Googleのインスタントメッセージサービスです。Googleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です（▶P.33）。

Googleトークにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[トーク]

2 [次へ]→[ログイン]

3 ユーザー名とパスワードを入力→[ログイン]

memo

◎ Googleトークの詳細については、Googleトークの画面→[≡]→[設定]→[利用規約とプライバシー]→[Help Center]、またはGoogleトーク画面→[≡]→[その他]→[ヘルプ]と操作して確認してください（Talk Helpは英語で表示されます）。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[マップ]

マップ画面が表示されます。

- 「マップの新機能」画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- 「現在地機能を改善」画面が表示された場合は、「設定」をタップし、GPS機能をオンにしてください。

memo

◎ 現在地を取得する前に現在地検索の設定を有効にしてください（▶P.129）。
◎ Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
◎ Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

GPS機能を利用する

現在地の測位には、モバイルネットワークと無線LAN（Wi-Fi®）機能またはGPS機能を使用する2つの方法があります。無線ネットワークでは、スピーディに現在地が測位されますが、誤差が生じる場合があります。GPS機能を使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。無線ネットワークとGPS機能の両方を有効にすると、両方のメリットを生かして測位することができます。

ISW11SCには、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ（▶P.27）をおおわないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

memo

◎ GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
◎ 本製品の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 本製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
◎ ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
◎ 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
◎ 当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

■受信しにくい場所

GPS機能は人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- ISW11SCの周囲に障害物(人や物)がある場合
- 地下やトンネル、地中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

■GPS機能を有効にする

1 ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[位置情報とセキュリティ]

2 「GPS機能の使用」にチェックを入れる

■現在地検索を有効にする

モバイルネットワークと無線LAN(Wi-Fi®)機能を使った現在地検索を有効にします。

1 ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[位置情報とセキュリティ]

2 「無線ネットワークの使用」にチェックを入れる

3 「位置情報についての同意」の内容を確認→[同意する]

無線ネットワークを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

地図上で現在地を検出する

1 マップ画面→[◉]

現在地が地図上で青い矢印の点滅で表示されます。

- 現在地を表示中の場合は、◉の代わりに◈が表示されます。タップすると◈に変わり、現在向いている方角に従って地図が回転表示されます。

ストリートビューを見る

ストリートビューは対応していない地域もあります。

1 マップ画面→ストリートビューで表示する地点をロングタッチ

2 表示された吹き出しをタップ

3 [人](ストリートビュー)

ストリートビュー画面が表示されます。

- 「ストリートビューの新機能」画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- ストリートビュー表示中に[メニュー]→[コンパスモード]と操作すると、ISW11SCの地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。
- ストリートビュー非対応地域の場合はグレー表示となります。

興味のある場所を検索する

1 マップ画面→[メニュー]→[検索]

2 検索ボックスに検索する場所を入力

住所、都市、ビジネスの種類や施設(例えば、ロンドン 美術館)を入力できます。

検索ボックスをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが画面に表示されます。リストで住所などをタップし、地図上でその位置を表示することもできます。

3 [ ]

地図上に検索した場所が表示されます。
マップ画面左下に が表示された場合は、「 」をタップして表示する場所を選択することができます。
マップ画面上部に「もしかして･･･」と表示された場合は、「もしかして･･･」をタップして表示する場所を選択することができます。

4 表示された吹き出しをタップ

詳細情報画面が表示されます。

memo

◎詳細情報画面では、 (地図)、 (経路)、 (通話)などが利用できます。場所によって利用できるオプションは異なります。

地図を拡大／縮小する

1 [+]／[−]

画面をダブルタップやピンチすることでも拡大／縮小できます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

1 マップ画面→[ ]

2 利用したいレイヤをタップ

交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

交通状況	交通状況を表示します。
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
路線図	路線情報を表示します。
Latitude	Latitudeに参加します。
マイマップ	パソコンで作成したマイマップを閲覧できます。マイマップはISW11SCからは閲覧するだけで作成できません。
ウィキペディア	を表示します。「 」をタップするとその場所に関するウィキペディアの記事を閲覧できます。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 マップ画面→ →[経路]

2 上のテキストボックスに出発地を入力→下のテキストボックスに到着地を入力

テキストボックス右の「 」をタップして「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「マイプレイス」から出発地、到着地を選択することもできます。

3 [ ](車)／[ ](公共交通機関)／[ ](徒歩)

4 [経路を検索]／[ ]

到着地への道案内が表示されます。

- 移動方法に車または徒歩を選択して「 」をタップすると、「ナビ」アプリケーションが起動し、道案内が開始されます。
- 移動方法に車または徒歩を選択して「経路を検索」をタップした場合は、地図上にルートが表示されます。「ナビを開始」をタップすると「ナビ」アプリケーションが起動し、道案内を開始します。
- 移動方法に公共交通機関を選択して「経路を検索」をタップした場合は、経路／日時の選択画面が表示されます。日時を選択して経路を選択すると、出発地から到着地までの経路を確認できます。「 」をタップすると、経路を地図で確認できます。

memo

◎道案内の開始時にナビの注意画面が表示された場合は、「同意する」をタップしてください。
◎ルートが表示されている地図で「 」をタップすると、経路をテキスト表示で確認できます。
◎ホーム画面で[アプリ]→[ナビ]と操作すると、現在地を出発点にした経路検索が簡単にご利用になれます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などを消去します。

1 マップ画面→ →[地図をクリア]

クリアする内容がない場合には「地図をクリア」はタップできません。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。Latitude上では、SMS(Cメール)やPCメールを送ったり、電話をかけたり、また、友人の現在地までの移動経路を検索したりすることもできます。

- Google Latitudeの利用にはGoogleアカウントが必要です。
- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 ホーム画面で[アプリ]→[Latitude]

初めてLatitudeに参加した場合は、「現在地の共有」画面が表示されます。「家族や友だちと現在地を共有できます」をタップし、画面の指示に従って設定してください。

- Googleマップのマップ画面→ →[その他]→[Latitudeに参加]と操作しても、Latitudeに参加できます。一度Latitudeに参加すると、メニュー項目は「Latitude」に変わります。

memo

◎Latitudeの設定およびログアウトは、地図を表示中に自分の現在地に表示された吹き出しをタップ→[プライバシー設定を編集]→[Latitudeからログアウト]と操作します。

Googleプレイスを利用する

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索できます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[プレイス]

2 検索したいカテゴリーをタップ

「 」をタップし、キーワード入力欄に地名や店名を入力しても検索できます。

カテゴリーを追加する場合は、 →[検索を追加]と操作し、追加したいカテゴリをタップするか、カテゴリなどを入力して + をタップします。

3 検索結果から目的の情報をタップ

memo

◎利用する場所によって、使用できる機能が異なります。
◎サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

タグ情報を利用する

読み込んだNFCタグやマイタグを管理できます。

- 利用方法などの詳細については、タグ情報画面→ →[ヘルプ]と操作し、ヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[タグ情報]

タグ情報画面が表示されます。

初めて起動したときは、タグについての説明画面が表示されます。

- NFCがOFFの場合は、NFCをONにするかどうかの確認画面が表示されます。[設定]→「NFC R/W P2P」にチェックを入れ、NFCをONに設定してください。

2		
	「タグ情報」タブ	読み込んだタグの一覧が表示されます。
	「お気に入り」タブ	お気に入りに追加したタグの一覧が表示されます。
	「マイタグ」タブ	タグの追加や管理、共有のON／OFFができます。 • マイタグを追加するには、［新規タグを追加］→「電話帳」「URL」「テキスト」からタグのタイプを選択→情報を入力と操作してください。「電話帳」を選択した場合は、登録済みの連絡を選択してもマイタグを追加できます。 • マイタグを共有するには、「マイタグを共有」にチェックを入れます。 • 共有するマイタグを変更するには、「アクティブタグ」欄をタップ→共有するタグを選択と操作します。 • 「NFC R/W P2P」(▶P.168)にチェックを入れ、「マイタグを共有」にチェックを入れると、ステータスバーに が表示されます。

カレンダー

ISW11SCには予定を管理するカレンダーが搭載されています。Googleアカウントを持っている場合は、ISW11SCのカレンダーとウェブカレンダーを同期することができます。「アカウントと同期の設定をする」(▶P.174)をご参照ください。

カレンダーを表示する

カレンダーには、予定を登録できます。

1 **ホーム画面で［アプリ］→［カレンダー］**

カレンダー画面が表示されます。

カレンダーの内容について

《カレンダー画面(「月表示」タブの場合)》

① **タブ**
カレンダーを月表示／週表示／日表示／リスト表示にします。

② **年月日表示**
「◀」／「▶」をタップすると、前後の月／週／日に切り替えられます。中央をタップすると年月日入力画面が表示され、表示したい年月日を入力して表示日を指定できます。
リスト表示では表示されません。

③ **今日の日付**
背景が青色で表示されます。

④ **カーソル**
白い枠(背景が明るい青色)が表示されます。

⑤ **予定**
登録されている予定があるときに表示されます。

⑥ **新規作成／予定一覧**
選択されている日付に予定がない場合は「新規作成」が表示され、タップして予定を作成できます。選択されている日付に予定がある場合は、登録されている予定の一覧が表示されます。

カレンダーのメニューを利用する

カレンダー画面で[メニューアイコン]をタップするとメニュー項目が表示され、予定の作成／検索／削除、表示日の指定、カレンダーの表示設定などの操作が行えます。

カレンダーの予定を作成する

カレンダーの予定を作成するには、Googleアカウントの登録とGoogleとの同期を行っておきます。

1 カレンダー画面→[メニューアイコン]→［新規作成］

- 「イベントを追加」画面が表示された場合は「OK」をタップし、画面の指示に従って操作・設定してください。「今後表示しない」にチェックを入れると、次回予定を作成する際に「イベントを追加」画面は表示されなくなります。
- 月表示の場合は、予定のない日付をタップしてカーソルを移動し、再度タップしても予定を作成できます。また、日付をロングタッチするとイベントの入力画面が表示され、終日設定の予定を作成できます。
- 週表示／日表示の場合は、予定のない日付／時刻をタップしてカーソルを移動し、再度タップしても予定を作成できます。

2 イベント、日時などを入力

- 予定の開始時刻にアラームで通知するには、「アラーム」欄の［+］→［開始時刻］→通知開始時期をタップします。
- 複数のカレンダーアカウントを持っている場合は、「カレンダー」欄をタップしてアカウントを選択できます。

3 ［保存］

カレンダーの予定を表示する

1 カレンダー画面→「月表示」タブ→予定のある日付をタップ→表示したい予定をタップ

カレンダー画面→「週表示」タブ／「日表示」タブ／「リスト表示」タブ→表示したい予定をタップと操作しても、予定を表示できます。

予定のアラームを解除またはスヌーズを設定する

予定作成時にアラームを設定した場合、設定時刻になるとステータスバーでの[アイコン]の表示と、アラームの鳴動でお知らせします。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

2 お知らせ欄から予定の通知をタップ

カレンダー通知画面が表示されます。

3 予定にチェックを入れる→［スヌーズ］／［通知消去］

「スヌーズ」を選択すると、約5分後に選択した予定が再通知されます（スヌーズとは、いったんアラームを停止しても、しばらくするとアラームが鳴るようにする機能です）。

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示設定や予定の通知設定などの詳細を設定できます。

1 カレンダー画面→[メニューアイコン]→［設定］

2 変更したい項目を選択→設定を変更

タスク

タスクを登録して管理できます。指定した日に通知するように設定することもできます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[タスク]

タスク一覧画面が表示されます。

- タスクをタップすると詳細画面が表示され、登録情報を確認できます。
- 設定日が当日以降のタスクには「D-X」(「X」は設定日までの残り日数)、設定日が当日のタスクには「D-0」が表示されます(当日以前のタスクには表示されません)。

2 [タスクを作成]→必要な情報を入力→[保存]

◎登録したタスクを完了のステータスにするには、タスク一覧画面または詳細画面でタスクにチェックを入れます。

タスクの通知を解除またはスヌーズを設定する

タスク作成時に通知を設定した場合、設定日になるとステータスバーでの の表示と、通知音の鳴動でお知らせします。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

2 お知らせ欄からタスクの通知をタップ

タスク通知画面が表示されます。

3 [全てスヌーズ]/[通知消去]

「全てスヌーズ」を選択すると、約5分後にすべてのタスクが再通知されます(スヌーズとは、いったん通知を停止しても、しばらくすると通知音が鳴るようにする機能です)。

タスクのメニューを利用する

タスク一覧画面/詳細画面で をタップ、またはタスク画面でタスクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、タスクの新規作成/削除/検索/同期/編集/印刷、タスク一覧の並び順の変更などの操作が行えます。

◎タスクの印刷は、Samsung製のプリンターでのみ印刷できます(2011年12月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません)。

ミニダイアリー

写真付きのダイアリー(日記)を作成できます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[ミニダイアリー]

ミニダイアリー画面が表示され、日記が登録されている日付の一覧が表示されます。

初めて起動したときは、ネットワーク情報画面が表示されます。内容を確認して「OK」をタップすると、ミニダイアリー作成画面が表示されます。

2 [新規作成]

ミニダイアリー作成画面が表示されます。

3 [画像を追加]→[カメラ]/[ギャラリー]→静止画を撮影/選択→オレンジ色のガイドラインをドラッグして静止画のサイズを変更→[保存]

4 [本文を入力]→文字を入力→[完了]

5 必要に応じてその他の項目を設定

- 画面左上の日付をタップ→日付を入力→[設定]と操作すると、日付を変更できます。
- 画面右上の天気アイコン/[未取得]→設定したい天気を選択と操作すると、気象情報を設定できます。
- [ ]→目的の位置でタップ→[完了]と操作すると、現在地情報を指定できます。
- 「位置情報を追加」欄をタップすると、位置情報のメモを入力できます。

6 [保存]

memo

◎ミニダイアリー画面→ →[設定]と操作し、「自動更新」にチェックを入れると、日記作成時に気象情報や位置情報が自動で入力されます。
◎ミニダイアリー起動時にGPS機能をONにする確認画面が表示された場合は「OK」をタップし、GPS機能をオンにしてください。

登録した日記を確認する

1 ホーム画面で[アプリ]→[ミニダイアリー]

ミニダイアリー画面が表示され、日記が登録されている日付の一覧が表示されます。

2 確認したい日付をタップ

ミニダイアリー詳細画面が表示されます。

- ミニダイアリーに複数の日記が登録されている場合は、左右にフリックして日記を切り替えられます。

ミニダイアリーのメニューを利用する

ミニダイアリー画面/ミニダイアリー詳細画面で をタップ、またはミニダイアリー画面で日記をロングタッチするとメニュー項目が表示され、日記の検索/削除/作成、ミニダイアリー一覧の表示方法の変更、画像の変更/削除、日記をSNSに公開、日記の送信などの操作が行えます。

メモ

メモを作成する

1 ホーム画面で[アプリ]→[メモ]

メモ一覧画面が表示されます。

- メモをタップするとメモ詳細画面が表示され、メモを確認できます。
- メモが1件も登録されていない場合は、メモ作成画面が表示されます。

2 [メモ作成]→メモを入力→[保存]

メモを編集する

1 メモ一覧画面→編集したいメモの[ ]

メモ作成画面が表示されます。

- 「 」をタップしてメニューを開き、次のアイコンをタップして各種操作ができます。
  :メモを削除します。
  :メモの背景を変更します。
  / :メモをロック/ロック解除します。初めてメモをロックするときは、ロック解除時に入力するコンテンツロック用のPINを入力する必要があります。
  :メモを印刷します。

▶：メニューを閉じます。

2 **メモを編集→[保存]**

◎メモの印刷は、Samsung製のプリンターでのみ印刷できます（2011年12月現在、日本国内で本機能を利用できるプリンターはありません）。

メモのメニューを利用する

メモ一覧画面／メモ詳細画面で ☰ をタップ、またはメモ一覧画面でメモをロングタッチするとメニュー項目が表示され、メモの作成／削除／検索／送信、SNSへのログイン、メモの同期などの操作が行えます。

Polaris Office

ISW11SCでOffice文書を表示／編集したり、新規に作成したりできます。ThinkFree Onlineのアカウントをお持ちの場合は、ドキュメントをオンライン上で管理できます。
対応しているファイルは次の通りです。

種類	バージョン	拡張子
Microsoft Word	Word 97、2000、2003、2007、2010※1	txt、doc、docx
Microsoft Excel	Excel 97、2000、2003、2007、2010※1	xls、xlsx
Microsoft PowerPoint	PowerPoint 97、2000、2003、2007、2010※1	ppt、pptx
PDF	Acrobat 1.0～9.0（Ver.1.0～1.7）※2	pdf

※1 閲覧のみ可能です。
※2 一部の機能はサポートされていない場合があります。

1 **ホーム画面で[アプリ]→[Polaris Office]**

Polaris Office画面が表示されます。
初めて起動したときは、ユーザー登録画面が表示されます。登録をしない場合は「スキップ」をタップ、登録する場合は画面の指示に従って設定→[登録]と操作します。

memo

◎対応しているファイルの種類やバージョンでも、表示できない場合があります。
◎ISW11SCで表示したファイルの内容は、パソコンの表示と異なる場合があります。

ドキュメントを新規作成する

1 **Polaris Office画面→[ ]→作成したいドキュメントの種類をタップ**

ドキュメントの編集画面が表示されます。

2 **文書を入力→ ☰ →[保存]**

3 **ファイル名を入力→「保存先」欄をタップ→保存先を選択→[選択]**

4 **[保存]**

ドキュメントが保存され、編集画面に戻ります。↩ をタップすると、Polaris Office画面に戻ります。

ドキュメントを表示／編集する

1 **Polaris Office画面→表示／編集したいファイルをタップ**

ドキュメントが表示されます。

ツール・アプリケーション

2 ≡ →[編集モード]

ドキュメントの編集画面が表示されます。
ファイルを削除する場合は、Polaris Office画面で ≡ →[ファイルの管理]→削除したいファイルにチェックを入れる→[削除]→[はい]と操作します。

memo

◎ ドキュメントの種類などにより、利用できる機能が異なります。

Samsung Apps

Samsung Appsを利用して、Samsung社がおすすめする豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードできます。
一部の機能を利用するにはSamsungアカウントを設定する必要があります(▶P.35)。

1 ホーム画面で[アプリ]→[Samsung Apps]

初めて起動したときは、免責条項が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。
- Samsungアカウントを設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従ってSamsungアカウントを設定(▶P.35)するか、設定をキャンセルしてください。

2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロード

memo

◎ Samsung Appsは、国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳しくはSamsung Appsサイト内のサポートページをご参照ください。
◎ Samsung Appsを利用してダウンロードしたアプリケーションのアップデートがある場合は、アプリケーション画面のアプリケーションアイコン右上にアップデートの件数が表示されます。

ボイスレコーダー

音声を録音する

1 ホーム画面で [アプリ]→[ボイスレコーダー]

ボイスレコーダー画面が表示されます。
- 「リスト表示」をタップすると、ファイル一覧画面が表示されます。

2 [録音]

録音が開始されます。
録音を一時停止するには「一時停止」をタップ、録音をキャンセルするには[キャンセル]→[OK]と操作します。

3 [停止]

録音した音声が保存され、録音したファイル一覧画面が表示されます。

音声を再生する

1 ファイル一覧画面→再生したいファイルをタップ

再生を停止するには「停止」をタップ、再生を一時停止するには「一時停止」をタップします。

ボイスレコーダーのメニューを利用する

ボイスレコーダー画面／ファイル一覧画面で ≡ をタップ、またはファイル一覧画面でファイルをロングタッチするとメニュー項目が表示され、ボイスレコーダーの設定、ファイルの共有／削除、ファイル名の変更、詳細情報確認の操作が行えます。

Social Hub

Social Hubとは、PCメールやSNS(Social Network Service)を統合するメッセージングアプリケーションです。Social HubからPCメールの送信や、SNSの情報更新ができます。

- Social Hubには、「アカウントと同期」(▶P.175)で設定したSNSのアカウントや、PCメール(▶P.97)で設定したアカウントが表示されます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[Social Hub]

初めて起動したときは、「Social Hubメッセージスイートへようこそ」画面が表示されます。「すぐに設定」/「後で設定」をタップしてください。

- PCメールやSNSのアカウントを追加済みの場合は、「Social Hubメッセージスイートへようこそ」画面は表示されません。

2 「フィード」タブ/「メッセージ」タブ→確認・利用したいアカウントをタップ

memo

◎Social Hubからアカウントを追加するには、「フィード」タブ→[アカウント追加]と操作して追加操作をします。すでにアカウントが追加されている場合は、「フィード」タブ→[▤]→[アカウント]→[アカウント追加]と操作して追加操作をします。

◎SNSなどのアカウントを追加するときにSNS免責事項画面が表示された場合は、国を選択→「上記の契約条件全てに同意します。」にチェックを入れる→[同意]と操作します。

◎SNSなどのステータスを更新するには、[▤]→[ステータスの更新]→ステータスを入力→ステータスを更新したいSNSにチェックを入れる→[更新]と操作します。

Backup

ISW11SC本体に保存されているすべてのデータとシステム設定情報を、バックアップ/復元できます。

- 他の機能やアプリケーションを起動中は、バックアップ/復元を実行できません。実行前にタスクマネージャーで確認/終了してください。
- データ容量が2Gバイト以上の場合はバックアップできません。サイズの大きいデータを保存している場合はご注意ください。
- オンラインストレージサービス(Box.net/Dropbox)にバックアップする場合、各サービスのアカウント登録が必要です。
- オンラインストレージサービスにシステム設定情報をバックアップする場合、アクセスポイント設定はバックアップできません。

1 ホーム画面で[アプリ]→[Backup]

spritebackup画面が表示されます。
初めて起動したときは、使用許諾契約書が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意」をタップしてください。

バックアップする

1 spritebackup画面→[バックアップ]→保存先を選択

2 [新規作成]→バックアップファイルの名前を入力→[続ける]

既存のバックアップファイルに上書きする場合は、バックアップファイルをタップ→[変更]と操作します。

3 バックアップしたい項目にチェックを入れる→[続ける]

バックアップが開始され、バックアップが終了すると完了画面が表示されます。

4 [OK]

バックアップファイルを復元する

1 **spritebackup画面→[復元]→保存先を選択→バックアップファイルをタップ→復元したい項目にチェックを入れる→[続ける]→[データの復元]**

復元が開始され、復元が終了すると「完了しました 本体を再起動してください」と表示されます。

2 **[OK]**

spritebackup画面に戻ったら、電源を入れ直してください(▶P.32)。

自動的にバックアップする

スケジュールを設定して、自動的にバックアップを実行できます。

1 **spritebackup画面→[スケジュール]→保存先を選択→バックアップタイミングを設定→[続ける]**

2 **バックアップしたい項目にチェックを入れる→[続ける]**

Backupのメニューを利用する

1 **spritebackup画面→[メニュー]**

2

設定	一般設定	リリースノートの表示や、使用状況データ送信の有無を設定します。
	オンラインバックアップ	オンラインサービス使用時の設定をします。
	セキュリティ	暗号化の有無や、パスワードの設定を変更します。
	自動バックアップ	古いバックアップデータを保存しておく数を設定します。
ヘルプ		ヘルプを表示します。
製品情報		製品情報を表示します。

辞典

3ヶ国辞書(日･英･韓)を利用して語句を検索できます。お買い上げ時は、次の辞典が搭載されています。

- 旺文社コンプリヘンシブ英和･和英辞典
  ©2010 Obunsha Co.,Ltd
- NEW-ACE JAPANESE-KOREAN DICTIONARY
  ©DIOTEK Co.,Ltd

1 **ホーム画面で[アプリ]→[辞典]**

辞典画面が表示されます。

[辞典アイコン]:辞典の種類を変更します。
[言語アイコン]:日本語⇔英語／日本語⇔韓国語を切り替えます。

2 **検索したい語句を入力→必要に応じて確認したい語句をタップ**

画面の左側に単語の一覧、右側に選択した単語の意味が表示されます。

- 画面の右側を左方向にスライドすると単語の意味が全画面表示され、次のアイコンをタップして各種操作ができます。
  [マーカーアイコン]:テキストをドラッグしてマーカーを付けます。
  [TTアイコン]:フォントサイズを変更します。
  [メモアイコン]:メモを作成します。
  [追加アイコン]:表示中の単語をフラッシュカードに追加します。

辞典のメニューを利用する

辞典画面で[メニュー]をタップするとメニュー項目が表示され、フラッシュカードに登録した単語の表示、検索履歴の確認、辞典の設定変更などの操作が行えます。

ニュースEX

ニュースEXを利用して、最新のニュースや天気、占い、交通情報などを確認できます。

- ご利用いただくには、アプリケーションのインストールが必要です。
- 一部の機能を利用するにはau one-IDを設定する必要があります（▶P.34）。

1 ホーム画面で［アプリ］→［ニュースEX］

初めて起動したときは、インストールの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってインストール、各種設定を行ってください。

◎すべてのコンテンツを閲覧するには、別途お申し込み（情報料有料）が必要です。

au one ナビウォーク

au one ナビウォークは、徒歩／電車／バス／飛行機など、さまざまな交通手段に対応したルートを案内する総合ナビゲーションサービスです。目的地までナビゲーションするトータルナビや、乗換案内などをご利用いただけます。

- ISW11SCにあらかじめ用意されている「（S）ナビウォーク」は、au one Market からau one ナビウォークをダウンロードするためのショートカットアプリです。au one ナビウォークを利用するには、アプリケーションのダウンロードが必要です。
- 一部の機能を利用するにはau one-IDを設定する必要があります（▶P.34）。
- 一部の機能を利用するにはGPS機能を有効に設定する必要があります（▶P.129）。

1 ホーム画面で［アプリ］→［ナビウォーク］

au one ナビウォーク画面が表示されます。

2 利用したい項目を選択

◎通話中は、au one ナビウォークを利用できません。

au one ナビウォークを設定する

自宅やお気に入りの場所、よく利用する駅の登録や、ルート検索条件や音声ナビゲーションの設定などができます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［ナビウォーク］→［≡］→［設定］

2 必要な項目を設定

NFCサービス

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能（R/W）、機器間通信機能（P2P）などがISW11SCでご利用いただけます。

NFCを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのNFC対応アプリをダウンロードする必要があります。

- NFCメニュー（▶P.141）
- NFCタグリーダー（▶P.142）
- タグ情報（▶P.131）

◎NFCサービスについての詳細や注意については、「NFCサービスご利用上の注意」(▶P.222)をご参照ください。

NFCメニューを利用する

NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[NFCメニュー]

NFCメニュー画面が表示され、NFCサービスに対応したダウンロード済みのアプリアイコンの一覧が表示されます。
初めて起動したときは、許可画面が表示されます。「OK」をタップし、利用規約画面で内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

- 「表示タイプ変更」(▶P.141)を「カテゴリー別」に設定した場合は、画面上部に次のカテゴリーが表示され、アプリアイコンが各カテゴリー内に表示されます。
  Money:電子マネーやクレジットカードのアプリ
  Coupon/Point:クーポンやポイントカードのアプリ
  Transport:電車やバスなど交通系のアプリ
  Communication:他のNFC対応機器とのやりとりに関するアプリ
  Others:上記4つのカテゴリーに属さないアプリ

2 アプリを起動

起動したいアプリアイコンをタップします。

NFCロック、各種設定と操作を行う

1 NFCメニュー画面→[メニューキー]

2

サービス一覧更新		ISW11SCに登録しているサービスの情報を更新します。
NFCポータルサイト		ブラウザを起動してNFCポータルサイトを表示します。
NFCロック		NFC機能をロックします。
ヘルプ		NFCメニューのヘルプを表示します。
設定	表示タイプ変更	NFCメニュー画面の表示タイプを設定します。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリーの表示方法を横方向/縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の配色を設定します。
	アニメーション	NFCメニュー画面のアニメーション効果を有効/無効に設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。

◎電池フタを取り外したISW11SC背面のコンタクト部分は、強い力で押さないでください。NFC通信に障害が発生するおそれがあります。
◎ISW11SCをリーダー/ライターにかざす際は、強くぶつけないように、ゆっくりと近付けてください。
◎コンタクト部分とリーダー/ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、コンタクト部分の付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
◎NFCの決済機能は、ISW11SCの電源を切った状態でもご利用いただけます。
◎電池パックを外した場合は、NFCサービスをご利用いただけません。
◎電池残量がなくなった場合、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。
◎機内モード(▶P.167)設定中は、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。

1 ホーム画面で［アプリ］→［NFCタグリーダー］

NFCランチャー画面が表示されます。
初めて起動したときは、許可画面が表示されます。「OK」をタップし、利用規約画面で内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

- 「NFCを有効にしてください。」の確認画面が表示された場合は「YES」→「NFC R／W P2P」にチェックを入れ、NFCをONに設定してください。

2 各機能操作を行う

Share：電話帳など、NFCケータイ同士をかざすことで各種データを授受します。
Writing：編集画面で、書き込むデータを設定し、タグにかざすことで書き込みます。
History：Reading、Writing、Shareの履歴を表示します。
Setting：NFC SettingやApp Settingを行います。

- NFC Settingを選択すると、NFCロック、NFC R／W P2P機能ON／OFF、NFCロックNo.の変更／初期化ができます。
- App Settingを選択すると、メインカラー選択、効果音、NFCタグ認識音、NFCタグ書き込み音の設定や、利用規約の確認ができます。

NFCデータをやりとりする

ISW11SC背面のコンタクト部分（▶P.27）にあるアンテナをリーダー／ライターにかざしたり、NFC機能をサポートしている機器間同士でコンタクト部分にあるアンテナを近づけたりすることで、NFCデータのやりとりができます。

auお客さまサポート

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に［メニュー］→「ヘルプ」とタップしてauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で［アプリ］→［auお客さまサポート］

- 初回起動時は設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「「サポートID」を設定せずに利用する」を選択します。
- サポートIDの新規取得は、auお客さまサポートウェブサイト（https://cs.kddi.com/）にて行えます。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
サポート&サービス	▶P.143「安心セキュリティパック」
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
ウェブサイト	よくあるご質問の確認やauお客さまサポートウェブサイトへの接続などができます。

memo

◎画面下部の「MENU」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や、設定メニューなどが表示されます。「MENU」が表示されていない場合は［メニュー］をタップします。

安心セキュリティパック

安心セキュリティパックでできること

「ウイルスバスター™ モバイル for au」を利用した、セキュリティ機能をご利用になれます。

• 安心セキュリティパックは有料サービスです。

memo

◎安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「ウイルスバスター™ モバイル for au」のセットアップを行ってください。

◎「3LM Security」「リモートサポート」はISW11SCではご利用いただけません。

ウイルスバスター™ モバイル for au

■不正アプリ対策

アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。

■Webフィルタ

ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。

■Web脅威対策

ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。

■着信ブロック／SMSブロック

迷惑電話やSMS（Cメール）の着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。

memo

◎「ウイルスバスター™ モバイル for au」をご利用になるには、最初にアプリケーションをダウンロードする必要があります。

ウイルスバスター™ モバイル for auを利用する

1 ホーム画面で［アプリ］→［auお客さまサポート］→［サポート＆サービス］→［安心セキュリティパック］→［ウイルスバスター モバイル for au］

初めて操作したときは、ダウンロード確認画面が表示されます。「はい」をタップして、アプリケーションをダウンロードしてください。

2 項目を選択

3 画面の指示に従って操作

◎Webフィルタは、Android標準ブラウザでのIS NET、無線LAN（Wi-Fi®）接続時に有効です。

安心アプリ制限

お子様にも安心･安全にスマートフォンをご利用いただけるよう、保護者がお子様に使わせたくないアプリケーションの利用や、無線LAN(Wi-Fi®)通信などの機能を制限できます。ISW11SC本体のWEBフィルタリング設定(▶P.108)とあわせてご利用ください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[安心アプリ制限]

初めて起動したときは、利用規約とアクセスの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ「同意する」をタップし、デバイス管理機能の起動確認画面で「アクティブ化」をタップしてください。

2 任意のパスワードを入力→[OK]→同じパスワードを入力→[OK]

3 「秘密の質問を選択してください。」欄をタップ→質問を選択

- 「その他(入力50字以内)」を選択した場合は、50字以内で任意の質問を入力します。

4 「答え(10文字以内)」欄をタップ→答えを10文字以内で入力→[OK]

5

「制限設定」タブ	機能の制限や、アプリケーションの利用制限を設定します。
「管理MENU」タブ	パスワードの変更や秘密の質問の変更など、安心アプリ制限について設定します。
「ヘルプ」タブ	ヘルプを表示します。

au災害対策アプリ

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害･避難情報)を利用することができるアプリです。

1 ホーム画面で[アプリ]→[au災害対策]

au災害対策メニューが表示されます。

《au災害対策メニュー》

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がIS NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー→[災害用伝言板]

画面に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス(~ezweb.ne.jp)が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定について、詳しくは「Eメールの初期設定を行う」(▶P.34)をご参照ください。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)接続中は利用できません。
◎ 安否情報のお知らせメール機能は2012年春以降の提供開始予定です。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、緊急地震速報や災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※2012年春以降、緊急速報メールとして「災害・避難情報」の提供を開始する予定です。詳細はauホームページでお知らせします。

お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害・避難情報)の「受信設定」は「受信する」に設定されています。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

1 au災害対策メニュー→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。

確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

2

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報**:緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報**:災害・避難情報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量**:受信音の音量を設定します。 **バイブ**:受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**:マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音/バイブ確認	**緊急地震速報**:受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報**:受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒~数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
◎ 日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎ 気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

◎電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎SMS（Cメール）／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマー、卓上時計を利用できます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［時計］

時計画面が表示されます。

2 各機能に切り替える

タブをタップすると、各機能に切り替えられます。

アラームを利用する

1 時計画面→「アラーム」タブ

アラーム一覧画面が表示されます。

2 ［アラームを作成］

設定済みのアラームをタップすると編集できます。

3 項目を設定・入力→［保存］

作成したアラームがアラーム一覧画面に表示されます。
「 」（緑色）をタップすると （グレー）に変わり、アラームがオフになります。スヌーズ中は （黄色）が表示され、タップすると （緑色）に変わり、スヌーズが解除されてアラームがオンになります。もう一度タップすると、アラームはオフになります。

memo

◎アラームを削除するには、アラーム一覧画面→削除したいアラームをロングタッチ→［削除］と操作します。複数のアラームをまとめて削除するには、アラーム一覧画面→ →［削除］→削除したいアラームにチェックを入れる／「全て選択」にチェックを入れる→［削除］と操作します。

アラームを止める

設定した時刻になるとアラーム画面が表示され、設定した種類・音量でアラームが鳴ります。

1 「 」を表示される円の外までドラッグ／スライド

- スヌーズを設定する場合は、「 」を表示される円の外までドラッグ／スライドします。
- スヌーズを設定すると、設定した時間の経過後に再度アラーム画面の表示とアラーム鳴動で再通知されます（スヌーズとは、いったんアラームを停止しても、しばらくするとアラームが鳴るようにする機能です）。

memo

◎マナーモード設定中でもアラームは鳴ります。
◎アラーム鳴動中に を押すとアラームを停止できます。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 時計画面→「世界時計」タブ

世界時計画面が表示されます。

2 [都市を追加]

都市／国の一覧画面が表示されます。

- 「🌐」をタップすると、世界地図を表示して都市／国を検索できます。世界地図で「☰」をタップすると、一覧画面に戻ります。
- 「現在地」をタップすると、現在地を追加できます。

3 追加したい都市／国を選択

◎追加した都市／国を削除するには、世界時計画面→削除したい都市／国をロングタッチ→[削除]と操作します。複数の都市／国をまとめて削除するには、世界時計画面→[メニュー]→[削除]→削除したい都市／国にチェックを入れる／「全て選択」にチェックを入れる→[削除]と操作します。
◎登録した都市／国にサマータイムを設定するには、都市／国をロングタッチ→[サマータイム設定]→時間を設定と操作します。
◎都市／国の一覧画面→[メニュー]→[並べ替え]→「⠿」をドラッグして都市／国を移動→[保存]と操作すると、都市／国の一覧を並べ替えられます。

ストップウォッチを利用する

1 時計画面→「ストップウォッチ」タブ

2 [スタート]

測定が開始されます。

- ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。

3 [ストップ]

測定を再開するには「リスタート」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 時計画面→「タイマー」タブ

2 時間、分、秒を設定→[スタート]

タイマーが開始されます。カウントダウンが終了するとタイムアップ画面が表示され、アラームが鳴ります。

- タイマーを停止するには「停止」、タイマーを終了するには「リセット」をタップします。
- 停止中に「リスタート」をタップするとタイマーを再開できます。

3 「⊗」を表示される円の外までドラッグ／スライド

◎マナーモード設定中はアラームが鳴りません。
◎アラーム鳴動中に[音量キー]を押すとアラームを停止できます。

卓上時計を利用する

現在の時間と日付などを表示し、ISW11SCを卓上時計として利用できます。

1 時計画面→「卓上時計」タブ

「⤢」をタップすると、画面を拡大表示できます。拡大表示中は画面下部にアイコンが表示され、タップして各機能を利用できます。
拡大表示中に「⤡」をタップすると通常表示に戻ります。

◎Desktop Dock（SCI11PVA）（別売）にISW11SCを取り付けると、卓上時計やアイコンが表示されます（▶P.206）。

電卓

加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行うことができます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[電卓]

2 計算する

:最後に入力した文字を消去します。ロングタッチすると入力した文字をすべて消去できます。

C:計算結果や文字を消去します。

memo

◎数字の入力中や計算の実行後に を下にスライドすると、計算の履歴を表示できます。 を上にスライドすると履歴を閉じます。

◎ISW11SCを傾けて横表示にすると、関数電卓に切り替わります。

◎ をタップしてメニュー項目を表示すると、履歴の消去やテキストサイズの変更ができます。

ファイル管理

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)をISW11SCにセットすることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎アプリケーションにより、microSDメモリカードが必要になる場合がありますので、microSDメモリカードを挿入してご利用ください。
◎microSDメモリカードの空き容量を確認する方法については、「メモリの使用量を確認する」(▶P.151)をご参照ください。
◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、ISW11SCでは正常に使用できない場合があります。ISW11SCで初期化してください。初期化の方法については「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.151)をご参照ください。

保護データについて

◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えてもISW11SCで再生できない場合があります。

■取り扱い上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたり取り外しをしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ISW11SCにmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- ISW11SCのmicroSDメモリカードスロットには、液体・金属体・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

<microSD／microSDHCメモリカード>

※4GB以上は、microSDHCメモリカードの対応状況です。

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
SanDisk	○	○	○	○	○
Transcend	○	○	○	○	○
Kingston TECHNOLOGY	○	○	○	○	○
東芝	○	○	○	○	○
Samsung	○	○	○	○	○

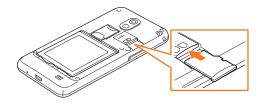
○:動作確認済み　－:未確認または未発売　2011年12月現在

※ISW11SCでは、2011年12月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

1 電池フタを取り外し(▶P.28)、microSDメモリカードの端子(金属)面を下にし、図の向きでmicroSDメモリカードスロットの奥までまっすぐ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。音がする前に指を離すと、microSDメモリカードが飛び出すことがありますのでご注意ください。

◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

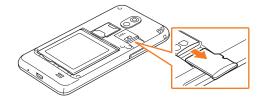
microSDメモリカードを取り外す場合は、必ずマウント（読み書き可能状態）を解除してから行ってください。

1 ホーム画面で[MENU]→[設定]→[ストレージ]→[外部SDカードのマウント解除]

マウントが解除されるとステータスバーに[アイコン]が表示されます。

2 電池フタを取り外し（▶P.28）、microSDメモリカードを軽く押し込む

強く押し込んだ状態で指を離すと、microSDメモリカードが勢いよく飛び出すことがありますのでご注意ください。

3 microSDメモリカードをまっすぐ引き抜く

◎マウント解除完了前に取り外すと、故障・データ消失の原因となります。

◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、microSDメモリカードを挿入したまま、ホーム画面で[MENU]→[設定]→[ストレージ]→[外部SDカードのマウント]と操作してください。
◎microSDメモリカードにデータを保存中は、マウント解除操作できません。
◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。

メモリの使用量を確認する

microSDメモリカードやISW11SCのユーザーメモリ（本体）の合計容量と空き容量、ISW11SCのシステムメモリ（本体）の空き容量を確認できます。

1 ホーム画面で[MENU]→[設定]→[ストレージ]

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて消去されます。

1 ホーム画面で[MENU]→[設定]→[ストレージ]→[外部SDカードのマウント解除]

2 [外部SDカードの初期化]

3 [外部SDカードを初期化]→[全て消去]

マイファイルを利用する

ISW11SC本体やmicroSDメモリカードに保存されている静止画や動画、音楽や文書などのデータを表示・管理できます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[マイファイル]

マイファイル画面が表示されます。

2 利用したいフォルダーをタップ

「ホーム」をタップすると一番上の階層に、「戻る」をタップすると1つ上の階層に移動します。

3 表示/再生したいファイルをタップ

選択したファイルが表示/再生されます。

マイファイルのメニューを利用する

マイファイル画面で [メニュー] をタップ、またはフォルダー/ファイルをロングタッチするとメニュー項目が表示され、ファイルの共有/削除/移動/コピー、フォルダーの作成/削除/移動、一覧の表示方法の変更などの操作が行えます。

memo

◎microSDメモリカードを取り付けていない、またはマウントを解除している状態で「external_sd」フォルダーにファイルを保存した場合、microSDカードを取り付ける/マウントすると、そのファイルは表示されません。

microUSBケーブル01(別売)でパソコンと接続する

microUSBケーブル01(別売)でISW11SCとパソコンを接続すると、メディア転送モード(MTP)またはUSB大容量ストレージモードでパソコンとデータのやりとりができます。

memo

◎データ転送中にmicroUSBケーブル01(別売)を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

◎著作権で保護されたデータはやりとりできない場合や、利用できない場合があります。

メディア転送モード(MTP)で接続する

パソコンにISW11SCがポータブルデバイスとして認識され、パソコンとISW11SC本体/microSDメモリカードとの間で、ドラッグ＆ドロップでデータをコピー/移動をしたり、Windows Media® Playerと音楽や動画のデータを同期させたりできます。

1 microUSBケーブル01(別売)でISW11SCとパソコンを接続

接続が完了すると、パソコンに「ISW11SC」という名前で認識されます。

2 パソコンでデータのやりとりや、同期の操作を行う

- ドラッグ＆ドロップでデータをやりとりするには、パソコンで「ISW11SC」フォルダーを開き、「Phone」フォルダー(ISW11SC本体の場合)または「Card」フォルダー(microSDメモリカードの場合)を開いてから操作します。
- 音楽や動画のデータを同期するには、パソコンでWindows Media® Playerを起動し、同期の操作を行います。

memo

◎ご利用になるパソコンのOSによっては、ISW11SCがポータブルデバイス以外のデバイスとして認識される場合や、「ISW11SC」以外の名前で表示される場合があります。

USB大容量ストレージモードを利用する

ISW11SC本体/microSDメモリカードがパソコンにリムーバブルディスクとして認識され、ドラッグ＆ドロップでデータのコピー/移動などの操作ができます。

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]→[無線とネットワーク]→[USBユーティリティー]→[PCに外部ストレージとして接続]**

USBデバッグをOFFにする確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

2 **microUSBケーブル01（別売）でISW11SCとパソコンを接続**

「USB接続」と表示されます。

- パソコン上にドライバソフトウェアのインストール確認画面が表示された場合は、ドライバソフトウェアをインストールしてください。

3 **[ユーザーメモリー（本体）接続]**

「ユーザーメモリ（本体）使用中」と表示されます。

4 **パソコンで「リムーバブル ディスク」フォルダーを開く→パソコンでデータのやりとりをする**

memo

◎USB大容量記憶インターフェースをサポートしているほとんどのデバイスと以下のオペレーティングシステム（OS）で、microUSBケーブル01（別売）を使用してファイルを転送できます。

- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows XP（Service Pack 3以降）

microUSBケーブル01（別売）を安全に取り外す

■メディア転送モード（MTP）の場合

1 **データ転送中でないことを確認**

2 **microUSBケーブル01（別売）を取り外す**

■USB大容量ストレージモードの場合

1 **データ転送中でないことを確認**

2 **[ストレージをPCから外す]**

3 **パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行う**

4 **microUSBケーブル01（別売）を取り外す**

Samsung Kiesを利用する

Samsung Kiesを利用して、連絡先や音楽、静止画、動画などのデータをISW11SCと同期したり、ISW11SCのソフトウェアを更新したりできます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。詳細については以下のホームページをご参照ください。
  http://www.samsung.com/jp/kies
- Samsung Kiesの使いかたについては、Samsung Kiesのヘルプメニューから「Kiesチュートリアル」を選択してご参照ください。

1 **パソコンでSamsung Kiesを起動する**

2 **microUSBケーブル01（別売）でISW11SCとパソコンを接続**

memo

◎「Wi-Fi Kies接続」（▶P. 163）を利用すると、無線LAN（Wi-Fi®）機能を使ってパソコンと接続し、Samsung Kiesに接続できます。

◎Samsung Kiesを利用するには、ホーム画面で[≡]→[設定]→[アプリケーション]→[開発]と操作し、「USBデバッグ」のチェックを外してください。

AllShareを利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用して、他のDLNA(Digital Living Network Alliance)対応機器とファイルを共有することができます。

- AllShareを利用するには、他の機器との無線LAN(Wi-Fi®)接続をあらかじめ設定してください(▶P.160)。
- ファイルを共有する機器によっては、一部のファイルを再生できない場合があります。

DLNAを設定する

1 ホーム画面で[アプリ]→[AllShare]→ [メニュー] →[設定]

2

デバイス名称	サーバー名として相手機器に表示される名前を設定します。
動画を共有	共有するメディアにチェックを入れます。
写真を共有	
音楽を共有	
他のデバイスからアップロード	他の機器からファイルがアップロードされたときの動作を設定します。
標準保存先	ダウンロードしたファイルの保存先を設定します。
字幕	字幕ファイル(拡張子:smi)のある動画の再生時に字幕を表示するかどうかを設定します。

ファイルを共有する

1 ホーム画面で[アプリ]→[AllShare]

■ ISW11SCで他の機器のファイルを再生／表示する場合

2 「リモートデバイス」タブ

リモートデバイス画面が表示されます。

3 相手機器をタップ

相手機器が表示されない場合は、「更新」をタップして再度検索します。

4 再生したいファイルを選択

■ 他の機器でISW11SCのファイルを再生／表示する場合

2 「マイデバイス」タブ

マイデバイス画面が表示されます。

3 メディアの種類をタップ→再生したいファイルをタップ

4 相手機器をタップ

相手機器の設定が必要な場合は、あらかじめ設定を行ってください。
相手機器が表示されない場合は、「更新」をタップして再度検索します。

memo

◎ Wi-Fi®ネットワークや相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。
◎ AllShareを終了するには、リモートデバイス画面／マイデバイス画面→ [戻る] →[OK]と操作します。

Kies airを利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してISW11SCに接続し、パソコンなどのブラウザからISW11SCのデータを管理できます。

1 ホーム画面で[アプリ]→[Kies air]

Kies air画面が表示されます。

2 [開始]

ISW11SCにアクセスするためのURLが表示されます。

3 他のデバイスのブラウザで表示されたURLにアクセス

4 ［許可］

他のブラウザにISW11SCのデータが表示されます。
接続を終了する場合は「停止」をタップします。

memo

◎Kies airは、次のインターネットブラウザに対応しています。他のブラウザでは正しく表示されない場合があります。
- Internet Explorer 7／8
- Firefox 3.5／3.6
- Chrome 9／10
- Safari 4／5

Kies airのメニューを利用する

1 Kies air画面→［メニュー］

2

設定	アクセス要求	Kies airの使用中に、他のデバイスからの認証要求を許可するかどうかを設定します。
	端末を公開	Wi-Fi®ネットワークでISW11SCを公開するかどうかを設定します。
	タイムアウト設定	Kies airの接続を自動的に終了するまでの時間を設定できます。
	コンテンツをロック	公開したくないコンテンツをロックできます。
	設定リセット	標準設定にリセットします。
	バージョン	Kies airのバージョンが表示されます。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
ヘルプ		Kies airのヘルプを表示します。

データ通信

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®デバイスと通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じてISW11SCとBluetooth®デバイスのペアリング(登録)を行ってください。

memo

◎ISW11SCはすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. ISW11SCとほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との電波干渉について

ISW11SCのBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)対応機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。
この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetooth®デバイスと無線LAN(Wi-Fi®)対応機器は、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetooth®デバイスまたは無線LAN(Wi-Fi®)対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

ISW11SCでBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面で ▭ →[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

2 「Bluetooth」にチェックを入れる

Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに (接続待機中のアイコン)が表示されます。

memo

◎Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
◎Bluetooth®機能はISW11SCの電源を切った状態では利用できません。
◎Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth®機能をオフにしてください。

他のBluetooth®機器を登録する

ISW11SCと他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング（登録）を行います。

- 機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 ホーム画面で［≡］→[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

Bluetooth設定画面が表示されます。

2 [デバイスの検索]

検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、ISW11SCとBluetooth®機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します。

memo

◎Bluetooth®機器と接続中は、他のBluetooth®機器の登録はできません。
◎ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
◎接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「デバイスの検索」をタップして、機器を再検索します。

■パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、ISW11SCおよびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。ISW11SCでは、4～16桁の数字を入力できます。

memo

◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 ホーム画面で［≡］→[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

2 「デバイスの公開」にチェックを入れる

ISW11SCが、他のBluetooth®機器から一定時間検出可能になります。

- 検出可能な時間は、Bluetooth設定画面→「デバイスの公開時間」から変更できます。

■他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「同意する」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®対応機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続中のBluetooth®デバイス名をタップ

2 [OK]

ペアリングしたまま接続が解除されます。

- ペアリングを解除する場合は、ペアリング済みの機器をロングタッチ→「ペアリングの解除」／「切断とペアリング解除」をタップします。

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめISW11SCのBluetooth®機能をオンにし、相手のBluetooth®機器とペアリングを行ってください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」/「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 Bluetooth認証要求画面が表示されたら[承認]

ステータスバーに⬇が表示され、データの受信が開始されます。
通知パネルで受信状態を確認できます。

無線LAN(Wi-Fi®)機能

Wi-Fi®機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN(Wi-Fi®)環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 「Wi-Fi」にチェックを入れる

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。
Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
◎ Wi-Fi®機能およびWiMAX機能がオンの場合、接続中のネットワークが一定まで弱まると、自動的にもう一方のネットワークに接続します。また、Wi-Fi®ネットワークおよびWiMAXネットワークが切断されると、自動的にパケット通信に切り替わります。
◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、お使いのISW11SCの位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)※1を入力し、「接続」をタップします。
  ※1 パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続が完了すると、ステータスバーに[Wi-Fiアイコン]が表示されます。

memo

◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。

◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
◎ [WPSアイコン]が表示されているWi-Fi®ネットワークは、Wi-Fi®ネットワーク名をタップ→[WPS PIN]→アクセスポイント機器側でPINコードを入力すると接続できます。

WPSボタン方式でWi-Fi®ネットワークに接続する

1 Wi-Fi設定画面→[WPSボタン接続]

2 アクセスポイント機器側で、2分以内にWPSボタンを押す

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fiネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティ設定を選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

オープンネットワーク通知を設定する

オープンネットワーク(パスワードなどが設定されていないWi-Fi®ネットワーク)が検出されたら通知するように設定します。

1 Wi-Fi設定画面→「ネットワーク通知」にチェックを入れる

オープンネットワーク通知が設定されます。

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 [切断]

memo

◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークを切断]と操作しても、接続を切断できます。

◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→ [メニュー] →[詳細設定]→[Wi-Fiのスリープ設定]

2 スリープ設定を選択

静的IPを使用して接続する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→ [メニュー] →[詳細設定]→「静的IPを使用」にチェックを入れる

2 項目を選択→必要な情報を入力

静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」「DNS2」の入力が必要です。

3 [メニュー] →[保存]

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi Direct設定]

- デバイスの検索画面が表示されたら、「OK」をタップします。
- Wi-Fi Direct設定画面が表示されたら、「OK」をタップします。

2 「Wi-Fi Direct」にチェックを入れる→検索されたデバイス名を選択

[メニュー] →「スキャン」と操作して、デバイスの検索結果を更新することができます。

3 [接続]

データ通信

Wi-Fi®機能でSamsung Kiesに接続する

Wi-Fi®機能を使ってパソコンと接続し、Samsung Kiesに接続できます。

1 ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi Kies接続]

ネットワーク接続画面が表示されたら、「Wi-Fi」または「Wi-Fiテザリング」を選択し、Wi-Fi®ネットワークへ接続してから操作を進めてください。

2 [更新]→検索されたデバイス名を選択

パソコンでISW11SCが認識されたら、Samsung Kies画面上で接続を許可します。

memo

◎パソコンでISW11SCを認識するには、Samsung Kiesを起動させる必要があります(▶P.153)。
◎必ずパソコンとISW11SCを同じネットワークに接続してください。

WiMAX機能

+WiMAX（Worldwide Interoperability for Microwave Access）を利用すると、自宅や外出先で動画や音楽などの大容量データを快適に楽しむことができます。さらに最大8台の無線LAN機器を同時接続してモバイル無線LANルーターとして利用することができます。

- ＋WiMAXは有料サービスです。詳しくは、最新のau総合カタログ／auホームページをご確認ください。

WiMAXネットワークに接続する

1 ホーム画面で[メニュー]→[設定]→[無線とネットワーク]→[WiMAX 設定]

2 「WiMAX」にチェックを入れる

接続が完了すると、ステータスバーに[WiMAXアイコン]が表示されます。

memo

◎本サービスはUQコミュニケーションズ株式会社の提供するWiMAXに対応したサービスです。
◎WiMAX利用時には別途パケット通信料がかかります。パケット通信料定額サービスへのご加入をおすすめします。
◎WiMAXエリア内では、自動でWiMAX通信を行います。WiMAX通信をご利用にならない場合は、WiMAX機能をオフにしてください。
◎WiMAXエリア以外のauエリアでは下り最大3.1Mbps、上り最大1.8MbpsのCDMA通信となります。ベストエフォート方式対応サービスです。記載の速度は技術規格上の最大値であり、実使用速度を示すものではありません。通信環境や混雑状況などにより大幅に低下する場合があります。
◎Wi-Fi®機能およびWiMAX機能がオンの場合、接続中のネットワークが一定まで弱まると、自動的にもう一方のネットワークに接続します。
また、Wi-Fi®ネットワークおよびWiMAXネットワークが切断されると、自動的にパケット通信に切り替わります。

テザリング機能

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、3GパケットアイコンやWiMAXネットワークを通じて無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

USBテザリング機能を利用する

ISW11SCとパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続し、インターネットに接続することができます。

memo

◎USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。専用のドライバのダウンロードについては、以下のホームページをご参照ください。
http://www.samsung.com/jp/kies

1 microUSBケーブル01（別売）でISW11SCとパソコンを接続

2 ホーム画面で →[設定]→[無線とネットワーク]→[テザリング]

3 「USBテザリング」にチェックを入れる

メッセージが表示された場合、「OK」をタップします。

memo

◎メディア転送モード（MTP）で接続中は、USBテザリング機能は利用できません。
◎Windows XP（Service Pack 3以降）／Windows Vista／Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

ISW11SCをモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるようになります。

1 ホーム画面で →[設定]→[無線とネットワーク]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリング設定]

メッセージが表示された場合、「OK」をタップします。
Wi-Fiテザリング設定画面が表示されます。

2 「Wi-Fiテザリング」にチェックを入れる→[OK]

memo

◎Wi-Fi®テザリング機能は電池を多く消費するため、充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi®テザリング機能を設定する

無線LAN（Wi-Fi®）対応機器からISW11SCに接続するための設定を行います。

1 Wi-Fiテザリング設定画面→[Wi-Fiテザリング設定]

2 ネットワークSSIDを入力

クライアント（パソコンなど）から見えるルーター名（SSID）を入力します。

3 セキュリティ設定を選択

必要に応じて、Wi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

◎「セキュリティ設定」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューからISW11SCの各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズ、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

1 ホーム画面で[≡]→[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

■設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
無線とネットワーク	機内モード、無線LAN(Wi-Fi®)機能、WiMAX機能、Bluetooth®機能、モバイルネットワーク設定など、通信に関する設定を行います。	P.167
通話設定	着信拒否や通話応答、留守番電話、転送電話など、電話やネットワークに関する設定を行います。	P.170
サウンド	マナーモードやバイブレータ(振動)、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.171
画面	フォントや壁紙、明るさ、画面の向き、アニメーション表示など、画面表示に関する設定を行います。	P.172
省電力モード	電池の消費を抑えるための設定を行います。	P.172
位置情報とセキュリティ	無線ネットワークやGPS機能を使った位置情報に関する設定、画面ロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。	P.172
アプリケーション	アプリケーションのインストールや起動に関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションの管理をします。	P.125
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.174
モーション	本体の傾きなどを感知してISW11SCを操作することができるモーションの設定を行います。	P.175
プライバシー	データのバックアップの設定や、データの初期化を行います。	P.175
ストレージ	microSDメモリカードやISW11SC本体内のメモリ容量の確認、初期化を行います。	P.176
言語とキーボード	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.176
音声入出力	Google音声認識を設定したり、テキスト読み上げの設定を行います。	P.177
ユーザー補助	ユーザー補助サービスの設定などを行います。	P.177
ドック設定	外部スピーカーを接続したときの設定を行います。	P.178
日付と時刻	日付と時刻の表示形式などの設定を行います。	P.178
端末情報	電話番号や電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	P.178

memo

◎ホーム画面で[アプリ]→[設定]と操作しても、設定メニュー画面を表示できます。

無線とネットワークの設定をする

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]

2

機内モード		▶P.167「機内モードを設定する」
Wi-Fi設定		▶P.160「Wi-Fi®機能をオンにする」
Wi-Fi Direct設定		▶P.162「Wi-Fi Directを設定する」
Wi-Fi Kies接続		▶P.163「Wi-Fi®機能でSamsung Kiesに接続する」
WiMAX設定		▶P.163「WiMAXネットワークに接続する」
Bluetooth設定		▶P.158「Bluetooth®機能をオンにする」
USBユーティリティー		▶P.152「USB大容量ストレージモードを利用する」
テザリング		▶P.163「テザリング機能」
VPN設定		▶P.167「VPNを設定する」
NFC設定	NFCロック	▶P.168「NFC機能をロックする」
	NFC R/W P2P	▶P.168「NFC機能をオンにする」
	NFCロックNo.変更	▶P.169「NFCロックNo.を変更する」
	NFCロックNo.初期化	▶P.169「NFCロックが解除できない場合」
モバイルネットワーク	データ通信	▶P.169「モバイルネットワークを設定する」
	auネットワーク設定	auのネットワークに関する設定を行います。
	ローミング設定	▶P.193「海外利用に関する設定を行う」
WEBフィルタリング設定		▶P.108「ブラウザを設定する」

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、パケット通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、WiMAX機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

■機内モードをオンにする

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]

2 「機内モード」にチェックを入れる→[OK]

「機内モード」のチェックを外すと、機内モードはオフになります。
機内モードがオンの場合でも無線LAN（Wi-Fi®）機能をオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域では無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用しないようご注意ください。

memo

◎ （1秒以上長押し）→[機内モード]→[OK]と操作してもオン／オフを切り替えることができます。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
ISW11SCからVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- ISW11SCは以下の種類のVPNに対応しています。
  - ・PPTP VPN
  - ・L2TP VPN
  - ・L2TP/IPSec PSK VPN
  - ・L2TP/IPSec CRT VPN

■VPNを追加する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

2 [VPNの追加]→ 追加するVPNの種類をタップ

3 画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従いVPN設定の各項目を設定

4 [メニュー]→[保存]

VPN設定画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo

◎追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ→[ネットワークを編集]→必要に応じてVPNの設定を変更→[メニュー]→[保存]と操作します。
削除するには、削除するVPNをロングタッチ→[ネットワークを削除]→[OK]と操作します。

■VPNに接続する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 ダイアログボックスが表示されたら、必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、接続中を示す通知がステータスバーに表示されます。

■VPNを切断する

1 ステータスバーを下にスライド→VPN接続中を示す通知をタップ

接続中のVPNをタップすると切断されます。

NFCを設定する

■NFC機能をオンにする

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[NFC設定]

2 「NFC R/W P2P」にチェックを入れる

- 非接触ICカード機能は、NFC機能のオン／オフにかかわらず利用できます。

■NFC機能をロックする

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[NFC設定]

ホーム画面で[アプリ]→[NFCメニュー]→[メニュー]→[NFCロック]と操作しても、NFC設定画面を表示できます。

2 「NFCロック」にチェックを入れる

3 [NFCロック]→NFCロックNo.(4～8桁)を入力→[OK]

NFCロックが設定されると、ステータスバーに[NFC]が表示されます。

■NFCロックを解除する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[NFC設定]

ホーム画面で[アプリ]→[NFCメニュー]→[メニュー]→[NFCロック]と操作しても、NFC設定画面を表示できます。

2 「NFCロック」のチェックを外す

3 [NFCロック]→NFCロックNo.(4～8桁)を入力→[OK]

NFCロックが解除されると、ステータスバーから NFC が消えます。

■NFCロックNo.を変更する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[NFC設定]

ホーム画面で[アプリ]→[NFCメニュー]→ ☰ →[NFCロック]と操作しても、NFC設定画面を表示できます。

2 [NFCロックNo.変更]

3 NFCロックNo.(4～8桁)を入力→[OK]

4 新しいNFCロックNo. (4～8桁)を入力→[OK]

5 もう一度新しいNFCロックNo.(4～8桁)を入力→[OK]

■NFCロックが解除できない場合

NFCロックが解除できない場合は、PINロック解除コード(▶P.21)を用いてNFCロックNo.を再設定できます。

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[NFC設定]

ホーム画面で[アプリ]→[NFCメニュー]→ ☰ →[NFCロック]と操作しても、NFC設定画面を表示できます。

2 [NFCロックNo.初期化]

3 PINロック解除コード(8桁)を入力→[OK]

4 新しいNFCロックNo. (4～8桁)を入力→[OK]

5 もう一度新しいNFCロックNo. (4～8桁)を入力→[OK]

◎オレンジ色のau ICカードでは、NFC機能を利用する際に一部サービスがご利用いただけません。au ICカードの交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

モバイルネットワークを設定する

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

■データ通信を設定する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→「データ通信」にチェックを入れる

◎「データ通信」のチェックを外すとデータ通信が無効になり、CDMA1XWIN(国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む)でのパケット通信ができなくなります。

◎ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.193)をご参照ください。

通話関連機能の設定をする

1 **設定メニュー画面→[通話設定]**

2

着信拒否		▶P.170「着信拒否の設定をする」
通話通知	通話状況通知音	通話中の通知音を設定します。
	通話中にイベント通知	通話中にアラームなどのイベントが発生したときに音でお知らせするかどうかを設定します。
通話応答／終了	ホームキーで応答	を押して通話に応答するかどうかを設定します。
	自動応答	マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を接続している場合、着信に自動で応答するまでの時間を設定します。
	電源キーで通話終了	を押して通話を終了するかどうかを設定します。
国際電話		発信時、「+」を入力すると自動的に付加される国際アクセスコードを設定します。 • お買い上げ時は「001010」に設定されています。
転送電話		▶P.186「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」
留守番電話		▶P.180「お留守番サービスを利用する(標準サービス)」
発信者番号を送信		発信者番号を通知するかどうかを設定します。
近接センサーON		通話中に画面のバックライトを消灯するかどうかを設定します。

着信拒否の設定をする

あらかじめ着信拒否モードを設定しておくと、着信を自動的に拒否します。

■自動着信拒否モードを設定する

1 **設定メニュー画面→[通話設定]→[着信拒否]→[自動着信拒否モード]**

2 **[OFF]／[全着信]／[着信拒否番号]**

■着信拒否リストに追加する

「自動着信拒否モード」で「着信拒否番号」に設定したとき、自動着信を拒否する電話番号を登録します。

1 **設定メニュー画面→[通話設定]→[着信拒否]→[自動着信拒否リスト]→[追加]**

2 **拒否したい電話番号または電話番号の一部を入力**

- 「 」をタップすると、通話履歴や電話帳から電話番号を選択できます。

3 **[振り分けルール]→振り分けルールを選択**

完全一致：指定した番号と完全に一致する電話番号からの着信を拒否
前方一致：指定した番号で始まる電話番号からの着信を拒否
後方一致：指定した番号で終わる電話番号からの着信を拒否
部分一致：指定した番号を含む電話番号からの着信を拒否

4 **[保存]**

◎登録した電話番号を拒否するには、「自動着信拒否モード」(▶P.170)を「着信拒否番号」に設定してください。

音の設定をする

1 **設定メニュー画面→[サウンド]**

2

マナーモード	▶P.171「マナーモードを設定する」
バイブ	▶P.171「バイブレータを設定する」
音量	▶P.171「各種音量を調節する」
電話着信音	電話着信音を設定します。
通知音	メール着信などの通知音を設定します。
タッチ操作音	キーパッドを操作したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
選択時の操作音	アプリケーションやメニューを選択したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロック音	画面ロック／解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ、その他	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、バイブレータを振動させるかどうかを設定します。
バイブの強度設定	▶P.171「バイブレータの強度を設定する」

マナーモードを設定する

1 **設定メニュー画面→[サウンド]→「マナーモード」にチェックを入れる**

memo

◎ (1秒以上長押し)→[マナーモード]と操作しても、マナーモードのオン／オフを切り替えることができます。
◎ステータスバーを下にスライド→[マナーモード]と操作しても、マナーモードのオン／オフを切り替えることができます。
◎マナーモードに設定中でも、カメラ撮影時のシャッター音や、動画再生、音楽の再生、アラームなどは消音されません。

バイブレータを設定する

1 **設定メニュー画面→[サウンド]→[バイブ]**

2 **[バイブON]／[バイブOFF]／[マナーモード時のみ]／[マナーモード未設定時のみ]**

各種音量を調節する

1 **設定メニュー画面→[サウンド]→[音量]**

次の項目の音量を調節します。

- 音声着信
- メディア(音楽やギャラリーの再生音)
- システム
- 通知

2 **スライダを左右にドラッグして、音量を調節**

音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 **[OK]**

memo

◎マナーモード設定時には音量の調節はできません。

バイブレータの強度を設定する

1 **設定メニュー画面→[サウンド]→[バイブの強度設定]**

次の項目のバイブレータの強度を調節します。

- 音声着信
- 通知
- タッチ操作バイブ、その他

2 **スライダを左右にドラッグして、強度を調節**

- バイブレータを弱くするにはスライダを左にドラッグ、強くするにはスライダを右にドラッグします。

3 **[OK]**

画面の設定をする

1 **設定メニュー画面→[画面]**

2

画面表示	画面表示のフォントの種類、ホーム画面の壁紙、画面ロック時の壁紙や時計位置を設定します。
明るさ	画面の明るさを設定します。 「自動明るさ調整」にチェックを入れると、照度センサーで周囲の明るさを検知して画面の明るさを自動調整します。
画面モード	画面モードを設定します。
画面の自動回転	画面の縦横自動回転を設定します。
アニメーション表示	ウィンドウアニメーションの表示を設定します。
スクリーンタイムアウト	画面のバックライトが自動消灯するまでの時間を設定します。
タッチキーライト点灯時間	キーバックライトが消えるまでの時間を設定します。
省エネモード	画面の明るさを自動調節して、電池の消費を抑えるかどうかを設定します。
ジャイロスコープの調整	内蔵の加速度センサーを利用して水平補正をします。

省電力の設定をする

1 **設定メニュー画面→[省電力モード]**

2

省電力モード		省電力モードに切り替えるかどうかを設定します。
省電力(カスタマイズ)		電池残量が設定した値以下になったときに、省電力モードに切り替えるかどうかを設定します。
省電力設定をカスタマイズ	省電力モードへの移行	省電力モードに切り替える目安になる電池残量を設定します。
	Wi-Fi OFF	Wi-Fi®テザリングを使用していないときは無線LAN(Wi-Fi®)機能をオフにするように設定します。
	Bluetooth OFF	使用していないときは、Bluetooth®機能をオフにするように設定します。
	GPS OFF	使用していないときは、GPS機能をオフにするように設定します。
	同期OFF	ISW11SCがサーバーと同期していないときは同期をオフにするように設定します。
	明るさ	省電力モード時に、画面の明るさを調整するかどうかを設定します。
	明るさ	省電力モード時の画面の明るさを設定します。
	スクリーンタイムアウト	省電力モード時に、画面のバックライトが自動消灯するまでの時間を設定します。
省電力について		電池の消費を抑えるためのヒントを表示します。

位置情報とセキュリティの設定をする

1 **設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]**

2

無線ネットワークの使用	▶P.129「現在地検索を有効にする」
GPS機能の使用	▶P.129「GPS機能を有効にする」
センサー補助の使用	モーションセンサーを利用して、歩行時に位置情報の検出精度を強化するかどうかを設定します。
画面ロック設定	▶P.173「画面ロックを設定する」
USBデバッグモードの無効化	画面ロック時にUSBデバッグモードを無効にするかどうかを設定します。

UIMカードロックを設定	▶P.174「UIMカードロックを設定する」
リモートコントロール	本体のロック、位置情報とデータの削除を遠隔操作で行います。 • リモートコントロールを行うには、Samsungアカウント(▶P.35)の設定が必要です。 • リモートコントロールはSamsungDiveから操作できます。SamsungDiveの詳細については、以下のホームページをご参照ください。 http://www.samsungdive.com
パスワードを表示	パスワードの入力画面で、「･」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理機能の選択	安心アプリ制限(▶P.144)を有効にするかどうかを設定します。
安全な認証情報を使用	安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。※1
証明書のインストール	暗号化された証明書をユーザーメモリ(本体)からインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージ※2のパスワードを設定したり、変更したりします。
ストレージを消去	認証情報ストレージ※2からすべての証明書や認証情報を消去して、認証情報ストレージのパスワードをリセットします。

※1 あらかじめ認証情報ストレージのパスワードを設定しておいてください。
※2 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。

画面ロックを設定する

画面ロックを解除するたびに、あらかじめ設定しておいたロック解除パターン／PIN／パスワードを入力するように設定します。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[画面ロック設定]

2 [パターン]／[PIN]／[パスワード]

「パターン」をタップした場合は、画面の指示に従って、ロック解除パターンを入力します。
「PIN」をタップした場合は、画面の指示に従って、4桁以上の数字を入力します。
「パスワード」をタップした場合は、画面の指示に従って、アルファベットを含む4文字以上の文字を入力します。

memo

◎ロック解除パターン／PIN／パスワードを設定すると、「パターンを線で表示」(パターンを設定した場合のみ)「タイムアウト」「入力時バイブレーション」の各項目も設定できます。
◎画面ロックの設定を解除するには、設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[画面ロックの変更]→ロック解除パターン／PIN／パスワードを入力→[なし]と操作します。

■画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定(▶P.173)した後に、 を押す、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

■画面ロックを解除する

1 ／ を押して、バックライトを点灯

2 ロック解除パターン／PIN／パスワードを入力

◎画面ロック解除画面→[緊急通報]と操作すると、緊急通報ができます。

機能設定

UIMカードロックを設定する

au ICカード(UIM)にPIN(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.21)をご参照ください。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[UIMカードロックを設定]→[UIMカードロック]

2 au ICカードのPINコードを入力→[OK]

■電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■PINコードを変更する

au ICカードのPINが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[UIMカードロックを設定]→[UIM PINの変更]

2 PINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

アカウントと同期の設定をする

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2

バックグラウンドデータ	▶P.174「自動同期を設定する」
自動同期	▶P.174「自動同期を設定する」
アカウントを管理	アカウントを設定したオンラインサービスが表示されます。

自動同期を設定する

ISW11SCとGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

- 同期するには、ISW11SCでGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、またはバックグラウンドデータを使用することで自動同期するように設定できます。

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2 「バックグラウンドデータ」にチェックを入れる

3 「自動同期」にチェックを入れる

4 同期するアカウントを選択

5 自動同期する項目にチェックを入れる

◎「バックグラウンドデータ」にチェックを入れると、ISW11SCにインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行うことを許可します。さらに「自動同期」にチェックを入れると、アプリケーションがデータを自動同期することを許可します。

■手動で同期する

「自動同期」がオフのとき、登録されたアカウントを同期します。

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2 同期するアカウントを選択

3 同期する項目を選択

■同期を中止する

1 同期中（[同期アイコン]が表示中）に［同期を取り消す］

アカウントを追加／削除する

1 設定メニュー画面→［アカウントと同期］→［アカウント追加］

2 追加するアカウントを選択

3 画面の指示に従って操作

Facebookなどログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」をタップします。

■アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→［アカウントと同期］→削除するアカウントを選択→［アカウントを削除］

2 ［アカウントを削除］

memo

◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには初期化が必要です。

モーションの設定をする

1 設定メニュー画面→［モーション］

2

モーション起動	モーション起動を有効にするかどうかを設定します。
伏せる	ISW11SCを伏せると、着信音やメディアの再生音をミュートにします（画面消灯時を除く）。
チルト	画面の2箇所をロングタッチしてISW11SCを前後に傾けると、ギャラリーやブラウザの画面を拡大／縮小します。
パンニング	ホーム画面やアプリケーション画面のアイコンをロングタッチしてISW11SCを左右に振ると、他のページに1つずつ移動します。
伏せる チルト パンニング	各モーションのチュートリアル（基本的な操作方法）を起動します。

プライバシーの設定をする

1 設定メニュー画面→［プライバシー］

2

データのバックアップ	アプリケーションデータ、Wi-Fi®パスワード、その他の設定をGoogleサーバーにバックアップします。
自動復元	アプリケーションを再インストールし、バックアップした設定およびデータを復元します。
システムメモリ（本体）を初期化	▶P.175「ISW11SCを初期化する」

ISW11SCを初期化する

本製品をお買い上げ時の状態に戻します（リセット）。この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。必ずISW11SCの重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。

1 設定メニュー画面→[プライバシー]→[システムメモリ(本体)を初期化]→[端末を初期化]

- 必要に応じて画面ロックのロック解除パターン／PIN／パスワードを入力します。
- 音楽や写真などユーザーメモリ(本体)に保存したデータも削除する場合は、「ユーザーメモリ(本体)の初期化」にチェックを入れてください。

2 [全て消去]

「全て消去」をタップするとISW11SCは自動的に再起動します。ISW11SCの再起動またはリセット中は、そのままお待ちください。再起動またはリセット中に電池パックを取り外すと、ISW11SCが故障するおそれがあります。

memo

◎初期化は、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
◎Samsungアカウントを設定している場合は、初期化を実行できません。Samsungアカウントを削除してから操作してください。
◎NFCのロックNo.は、ISW11SCを初期化しても削除されません。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー画面→[ストレージ]

2

合計容量	microSDメモリカードの容量を確認します。
空き容量	microSDメモリカードの空き容量を確認します。
外部SDカードのマウント解除※1	microSDメモリカードの認識を解除して、microSDメモリカードの安全な取り外しを設定します。
外部SDカードのマウント※1	microSDメモリカードを認識します。
外部SDカードの初期化	▶P.151「microSDメモリカードをフォーマットする」
合計容量	ISW11SCのメモリ(本体)のデータ容量を表示します。
空き容量	ISW11SCのメモリ(本体)の空き容量を確認します。
ユーザーメモリ(本体)の初期化	ISW11SCのメモリ(本体)を消去します。
空き容量	ISW11SCのシステムメモリ(本体)の空き容量を確認します。

※1 microSDメモリカードの認識状態によって表示が変わります。

言語とキーボードに関する設定をする

1 設定メニュー画面→[言語とキーボード]

2

言語を選択	▶P.176「言語の表示を切り替える」
入力方法を選択	▶P.50「キーボードを切り替える」
Swype	▶P.57「言語オプション」
Samsung日本語キーボード	▶P.55「Samsung日本語キーボードの設定を行う」
Samsung韓国語キーパッド	▶P.56「Samsung韓国語キーパッドの設定を行う」

言語の表示を切り替える

1 設定メニュー画面→[言語とキーボード]→[言語を選択]

2 言語を選択

音声入出力に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[音声入出力]

2

音声認識設定	言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	アダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
音声合成設定	サンプル試聴	音声合成の短いサンプルを再生します。
	スピーチモード	着信や通知を自動的に読み上げるかどうかを設定します。
	スピーチモード設定	スピーチモードを有効にしたときに読み上げる通知を設定します。
	個人設定を常に使用	常に「標準エンジン」、「音声データをインストール」、「音声の速度」、「言語」の設定でテキストを読み上げるかどうかを設定します。
	標準エンジン	テキストを読み上げるための音声合成エンジンを設定します。
	音声データをインストール	音声合成に必要な音声データをインストールします。音声データがインストールされていない場合はGoogle Playに接続し、音声データを検索します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストの読み上げに使用する言語を設定します。
	Samsung TTS	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。
	Pico TTS	

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2

ユーザー補助		ユーザー補助サービスのオン／オフを設定します。
TalkBack		▶P.177「ユーザー補助プラグインを利用する」
モノラルオーディオ		オーディオをモノラルにするかどうかを設定します。
通話応答／終了	ホームキーで応答	を押して通話に応答するかどうかを設定します。
	自動応答	マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を接続している場合、着信に自動で応答するまでの時間を設定します。
	電源キーで通話終了	を押して通話を終了するかどうかを設定します。
ユーザー補助ショートカット		を1秒以上長押しして表示される端末オプション画面に「ユーザー補助」のショートカットを追加するかどうかを設定します。

ユーザー補助プラグインを利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助プラグインを有効にします。ユーザー補助プラグインは、Google Playからインストールして追加することもできます。

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2 「ユーザー補助」にチェックを入れる

3 「TalkBack」にチェックを入れる→[OK]

ドックの設定をする

1 **設定メニュー画面→[ドック設定]**

2

オーディオ出力モード	外部スピーカーをISW11SCに接続したときに外部スピーカーを使うかどうかを設定します。

日付と時刻の設定をする

1 **設定メニュー画面→[日付と時刻]**

2

自動	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
日付設定	▶P.178「日付を設定する」
タイムゾーンを選択	タイムゾーンを選択します。
時刻設定	▶P.178「時刻を設定する」
24時間形式を使用	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
日付の表示形式を選択	日付の表示形式を選択します。

memo

◎「自動」にチェックが入っているとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「自動」に設定されています。
◎日付、タイムゾーン、時刻の手動設定をするには、あらかじめ「自動」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。
◎海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー画面→[日付と時刻]→[タイムゾーンを選択]→設定する項目をタップして、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 **設定メニュー画面→[日付と時刻]→[日付設定]**

2 **「＋」または「－」をタップして日付を合わせる**

3 **[設定]**

時刻を設定する

1 **設定メニュー画面→[日付と時刻]→[時刻設定]**

2 **「＋」または「－」をタップして時間と分を合わせる**

「24時間形式を使用」のチェックを外している場合は、「AM」／「PM」をタップして切り替えます。

3 **[設定]**

端末情報に関する設定をする

1 **設定メニュー画面→[端末情報]**

2

ソフトウェア更新	▶P.208「ソフトウェアをダウンロードして更新する」
ステータス	自分の電話番号や電池残量などを確認できます。
バッテリーの使用量	電池を使用している操作が表示されます。
法定情報	使用許諾条件や利用規約などを確認できます。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	
ハードウェアバージョン	

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS（Cメール）	P.90
	お留守番サービス（ボイスメール含む）	P.180
	着信転送サービス	P.186
	割込通話サービス	P.188
	発信番号表示サービス	P.189
	番号通知リクエストサービス	P.190
有料オプションサービス※1	三者通話サービス	P.189
	迷惑電話撃退サービス	P.191
	通話明細分計サービス	P.192

※1 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要です。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）でご確認ください。

お留守番サービスを利用する（標準サービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード（▶P.167）を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- ISW11SCご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.186）は同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.190）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.182）の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1]→[ ]

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合（留守番開始1）

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][1]→[ ]

ホーム画面で →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番電話開始]→[OK]と操作しても開始できます。

■通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合（留守番開始2）

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][3]→[ ]

ホーム画面で →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番電話2開始]→[OK]と操作しても開始できます。

■お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、ISW11SCの状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合（無応答転送）
- 通話中にかかってきた場合（「留守番電話開始」で開始した場合のみ）（話中転送）

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
◎日本で「留守番電話2開始」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。
◎お留守番サービスの応答時間は変更できません。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][0]→[ ]

ホーム画面で →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番電話停止]→[OK]と操作しても停止できます。

memo

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、ISW11SCのお客様が設定された応答メッセージで応答します（▶P.183「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）手順2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。
[1]：録音した伝言を再生して、内容を確認する
[2]：録音した伝言を「至急扱い」にする
[9]：録音した伝言を消去して、取り消す
[＊]：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［6］［1］［2］＋相手の方のau電話番号を入力→［ ］

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、SMS（Cメール）に保存されます。伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

memo

◎「発番情報あり」に設定されていて、同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。
◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は次の通りです。
発番情報なし：1件
発番情報あり：20件
◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内（▶P.181）で伝言お知らせ（伝言蓄積通知）を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。

◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせは、SMS(Cメール)に保存されます。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.181)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で[電話]→「1」をロングタッチ

ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番電話を再生]→[OK]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。
[1]：同じ伝言をもう一度聞く
[2]：伝言を保存
[4]：5秒間巻き戻して聞き直す
[5]：伝言を一時停止(20秒間)※1
[6]：5秒間早送りして聞く
[9]：伝言を消去
[0]：伝言再生中の操作方法を聞く
[#]：次の伝言を聞く
[＊]：前の伝言を聞く
※1「通話を終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

memo

◎ホーム画面で[電話]→[1][4][1][7]→[📞]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
◎海外でご利用中の場合は「📞」をタップしても発信できません。
◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.182)も同じものとして扱われます。
◎伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][4]→[📞]

ホーム画面で[≡]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答メッセージの編集]→[OK]と操作しても変更できます。

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話を終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

■名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 **[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[通話を終了]**

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

■設定されている応答メッセージを確認する場合

2 **[3]→応答メッセージを確認→[通話を終了]**

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

■蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音する場合

2 **[7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話を終了]**

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると録音したメッセージを取り消すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます(▶P.183「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。

1 **ホーム画面で[電話]→[1][6][1][0]→[ ]**

2 **ガイダンスを確認→[通話を終了]**

伝言の蓄積停止を解除する

1 **ホーム画面で[電話]→[1][6][1][1]→[ ]**

2 **ガイダンスを確認→[通話を終了]**

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のISW11SC以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のISW11SCの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.20）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][9][1]→[ ]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 ガイダンスを確認→[通話を終了]

memo

◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][9][0]→[ ]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 ガイダンスを確認→[通話を終了]

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送の3つから選択できます。

memo

◎緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.180）を同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.190）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②無応答転送
◎無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。
◎転送先を設定する場合は、音声ガイダンスに従って入力した転送先電話番号を確認してください。転送先電話番号が正しく設定されていないと、着信転送サービスが利用できない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1424」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からISW11SCまでの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
ISW11SCから転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［2］＋転送先電話番号を入力→［📞］

ホーム画面で［≡］→［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［応答なしのときの転送］→［OK］→音声ガイダンスに従って操作しても転送できます。

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［1］［2］→［📞］と操作して設定できます。
◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。なお、着信転送サービスの応答時間は変更できません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［3］＋転送先電話番号を入力→［📞］

ホーム画面で［≡］→［設定］→［通話設定］→［転送電話］→［回線混雑時の転送］→［OK］→音声ガイダンスに従って操作しても転送できます。

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で［電話］→［1］［4］［2］［1］［3］→［📞］と操作して設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス（▶P.188）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][2][4]＋転送先電話番号を入力→[ ]

ホーム画面で →[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[全転送]→[OK]→音声ガイダンスに従って操作しても設定できます。

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[電話]→[1][4][2][1][4]→[ ]と操作して設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様のISW11SCは呼び出されません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面で[電話]→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→[ ]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。
[1][4][2][2]：無応答転送　[1][4][2][4]：フル転送
[1][4][2][3]：話中転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

国際アクセスコード	➡	国番号（アメリカ）	➡	市外局番	➡	転送先電話番号
001010 または010		1		212		123XXXX

memo

◎au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][2][0]→[ ]

ホーム画面で →[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[転送電話停止]→[OK]と操作しても停止できます。

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のISW11SC以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送）、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
転送停止	1420

2 ご利用のISW11SCの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.20）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用になれます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。
◎ブラウザをご利用の際(特に有料データをダウンロード中)などに、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービスを停止後にご利用ください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][1]→[ ]

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.190)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.191)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][0]→[ ]

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信中にしばらくデータのやりとりがない場合には、かかってきた電話を受けることができます。
◎パケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

ディスプレイには、電話がかかってきたことを知らせるメッセージが表示されます。

2 「 」を表示される円の外までドラッグ/スライド

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切替」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。
◎割込通話を着信してから約20秒経過すると、着信画面から通話中画面に戻ります。かかってきた電話を受ける場合は[ ]→[切替]と操作してください。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][2]＋相手先電話番号を入力→[ ]

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。

◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力

連絡先や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [ ]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

4 [マージ]

3人で通話できます。

「通話を終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。

◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。

◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。

◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

◎三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のISW11SCのディスプレイに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号（ISW11SCの電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号がISW11SCのディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「番号非通知」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Pay phone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービス（▶P.180）、着信転送サービス（▶P.186）、割込通話サービス（▶P.188）、三者通話サービス（▶P.189）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.191）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎サービスの開始･停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［8］［1］→［ ］→［通話を終了］

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS（Cメール）
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［8］［0］→［ ］→［通話を終了］

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

◎お留守番サービス（▶P.180）、着信転送サービス（▶P.186）、割込通話サービス（▶P.188）、三者通話サービス（▶P.189）、番号通知リクエストサービス（▶P.190）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][4][2]→[📞]

◎受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
◎次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- SMS（Cメール）

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除はできません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- SMS（Cメール）
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][4][8]→[📞]

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][4][9]→[📞]

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→[ ]

memo

◎分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

グローバルパスポートCDMA

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のISW11SCをそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。

• いつもの電話番号のまま、世界のCDMAネットワークで話せます。
• 特別な申し込み手続きや日額･月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

ご利用イメージ

1 国内では、auのネットワークでご利用になれます
2 ISW11SCのエリア設定を行います（▶P.194）
3 世界のCDMAネットワークでいつもの番号で話せます
4 帰国したらエリア設定を「日本」へ戻します（▶P.194）

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートCDMAをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.193）、「エリアを設定する」（▶P.194）に従い、各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■ISW11SCを盗難・紛失したら

- 海外でISW11SCを盗難・紛失された場合は、auショップもしくはお客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- ISW11SCに挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、UIMカードロックを設定されることをおすすめします(▶P.174)。

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「」(発信アイコン)をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外でご利用できるサービス

ISW11SCは、「グローバルパスポートCDMA」に対応していますので、特別な手続きなしで海外の対応エリアでそのままご利用になれます。ただし、一部の機能についてはご利用になれません。また、海外でのご利用は国内パケット通信料定額サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。海外で利用できる通信サービスは次の通りです。

通信サービス	説明
音声通話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や滞在国外への国際電話発信が可能です。
インターネット	海外でもインターネット接続が可能です。
Eメール(~@ezweb.ne.jp)/PCメール/Gmail/au one メール/SMS(Cメール)	海外でもご利用になれます。
GPS機能による現在地確認※1	海外でもGPS機能を利用して現在地確認ができます。

※1 あらかじめ日付・時刻を正しく設定しておいてください。

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は、日本国内とは異なります。詳しくは「サービスエリアと海外での通話料」(▶P.198)および「パケットサービスの通信料」(▶P.198)をご参照ください。

memo

◎SMS(Cメール)のデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMS(Cメール)の内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMS(Cメール)を蓄積されても、渡航先では受信されません。

海外利用に関する設定を行う

海外でISW11SCを利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。

海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

1 **ホーム画面で →[設定]→[無線とネットワーク]**

2 **[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[PRL設定]→[PRLバージョンの更新]**

PRLを取得します。画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。
PRLデータをダウンロードする場合には、パケット通信料がかかります。

memo

◎古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

現在地時刻を設定する

1 **ホーム画面で →[設定]→[日付と時刻]→「自動」にチェックを入れる**

「日付と時刻」を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでISW11SCの時計の時刻や時差が補正されます。

memo

◎海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
◎補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
◎サマータイムがある国は、現地時間とISW11SCの表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
◎日付と時刻の設定については、「日付と時刻の設定をする」（▶P.178）をご参照ください。

エリアを設定する

ISW11SCを使用するエリアを設定します。

1 **ホーム画面で →[設定]→[無線とネットワーク]**

2 **[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[ローミングモード]**

3

日本	日本国内でご利用になる場合
自動	海外でCDMAネットワークをご利用になる場合

データローミングを設定する

1 **ホーム画面で →[設定]→[無線とネットワーク]**

2 **[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[データローミング]→[OK]**

◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 **ホーム画面で[電話]**

2 **国際アクセス番号・国番号・地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力**

3 [ ]

例：韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「国際電話」（▶P.170）で設定した国際アクセス番号が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

◎電話をかける相手がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

◎ISW11SCを海外でご使用する場合は、あらかじめ設定が必要です。「ローミングモード」を「日本」以外に設定し、通話可能なエリアにいる場合のみ使用できます。詳細については「エリアを設定する」（▶P.194）をご参照ください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で[電話]

2 電話番号を入力

渡航先によって操作が異なります。

渡航先	番号
アメリカ本土、ハワイ、サイパン	「1」+市外局番+相手の方の電話番号
ニュージーランド、韓国、中国、香港、マカオ、タイ、台湾、インドネシア、ベトナム、イスラエル、インド、バミューダ諸島、バングラデシュ、バハマ、ベネズエラ	市外局番+相手の方の電話番号
メキシコ（市内通話）	相手の方の電話番号
メキシコ（市外通話）	「01」+市外局番+相手の方の電話番号

3 [ ]

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

1 電話がかかってくる

着信画面が表示されます。

2 「 」を表示される円の外までドラッグ／スライド

◎渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→発信

国際アクセス番号（アメリカ）		日本の国番号		au電話の電話番号（最初の0は省略する）
011	➡	81	➡	901234XXXX

■ 帰国後の設定

日本に帰国後は、ホーム画面で［≡］→［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［ローミング設定］→［ローミングモード］と操作して、「日本」にチェックを入れて接続してください。

GLOBAL PASSPORT GSM（グローバルパスポートGSM）について

グローバルパスポートGSMとは、au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えてご利用いただく国際ローミングサービスです。いつもの電話番号のまま世界のネットワークで話せます。

- 特別な申し込み手続きや日額･月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、GSM携帯電話、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページもしくは、お客さまセンターにてご確認ください。

ISW11SCはグローバルパスポートCDMAに対応しています。

グローバルパスポートGSMとグローバルパスポートCDMAの対応エリアについては、auホームページもしくはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

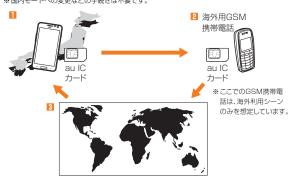
◎ GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。

◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ ご利用イメージ

海外でグローバルパスポートGSMをご利用になるときは、ISW11SCからau ICカードを取り外し、海外用GSM携帯電話の取扱説明書に従って取り付けてください。

1. **国内では、au ICカード対応携帯電話としてご利用になれます**
2. **au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えます**
3. **世界のGSMネットワークでいつもの番号で話せます**
4. **帰国したら「au ICカード」をいつものau電話へ戻します**

※ 国内モードへの変更などの手続きは不要です。

memo

◎ 設定方法はGSM携帯電話のメーカーおよび機種により異なりますので、その取扱説明書をご確認ください。なお、渡航前に設定の確認をされることをおすすめします。

◎ auホームページに記載されているGSM携帯電話以外での本サービスの利用可否、au ICカードの故障、破損などにより、万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましてはKDDI(株)、沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ ISW11SCの「UIMカードロックを設定」でお客様がPINコード入力の必要な設定をしている場合、GSM携帯電話でも同様の入力が必要になります(▶P.174「UIMカードロックを設定する」)。
◎ 新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。
◎ 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。携帯電話もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。
◎ グローバルパスポートGSMは、ぷりペイド専用契約の方はご利用になれません。
◎ au ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、UIMカードロックを設定されることをおすすめします(▶P.174)。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ ISW11SCからのお問い合わせ方法(通話料無料)

渡航先の国際アクセス番号 ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間:24時間

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

アジア	韓国	002-800-00777113
	中国／マカオ／台湾	00-800-00777113
	香港／タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	ベトナム	120-81-003
	インド	000800-810-1134
北米・中南米	アメリカ(本土)	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
	バミューダ諸島	1-800-623-2011
オセアニア	ハワイ	1-877-532-6223
	サイパン	1-866-333-7129
	ニュージーランド	00-800-00777113

受付時間:24時間(通話料無料)

memo

◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金課金のケースがありますのでご了承ください。

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

受付時間:24時間(国際通話料がかかります)

日本国内からのお問い合わせ

au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

サービスエリアと海外での通話料

渡航先の国･地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

地域	国･地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア・中東	韓国	○	○	50	125	265	70
	中国	○	○	70	175	265	145
	香港	○	○	70	175	265	145
	マカオ	○	－	70	175	265	145
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	バングラデシュ	○	－	70	180	280	180
	インド	○	○	70	180	280	180
	イスラエル	○	○	70	260	280	140
北米・中南米	アメリカ（本土）	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	バミューダ諸島	○	－	120	140	210	165
	バハマ	○	－	120	140	210	165
	ベネズエラ	○	－	130	330	330	140
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	ニュージーランド	○	－	80	180	280	80

memo

◎各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎渡航先でコレクトコール･フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国･地域内通話料金（120円／分（免税）または80円／分（免税））となります。
◎ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分（免税）の料金がかかりますのでご注意ください。
◎韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分（免税）の料金がかかりますのでご注意ください。
◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分（免税））となります。
◎国･地域によっては、「 」（発信アイコン）をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎2011年12月現在の情報です。
◎最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービスの通信料

海外でご利用できるサービスについては「海外でご利用できるサービス」（▶P.193）をご参照ください。

■パケットサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS（Cメール）受信料
0.2円／パケット	無料

memo

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます（1パケット=128バイト）。

◎渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、バミューダ諸島、バハマ	011
ニュージーランド、中国、マカオ、ベトナム、メキシコ、イスラエル、インド、バングラデシュ、ベネズエラ	00
韓国	00700（002）
台湾	005
香港、タイ、インドネシア	001

■国番号（カントリーコード）

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アイルランド（IRL）	353	デンマーク（DNK）	45
アメリカ合衆国（USA）	1	ドイツ（DEU）	49
アラブ首長国連邦（ARE）	971	日本（JPN）	81
イギリス（GBR）	44	ニュージーランド（NZL）	64
イスラエル（ISR）	972	ノルウェー（NOR）	47
イタリア（ITA）	39	バミューダ諸島（BMU）	1
インド（IND）	91	ハンガリー（HUN）	36
インドネシア（IDN）	62	バングラデシュ（BGD）	880
オーストリア（AUT）	43	フィリピン（PHL）	63
オランダ（NLD）	31	フィンランド（FIN）	358
カナダ（CAN）	1	フランス（FRA）	33
韓国（KOR）	82	ベトナム（VIE）	84
ギリシャ（GRC）	30	ベルギー（BEL）	32
シンガポール（SGP）	65	ポルトガル（PRT）	351
スイス（CHE）	41	香港（HKG）	852
スウェーデン（SWE）	46	マカオ（MAC）	853
スペイン（ESP）	34	マレーシア（MYS）	60
タイ（THA）	66	メキシコ（MEX）	52
台湾（TWN）	886	ルクセンブルグ（LUX）	352
中国（CHN）	86	ロシア（RUS）	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国（USA）「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、「 」（発信アイコン）をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、CDMAローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話(およびご利用の地域によってはSMS(Cメール)受信)のみご利用になれます。
- SMS(Cメール)のデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMS(Cメール)の内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMS(Cメール)を蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMS(Cメール)を電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMS(Cメール)を直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMS(Cメール)を蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMS(Cメール)はSMS(Cメール)センターで72時間保存されます。

■その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料･パケット通信料は、各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信･各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。

- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オンすることでご利用可能となる場合があります。

付録

付録

周辺機器やソフトウェア更新、主な仕様、アフターサービスについてなど、お役に立つ情報をご案内しています。

周辺機器のご紹介

■ 電池パック（SCI11UAA）

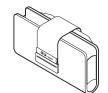
■ Desktop Dock（SCI11PVA）（別売）

■ ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）※1
ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

＜ポータブル充電器01＞

■ 共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）※1
共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

＜共通DCアダプタ01＞

■ auキャリングケースF ブラック（0105FCA）（別売）

■ 18芯-microUSB変換アダプタ01（0301QYA）（別売）

■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

■ 共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）※1
共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）※1
AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）※1※2
AC Adapter AO（0204PLA）（別売）※1※2
AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）※1※2
AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）※1※2
AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）※1※2
AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）※1※2
AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）※1※2
AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）※1※2
AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）※1※2
AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）※1※2
AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）
共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

＜共通ACアダプタ03＞

- 共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、必ず共通ACアダプタ02／03をご使用ください。

※1 ISW11SCでご使用になる場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）と接続する必要があります。
※2 共通ACアダプタ02と共通の仕様です。

memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎ 本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を使用する

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続して使用します。

1 マイク付ステレオヘッドセット（試供品）の接続プラグをISW11SCのヘッドセット接続端子に接続

接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

memo

◎ マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続して音楽を聴く場合、スイッチを1秒以上長押しすると「音楽プレーヤー」アプリケーションを起動できます。「音楽プレーヤー」アプリケーションが起動しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。

電話をかける

1 マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続した状態で電話をかける

電話をかける操作は、「電話をかける」（▶P.60）をご参照ください。

2 通話を終了するには、スイッチを押す

電話を受ける

1 着信時にマイク付ステレオヘッドセット（試供品）のスイッチを押す

電話がつながり、通話できます。
着信時にスイッチを1秒以上長押しすると、着信を拒否することができます。

2 通話を終了するには、再度スイッチを押す

memo

◎ マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続して音楽を聴いている場合に着信したときも、スイッチを押して電話に出ることができます。音楽は通話状態では一時停止して、通話が終了すると再開します。

Desktop Dock(別売)を使用する

Desktop Dock(別売)を使用すると、充電したり、卓上時計を表示したり、背面のサウンドパスや接続したオーディオ機器から音楽を聴くことができます。

- Desktop Dockを使って充電する方法については、「Desktop Dock(別売)と指定のACアダプタ(別売)を使って充電する」(▶P.32)をご参照ください。

卓上時計を表示する

1 ISW11SCをDesktop Dockに取り付ける

卓上時計が表示されます。

memo

◎ 卓上時計画面で をタップすると、卓上時計が表示される前の画面に戻ります。

サウンドパスで音楽を聴く

1 ISW11SCをDesktop Dockに取り付ける

2 卓上時計画面→[音楽プレーヤー]

音楽の再生操作は、「楽曲データを再生する」(▶P.121)をご参照ください。

3 必要に応じて、スピーカーのオン/オフを切り替える

:スピーカーオン(サウンドパスから音楽が聞こえます)
:スピーカーオフ(サウンドパスから音楽は聞こえません)

オーディオ出力端子などに接続して音楽を聴く

外部スピーカー、ホームステレオなどをDesktop Dockのオーディオ出力端子に接続して、音楽を聴くことができます。

1 ホーム画面で →[設定]→[ドック設定]

2 「オーディオ出力モード」にチェックを入れる

3 ISW11SCをDesktop Dockに取り付ける

4 外部スピーカーなどの接続プラグを、Desktop Dockのオーディオ出力端子に接続

5 卓上時計画面→[音楽プレーヤー]

音楽の再生操作は、「楽曲データを再生する」(▶P.121)をご参照ください。

memo

◎ Desktop Dockはアンプを内蔵していないため、オーディオ出力端子にマイク付ステレオヘッドセット（試供品）などを接続しての使用は推奨しておりません。
◎ 動画などを見るときは、Desktop Dockを横にしてお使いください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.30
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.28
	⏻を1秒以上押していますか？	P.32
充電ができない	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.28
	指定のACアダプタ（別売）の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	P.31
電池パックを利用できる時間が短い	⊘（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.45
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.13
タッチパネルで意図した通りに操作できない	手袋などをしたままで操作していませんか？	P.38
	爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？	
キー／タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？	P.33
	電源は入っていますか？ • 電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.32
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	ー
au ICカード（UIM）エラーと表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.29
電話がかけられない	au ICカードが挿入されていますか？	P.29
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.60
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.167
	エリアの設定が間違っていませんか？	P.194
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.45
	サービスエリア外にいませんか？	
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.167
	エリアの設定が間違っていませんか？	P.194
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.186
	「自動着信拒否モード」が設定されていませんか？	P.170
画面照明が暗い	「省電力モード」が設定されていませんか？	P.172
相手の方の声が聞こえない	受話音量が最小に設定されていませんか？	P.60
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.27
NFCが使えない	電池パックは充電されていますか？	P.30
	「NFCロック」が設定されていませんか？	P.168
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.167
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.150
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.151

気になる症状の項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、ISW11SCをより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なISW11SCをご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、ISW11SCから直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 **ホーム画面で[≡]→[設定]**

2 **[端末情報]→[ソフトウェア更新]**

3 **[更新]**

初めて起動したときは、免責条項画面が表示されます。必要に応じて国を選択し、「利用規約」と「プライバシー規約」をご確認のうえ、「上記の契約条件全てに同意します。」にチェックを入れる→[確定]と操作してください。
以降は、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ 自動検索するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

「Samsung Kies」を使って、パソコンからソフトウェアを更新できます。

- 詳しくは、「Samsung Kiesを利用する」(▶P.153)をご参照ください。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのISW11SC本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています(月額315円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- アフターサービスの内容変更を予定しております。詳細については、auホームページでお知らせいたします。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターまでお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難・故障・操作方法について)

一般電話からは　フリーコール **0077-7-113**(通話料無料)
au電話からは　局番なしの**113**(通話料無料)

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
① 保証サービス 注：保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
② 修理代金割引サービス 注：水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引 (無料)	お客様負担額 5,250円(税込)
③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス 注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250円(税込)	お客様負担額 10,500円(税込)

付録

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
④ 紛失時あんしんサービス	新しいau電話購入代金最大18,900円(税込)OFF	新しいau電話購入代金最大6,300円(税込)OFF
⑤ 電池パック無料サービス	同一au電話を1年以上(さらに3年以上)継続利用することで電池パックを1個プレゼント	なし
⑥ 無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1,000ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス

◎水濡れ・全損はこの対象とはなりません。

◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス

◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。(合計2回まで)

◎電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年〜2年までの間、3年〜4年までの間の計2回(各1個の提供)となります。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ・全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1,000ポイント進呈します。

※1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

主な仕様

ディスプレイ		約4.7インチ 約1,677万色(有機EL)
		1,280×720ドット(HD)
質量		約139g(電池パック含む)
サイズ (幅×高さ×厚さ)		約69mm×133mm×9.5mm(最厚部11mm)
CPU		C210+QSC6085
ユーザーメモリ		約11GB
連続待受時間	国内	約420時間:3G使用時 約340時間:3Gおよび無線LAN(Wi-Fi®)機能使用時 約150時間:3GおよびWiMAX機能使用時
	海外	約310時間:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土 約450時間:ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/バングラデシュ/バハマ/香港 約600時間:ニュージーランド/タイ/マカオ/バミューダ諸島/ベネズエラ ※対象国は2011年12月時点
連続通話時間	国内	約670分
	海外	約730分:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土/ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/ニュージーランド/タイ/マカオ/バングラデシュ/バミューダ諸島/バハマ/ベネズエラ/香港 ※対象国は2011年12月時点
充電時間		ACアダプタ使用時:約170分 DCアダプタ使用時:約290分
カメラ	撮像素子	CMOS
	有効画素数	外側:約808万画素 内側:約207万画素
ネットワーク環境		無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11a/b/g/n準拠※1) WiMAX機能
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.3.0+HS準拠
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 1
	通信距離※2	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル※3	OPP(Object Push Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) SPP(Serial Port Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile)
	使用周波数帯	2.4GHz帯 (2.402GHz~2.480GHz)

※1 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。
※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率などについて

■ 携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種ISW11SCの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.301W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（**http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm**）
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

○ 一般社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/index02.html

○ auのホームページ：
http://www.au.kddi.com/

○ SAMSUNGのホームページ：
http://www.samsung.com/jp/support/sar/sarMain.do

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（2011年3月現在）

名前から引く索引

数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

目的から引く索引

Wi-Fi®機能を利用する

WiMAX機能を利用する

インターネットにアクセスする

海外で利用する

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示／再生する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.256 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.700 W/kg.

Body-worn operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of

http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSWDSCI11.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSD、microSDHCは、SDアソシエーションの商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。

- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Setup™、Wi-Fi Direct™、Wi-Fi CERTIFIED™とWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。

  Includes ADOBE® FLASH® PLAYER

  Adobe®およびFlash® Lite®はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」「マイミク」は、株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Checkout」、「Googleマップ」、「Googleトーク」、「Google Latitude」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

  DIVXビデオについて:DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®(DivX認証)デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

  DIVXビデオオンデマンドについて:DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するには、このDivX Certified®(DivX認証)デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

  プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®(DivX認証)取得済み。最高1080pのDivX®ビデオ再生が可能。
- MySpace、および関連ロゴはMySpace, Inc.の登録商標です。
- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。

- 「WiMAX」はWiMAXフォーラムの商標です。
- Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。

- 「うたとも®」は株式会社レーベルゲートの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

NFCサービスご利用上の注意

■ NFCについて

1. NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。主に、非接触ICカード機能、リーダー/ライター機能、機器間通信機能などがあります。
2. NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau ICカードへ、サービスのご利用に必要となるデータ(以下、NFCデータといいます)を書き込みする場合があります。
3. NFC機能を使った各サービスは、サービスプロバイダー(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供する対応サービス(以下、NFCサービスといいます)をご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。NFCサービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
4. SPが提供するNFCサービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

■NFCデータの取り扱い等について

1. お客さまがNFCサービスをご利用するにあたり、お客さまのau電話に挿入されたau ICカードへのNFCデータの書き込み、書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. au電話並びにau ICカード内のNFCデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. au電話本体並びにau ICカードの故障等により、NFCデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. SPがお客さまに提供するNFCデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるサービスの提供条件によります。NFCサービスのご利用開始前に必ず、当該NFCサービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりNFCデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他NFCデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、NFCサービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにNFCサービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. 当社は、いかなる場合もNFCデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他への移し替え等を行うことはできません。

■au電話並びにau ICカード固有の番号等の通知について

1. NFCサービスによっては、お客さまのau電話及びau ICカードを特定するために、当該のau電話並びにau ICカードの固有番号が、当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがNFCサービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのau電話並びにau ICカード固有の番号と、NFCデータが消去されているか否か、及びau電話並びにau ICカードの解約処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

■不正利用について

1. お客さまのau電話並びにau ICカードの紛失･盗難等により、NFCデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。NFCデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一、au電話並びにau ICカードの紛失･盗難等があった場合であっても、当社ではNFC機能を停止させることはできません。紛失･盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

■その他

1. NFCサービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ、他のau電話にau電話をかざしてNFCサービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. NFCサービスのご利用開始後に契約名義又は電話番号の変更があった場合、NFCサービスのご利用及びお客さまご自身でのNFCデータの削除ができなくなることがあります。なお、当該NFCサービスのデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店によりau ICカード内の全てのNFCデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池パックを外した場合は、NFCサービスをご利用いただけません。
4. 電池残量がなくなった場合、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。
5. 機内モードまたは、電波OFFモード設定中は、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。

文字入力の詳細情報

■記号一覧

入力できる記号(半角)一覧

	!	"	#	$	€	%	&
'	(	)	*	+	,	-	.
/	:	;	<	=	>	?	@
[	\	]	^	_	`	{	|
}	~						

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

入力できる記号(全角)一覧

	、	。	，	．	・	：	；
？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾
￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝
々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼
～	∥	｜	…	‥	‘	’	“
”	（	）	〔	〕	［	］	｛
｝	〈	〉	《	》	「	」	『
』	【	】	＋	－	±	×	÷

μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ
υ	φ	χ	ψ	ω	А	Б	В
Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й
К	Л	М	Н	О	П	Р	С
Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б
в	г	д	е	ё	ж	з	и
й	к	л	м	н	о	п	р

＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴
♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄
¢	£	₩	％	＃	＆	＊	＠
§	☆	★	○	●	◎	◇	◆
□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
→	←	↑	↓	〓	∈	∋	⊆
⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	¬
⇒	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒	∂
∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝
∵	∫	∬	Å	‰	♯	♭	♪
†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ	ヮ
ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ
Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ
Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β	γ
δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ

с	т	у	ф	х	ц	ч	ш
щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─
│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗
┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨
┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	①
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢
㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍
㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞
㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№
㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱
㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	∮	∑	∟
⊿							

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■顔文字一覧

(*^^*)		(*_*)	(--;)	(-.-)
(-_-)	(-_-;)	(..)	(;_;)	(;o;)
(>_<)	(T-T)	(TT)	(T_T)	(ToT)
(^-^)	(^-^)/		(^-^)v	
(^-^;	(^.^)	(^^)	(^^)/	(^^)d
(^^)v	(^^;	(^_^)	(^_^)/	
(^_^)v		(^_^;)	(^o^)	
(^o^)/		(^o^)v		
(^o^;)		(^q^)	(__)	
(・・;)		:-(	:-)	:-<
:->	:-O	:-p	;-)	X-<
f(^^;	f(^_^)		f(^_^;	
m(__)m		\ (^-^) /		
\ (^^) /		\ (^_^) /		
\ (^o^) /		(((^^;)		
(((^_^;)		(((・・;)		
(-.-)Zzz・・・・			(-.-)y-~	
(-.-)ノ⌒-~		(-_-)/~~~		
(-。-)y-~		(/--)/	(/_;)/~~	
(;_;)/~~~		(;´д`)		

(>.<)y-~	(^-^ゞ	
(^3^)/	(^^;)))	(^^ゞ
(^_^)/~~	(^_^;)))	
(^_^ゞ	(^o^) / ~~	
(^o^ゞ	(^3^)-☆	
(^∧^)	(^○^)	(^。^)y-~
(^—^)	(^人^)	
(´Д`)	(⌒0⌒) / ~~	
(⌒-⌒)	(゜o゜) \ (-_-)	
(゜゜;) \ (--;)	(゜ロ゜)	
(゜ロ゜;	(・・;)))	
(¯^¯)	(¯▽¯;)	
(¯—¯)	_(^^;)ゞ	
d=(^o^)=b	f(^—^;	
o(^o^)o	p(^-^)q	
p(^^)q	q(^-^q)	
σ(^_^;)?	φ(..)	φ(゜゜)ノ゜
φ(..)	┐('~`;)┌	
ゞ(`')、	ヘ(^_^)	
\ (__)		

※入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

■絵文字一覧

顔・表情

気持ち・からだ

生き物・星座

食べ物・飲み物

自然・季節

ファッション・遊び

乗物・建物・地図

道具

記号

● 異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
● マルが付いた絵文字は動きます。ただし、入力箇所によっては動かない場合があります。
● 他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。
パソコンから→ http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html
※ サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

お客様各位

このたびは、GALAXY SⅡ WiMAX ISW11SCをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
『取扱説明書詳細版』におきまして、お詫びいたしますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

該当ページ：全体
誤：Androidマーケット、マーケット
正：Google Play、Playストア

該当ページ：39ページ
誤：ホーム画面
正：画面を最新のものに差し替えました。

該当ページ：43ページ
誤：記載なし
正：

メッセンジャー	Google+のメッセンジャーを利用します。	－
Google+	Google+を利用して、他のユーザーと情報の共有やチャットなどができます。	－

該当ページ：68ページ
誤：送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。
正：送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

- ISW11SCではユーザーメモリ（本体）をmicroSDメモリカードとしてマウントしているため、「SDカード」と表示されている場合でも、ユーザーメモリ（本体）を表示します。

該当ページ：68ページ
誤：microSDメモリカードのデータを添付します。
正：microSDメモリカードまたはユーザーメモリ（本体）のデータを添付します。

該当ページ:68ページ
誤:■microSDメモリカードの絵文字を利用する場合
正:■microSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)の絵文字を利用する場合

該当ページ:69ページ
誤:microSDメモリカードに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。
正:microSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)に保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

該当ページ:70ページ
誤:[メニュー]→[SDカードから読み込み]と操作すると、microSDメモリカード内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。
正:[メニュー]→[SDカードから読み込み]と操作すると、microSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

該当ページ:70ページ
誤:◎受信メール内容表示画面→添付データをタップ→[SDカードへ保存]と操作すると、添付データをmicroSDメモリカードに保存できます。
正:◎受信メール内容表示画面→添付データをタップ→[SDカードへ保存]と操作すると、添付データをmicroSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)に保存できます。

該当ページ:75ページ
誤:SDカードへの保存
　Eメールをmicro SDメモリカードに保存します。
　コピーするEメールにチェックを入れる→[保存]
　•「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
　• microSDメモリカードに保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ･復元」でISW11SCに読み込むことができます(▶P.86)。
正:SDカードへの保存
　※ISW11SCではユーザーメモリ(本体)をmicroSDメモリカードとしてマウントしているため、「SDカードへ保存」と表示されている場合でも、ユーザーメモリ(本体)に保存します。
　Eメールをユーザーメモリ(本体)に保存します。
　コピーするEメールにチェックを入れる→[保存]
　•「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
　• ユーザーメモリ(本体)に保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ･復元」でISW11SCに読み込むことができます(▶P.86)。

該当ページ:78ページ
誤:SDカードへの保存
　Eメールをmicro SDメモリカードに保存します。
　• microSDメモリカードに保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ･復元」でISW11SCに読み込むことができます(▶P.86)。
正:SDカードへの保存
　※ISW11SCではユーザーメモリ(本体)をmicroSDメモリカードとしてマウントしているため、「SDカードへ保存」と表示されている場合でも、ユーザーメモリ(本体)に保存します。
　Eメールをユーザーメモリ(本体)に保存します。
　• ユーザーメモリ(本体)に保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ･復元」でISW11SCに読み込むことができます(▶P.86)。

該当ページ:79ページ
誤:Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードに保存できます。
正:Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)に保存できます。

該当ページ:81ページ、85ページ
誤:microSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
正:microSDメモリカードまたはユーザーメモリ(本体)の音楽を着信音に設定します。

該当ページ:86ページ
誤:EメールをフォルダごとにmicroSDメモリカードにバックアップすることができます。また、microSDメモリカードに保存したバックアップデータをISW11SCへ読み込むことができます。
正:Eメールをフォルダごとにバックアップすることができます。ISW11SCではバックアップしたデータは、ISW11SCのユーザーメモリ(本体)(/mnt/sdcard/private/au/email/BU)に保存されます。
microSDメモリカードにバックアップする場合は、一度ユーザーメモリ(本体)にバックアップした後、「マイファイル」アプリケーションを利用して、microSDメモリカードにデータをコピーしてください。
また、保存したバックアップデータをISW11SCへ読み込むことができます。

該当ページ:86ページ
誤:ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
正:ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
ユーザーメモリ(本体)にバックアップされます。

該当ページ:104ページ
誤:最大通信速度受信9.2Mbps/送信5.5Mbps
正:最大通信速度受信3.1Mbps/送信1.8Mbps

該当ページ:130ページ
誤:◎詳細情報画面では、(地図)、(経路)、(通話)、(その他)などが利用できます。場所によって利用できるオプションは異なります。
◎マップ画面上の「」をタップすると、Googleプレイス(▶P.131)を利用できます。
正:◎詳細情報画面では、(地図)、(経路)、(通話)などが利用できます。場所によって利用できるオプションは異なります。

該当ページ:130ページ
誤:渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

渋滞状況	渋滞状況を表示します。

正:交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

交通状況	交通状況を表示します。

該当ページ：130ページ
誤：到着日時を選択して経路を選択すると、出発地から到着地までの経路を確認できます。
正：日時を選択して経路を選択すると、出発地から到着地までの経路を確認できます。

該当ページ：131ページ
誤：初めてLatitudeに参加した場合は、「現在地の共有」画面が表示されます。「家族や友だちと現在地を共有します」をタップし、画面の指示に従って設定してください。
正：初めてLatitudeに参加した場合は、「現在地の共有」画面が表示されます。「家族や友だちと現在地を共有できます」をタップし、画面の指示に従って設定してください。

該当ページ：131ページ
誤：カテゴリーを追加する場合は、[メニュー]→[検索を追加]→カテゴリーなどを入力→[追加]と操作します。
正：カテゴリーを追加する場合は、[メニュー]→[検索を追加]と操作し、追加したいカテゴリをタップするか、カテゴリなどを入力して[+]をタップします。

該当ページ：188ページ
誤：◎「最大9.2Mbpsエリア／3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。
正：◎パケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。

該当ページ：188ページ
誤：記載なし
正：◎割込通話を着信してから約20秒経過すると、着信画面から通話中画面に戻ります。かかってきた電話を受ける場合は[メニュー]→[切替]と操作してください。

該当ページ：193ページ
誤：海外では受信のみ可能です。
正：海外でもご利用になれます。

該当ページ：194ページ
誤：2 ＋(「0」をロングタッチ)→国番号・地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力
正：2 国際アクセス番号・国番号・地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力

該当ページ：195ページ
誤：※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
正：※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力され、発信時に「国際電話」(▶P.170)で設定した国際アクセス番号が自動で付加されます。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは 0077-7-111 | au電話からは 局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは 0077-7-113 | au電話からは 局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合
下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIではこのマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し国内リサイクル活動を行っています。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2012年5月第4版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
輸入元：SAMSUNG TELECOMMUNICATIONS JAPAN Co.
製造元：Samsung Electronics Co.,Ltd.